

奈良市民意識調査 報告書

平成 17 年度

奈良市

【 目 次 】

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査内容	1
3.	調査方法	1
4.	回収結果	1
5.	回答者の属性	2
5-1	性別	2
5-2	年齢	2
5-3	家族構成	2
5-4	職業	2
5-5	居住地域	3
6.	調査結果の集計表示方法	3
II	単純集計表	4
1.	防災・消防・救急について	4
2.	ボランティア活動について	8
3.	介護保険について	8
4.	文化振興について	9
5.	J R旧奈良駅舎について	10
6.	文化財について	11
7.	市等からの広報について	12
8.	男女共同参画について	13
III	集計結果の分析	21
1.	防災・消防・救急について	21
1-1	防災対策について	21
1-2	しみんだより6月号防災特集について	23
1-3	119番通報について	25
1-4	救急車について	26
1-5	応急手当について	27
1-6	消火器について	29
1-7	災害時に援護を要する家族について	31
1-8	消防団について	33
1-9	奈良市防災センターについて	36
2.	ボランティア活動について	39
2-1	ボランティア活動に参加した経験	39
2-2	現在参加していない理由	40
3.	介護保険について	40
3-1	重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策	40
3-2	65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え	43
4.	文化振興について	44
4-1	文化振興のため充実させるべき施策	44
4-2	文化芸術活動状況	46
4-3	あなたが思う奈良らしさ	46

5. J R旧奈良駅舎について	48
5－1 希望するJ R旧奈良駅舎の活用内容	48
5－2 管理・運営を行えばよい団体	49
6. 文化財について	50
6－1 文化財保護のため充実すべき施策	50
6－2 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策	52
7. 市等からの広報について	53
7－1 「議会だより」の閲読状況	53
7－2 「水道だより」の閲読状況	54
7－3 「虹のひろば」の閲読状況	55
8. 男女共同参画について	57
8－1 男女平等について	57
8－2 子育てについて	65
8－3 生活と仕事	72
8－4 人権と暴力	79
8－5 行政への期待	83
9. 市政への意見・要望	85
9－1 奈良市政について（自由回答）	85
IV 調査票	86

I 調査の概要

1. 調査目的

奈良市では、「愛し愛される奈良」の実現に向けて、計画的な市政の推進を進めています。

この調査は、常に市民の声を聞き、それを市政に反映させる方法として、市民の市政についての関心、要望などを正しく把握し、市政推進に関する資料の収集を目的として実施しました。

2. 調査内容

- ・問 1～問 13 防災・消防・救急について
- ・問 14 ボランティア活動について
- ・問 15～問 16 介護保険について
- ・問 17～問 19 文化振興について
- ・問 20～問 21 J R旧奈良駅舎について
- ・問 22～問 23 文化財について
- ・問 24 市等からの広報について
- ・問 25～問 39 男女共同参画について
- ・問 40 市政への意見・要望
- ・問 41～問 45 あなたご自身のことについて

3. 調査方法

- ・調査地域 奈良市全域
- ・調査対象 奈良市に居住されている 20 歳以上の男女各 1,500 人。計 3,000 人。
- ・調査対象の抽出 無作為抽出法
- ・調査方法 郵送法
- ・調査期間 平成 17 年 7 月 27 日～8 月 13 日

4. 回収結果

有効回収票の回収率は、57.6%となっている。

表 回収状況

	実数	構成比 (%)
調査対象数	3,000	100.0%
有効回収票	1,727	57.6%
無効回収票	4	0.1%
事故数	9	0.3%
未回収数	1,260	42.0%

5. 回答者の属性

5-1 性別

	回答数	構成比
男性	690	40.0%
女性	950	55.0%
無回答	87	5.0%
合計	1,727	100.0%

5-2 年齢

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
20～29歳	64	9.3%	98	10.3%	0	0.0%	162	9.4%
30～39歳	73	10.6%	147	15.5%	0	0.0%	220	12.7%
40～49歳	93	13.5%	152	16.0%	0	0.0%	245	14.2%
50～59歳	139	20.1%	198	20.8%	0	0.0%	337	19.5%
60～64歳	100	14.5%	125	13.2%	0	0.0%	225	13.0%
65歳以上	220	31.9%	229	24.1%	2	2.3%	451	26.1%
無回答	1	0.1%	1	0.1%	85	97.7%	87	5.0%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

5-3 家族構成

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
単身（ひとりぐらし）	50	7.2%	83	8.7%	1	1.1%	134	7.8%
夫婦のみ	206	29.9%	224	23.6%	0	0.0%	430	24.9%
二世帯世帯（本人と子ども）	216	31.3%	364	38.3%	0	0.0%	580	33.6%
二世帯世帯（本人と親）	110	15.9%	139	14.6%	0	0.0%	249	14.4%
三世帯世帯（親・子・孫）	91	13.2%	118	12.4%	1	1.1%	210	12.2%
その他	14	2.0%	17	1.8%	0	0.0%	31	1.8%
無回答	3	0.4%	5	0.5%	85	97.7%	93	5.4%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

5-4 職業

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
常勤の従業員（会社員・公務員など）	303	43.9%	149	15.7%	0	0.0%	452	26.2%
自営業・会社経営	99	14.3%	57	6.0%	0	0.0%	156	9.0%
農林漁業	10	1.4%	3	0.3%	0	0.0%	13	0.8%
学生	13	1.9%	20	2.1%	0	0.0%	33	1.9%
パート・アルバイト	22	3.2%	177	18.6%	0	0.0%	199	11.5%
家事従事	3	0.4%	259	27.3%	0	0.0%	262	15.2%
無職	213	30.9%	260	27.4%	1	1.1%	474	27.4%
その他	21	3.0%	17	1.8%	0	0.0%	38	2.2%
無回答	6	0.9%	8	0.8%	86	98.9%	100	5.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

5－5 居住地域

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
西部地域	306	44.3%	462	48.6%	1	1.1%	769	44.5%
北部地域	52	7.5%	73	7.7%	0	0.0%	125	7.2%
中部地域	53	7.7%	61	6.4%	0	0.0%	114	6.6%
中央市街地	187	27.1%	226	23.8%	1	1.1%	414	24.0%
南部地域	49	7.1%	73	7.7%	0	0.0%	122	7.1%
東部地域	16	2.3%	10	1.1%	0	0.0%	26	1.5%
月ヶ瀬地域	5	0.7%	4	0.4%	0	0.0%	9	0.5%
都祁地域	10	1.4%	21	2.2%	0	0.0%	31	1.8%
無回答	12	1.7%	20	2.1%	85	97.7%	117	6.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

表 地域分類

地 域	地 区
西部地域	伏見、伏見南、西大寺北、六条、あやめ池、鶴舞、青和、平城西、登美ヶ丘、東登美ヶ丘、鳥見、三碓、富雄南、富雄北、富雄第三、二名
北部地域	佐保台、神功、右京、朱雀、左京
中部地域	都跡、平城
中央市街地	鼓阪、鼓阪北、飛鳥、済美、済美南、椿井、佐保、大宮、佐保川、大安寺、大安寺西
南部地域	辰市、明治、東市、帯解、精華
東部地域	田原、柳生、大柳生、東里、狭川
月ヶ瀬地域	月ヶ瀬
都祁地域	並松、都祁、吐山、六郷

6. 調査結果の集計表示方法

調査結果の比率は、各設問の無回答を含む回答数に対する百分比（％）を表している。このため、複数回答の設問では、百分比（％）の合計は、100.0%を超えるものもある。

百分比（％）は、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。したがって、四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値が一致しない場合もある。

また、属性別の分析については、属性が無回答のため、個々の数値の合計が全体数と一致しない場合がある。

Ⅱ 単純集計表

1. 防災・消防・救急について

問1 市が力を入れるべき防災対策（2つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
学校や公民館などの避難所施設の耐震化の推進	190	27.5%	285	30.0%	18	20.7%	493	28.5%
防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知	298	43.2%	327	34.4%	28	32.2%	653	37.8%
災害時に避難勧告・指示を市民の皆様に伝える同報無線などの整備	238	34.5%	390	41.1%	34	39.1%	662	38.3%
家庭や地域の防災対策の情報の提供	163	23.6%	202	21.3%	26	29.9%	391	22.6%
自主防災組織に対する防災資機材の提供や運営補助	85	12.3%	89	9.4%	5	5.7%	179	10.4%
災害時に備えての食糧・飲料水などの備蓄の充実	301	43.6%	478	50.3%	35	40.2%	814	47.1%
その他	30	4.3%	22	2.3%	5	5.7%	57	3.3%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問2 家庭や地域で行っている防災対策（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している	185	26.8%	243	25.6%	21	24.1%	449	26.0%
集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している	155	22.5%	258	27.2%	21	24.1%	434	25.1%
タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている	186	27.0%	232	24.4%	21	24.1%	439	25.4%
住宅の耐震診断や耐震補強をしている	69	10.0%	75	7.9%	6	6.9%	150	8.7%
家庭や地域で危険箇所や避難経路などの話し合いを行っている	56	8.1%	77	8.1%	8	9.2%	141	8.2%
地域で防災訓練や講演会などに参加している	37	5.4%	44	4.6%	1	1.1%	82	4.7%
地域内で安否確認、避難、救助、初期消火などの体制ができています	24	3.5%	17	1.8%	1	1.1%	42	2.4%
その他	19	2.8%	13	1.4%	2	2.3%	34	2.0%
特に何もしていない	261	37.8%	361	38.0%	33	37.9%	655	37.9%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問3 しみんだより6月号防災特集の保存状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
わが家の防災メモを活用するなど保存している	72	10.4%	136	14.3%	8	9.2%	216	12.5%
読んだが、保存していない	145	21.0%	242	25.5%	25	28.7%	412	23.9%
知らない	431	62.5%	489	51.5%	39	44.8%	959	55.5%
無回答	42	6.1%	83	8.7%	15	17.2%	140	8.1%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問 4 119番通報の有無

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ある	260	37.7%	373	39.3%	34	39.1%	667	38.6%
ない	426	61.7%	567	59.7%	49	56.3%	1,042	60.3%
無回答	4	0.6%	10	1.1%	4	4.6%	18	1.0%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問4で「1. ある」と答えた方に】
問4-1 119番通報をした理由（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
救急	210	80.8%	284	76.1%	29	85.3%	523	78.4%
火災	18	6.9%	25	6.7%	2	5.9%	45	6.7%
救助	10	3.8%	4	1.1%	0	0.0%	14	2.1%
水害	0	0.0%	2	0.5%	0	0.0%	2	0.3%
病院の問い合わせ	38	14.6%	111	29.8%	9	26.5%	158	23.7%
その他	10	3.8%	15	4.0%	1	2.9%	26	3.9%
有効回答数	260	100.0%	373	100.0%	34	100.0%	667	100.0%

問 5 救急車の利用有無

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ある	284	41.2%	402	42.3%	44	50.6%	730	42.3%
ない	401	58.1%	538	56.6%	38	43.7%	977	56.6%
無回答	5	0.7%	10	1.1%	5	5.7%	20	1.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問5で「1. ある」と答えた方に】
問5-1 救急隊員の印象

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
処置・態度ともに非常によく、信頼できた	171	60.2%	244	60.7%	29	65.9%	444	60.8%
処置は適切であったが、服装や言葉使いなどの態度があまり良くなかった	6	2.1%	4	1.0%	2	4.5%	12	1.6%
処置・態度ともに良くも悪くもなかった	67	23.6%	97	24.1%	9	20.5%	173	23.7%
親切だったが処置に不安を感じた	10	3.5%	15	3.7%	3	6.8%	28	3.8%
処置・態度ともに悪く不信を感じた	5	1.8%	1	0.2%	0	0.0%	6	0.8%
その他	21	7.4%	39	9.7%	1	2.3%	61	8.4%
無回答	4	1.4%	2	0.5%	0	0.0%	6	0.8%
合計	284	100.0%	402	100.0%	44	100.0%	730	100.0%

問 6 応急手当をした経験

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ある	53	7.7%	53	5.6%	6	6.9%	112	6.5%
方法は知っているができなかった	8	1.2%	15	1.6%	2	2.3%	25	1.4%
ない	622	90.1%	864	90.9%	72	82.8%	1,558	90.2%
無回答	7	1.0%	18	1.9%	7	8.0%	32	1.9%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問6で「1. ある」または「2. 方法は知っているができなかった」と答えた方に】
問6-1 応急手当の習得場所（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
消防署が行う講習会	20	32.8%	7	10.3%	2	25.0%	29	21.2%
奈良市防災センターが行う定期講習会	5	8.2%	7	10.3%	0	0.0%	12	8.8%
運転免許証を取得時の講習	14	23.0%	13	19.1%	1	12.5%	28	20.4%
学校や職場での講習	31	50.8%	41	60.3%	3	37.5%	75	54.7%
その他	10	16.4%	22	32.4%	2	25.0%	34	24.8%
有効回答数	61	100.0%	68	100.0%	8	100.0%	137	100.0%

問7 消火器設置場所（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
台所	243	35.2%	296	31.2%	29	33.3%	568	32.9%
寝室	11	1.6%	6	0.6%	2	2.3%	19	1.1%
玄関	99	14.3%	126	13.3%	10	11.5%	235	13.6%
居間	21	3.0%	24	2.5%	2	2.3%	47	2.7%
屋外	122	17.7%	194	20.4%	14	16.1%	330	19.1%
その他	54	7.8%	78	8.2%	10	11.5%	142	8.2%
設置していない	218	31.6%	324	34.1%	27	31.0%	569	32.9%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問8 消火器使用方法の認知度

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
使用したことがあるので知っている	197	28.6%	152	16.0%	18	20.7%	367	21.3%
使用したことはないが知っている	412	59.7%	536	56.4%	54	62.1%	1,002	58.0%
知らない	72	10.4%	246	25.9%	13	14.9%	331	19.2%
無回答	9	1.3%	16	1.7%	2	2.3%	27	1.6%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問9 災害時に援護を要する家族の有無

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
いる	235	34.1%	293	30.8%	30	34.5%	558	32.3%
いない	441	63.9%	642	67.6%	54	62.1%	1,137	65.8%
無回答	14	2.0%	15	1.6%	3	3.4%	32	1.9%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問9で「1. いる」と答えた方に】
問9-1 要援護者の寝室場所（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
玄関付近	108	46.0%	125	42.7%	9	30.0%	242	43.4%
どちらかというと、建物の奥の方	71	30.2%	100	34.1%	10	33.3%	181	32.4%
1階以外の階（例：地階（地下）や2階より上の階など（共同住宅やマンションなどは除く。））	45	19.1%	48	16.4%	7	23.3%	100	17.9%
その他	18	7.7%	18	6.1%	2	6.7%	38	6.8%
有効回答数	235	100.0%	293	100.0%	30	100.0%	558	100.0%

問10 消防団の認知度

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
知っている	360	52.2%	421	44.3%	45	51.7%	826	47.8%
知らない	325	47.1%	523	55.1%	40	46.0%	888	51.4%
無回答	5	0.7%	6	0.6%	2	2.3%	13	0.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問11 消防団への入団意志

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
入る	143	20.7%	85	8.9%	14	16.1%	242	14.0%
すでに入っている	21	3.0%	16	1.7%	1	1.1%	38	2.2%
入っていたことはあるが入らない	31	4.5%	11	1.2%	0	0.0%	42	2.4%
入らない	471	68.3%	785	82.6%	66	75.9%	1,322	76.5%
無回答	24	3.5%	53	5.6%	6	6.9%	83	4.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問11で「3. 入っていたことはあるが入らない」または「4. 入らない」と答えた方に】
問11-1 消防団に入らない理由（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
活動の内容及よくわからないから	91	18.1%	203	25.5%	13	19.7%	307	22.5%
危険な活動を行うから	37	7.4%	76	9.5%	5	7.6%	118	8.7%
体力に自信がないから	235	46.8%	453	56.9%	37	56.1%	725	53.2%
職業と両立しないから	191	38.0%	193	24.2%	24	36.4%	408	29.9%
訓練などに参加するのが面倒だから	44	8.8%	45	5.7%	9	13.6%	98	7.2%
消防団の雰囲気になじめないから	23	4.6%	15	1.9%	1	1.5%	39	2.9%
入り方がわからないから	24	4.8%	44	5.5%	3	4.5%	71	5.2%
手当などの待遇が良くないから	10	2.0%	3	0.4%	0	0.0%	13	1.0%
装備や服装（制服など）が良くないから	1	0.2%	1	0.1%	0	0.0%	2	0.1%
魅力を感じないから	30	6.0%	15	1.9%	0	0.0%	45	3.3%
その他	104	20.7%	186	23.4%	11	16.7%	301	22.1%
有効回答数	502	100.0%	796	100.0%	66	100.0%	1,364	100.0%

問12 奈良市防災センターに行った経験

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
行ったことがある	88	12.8%	116	12.2%	8	9.2%	212	12.3%
行ったことはないが、機会があれば行きたい	445	64.5%	638	67.2%	58	66.7%	1,141	66.1%
行ったことがなく今後も行かない	140	20.3%	175	18.4%	15	17.2%	330	19.1%
無回答	17	2.5%	21	2.2%	6	6.9%	44	2.5%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問13-1 興味のある体験施設（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
防災Q & A	170	24.6%	254	26.7%	15	17.2%	439	25.4%
消火体験	260	37.7%	428	45.1%	29	33.3%	717	41.5%
通報シミュレーション	141	20.4%	226	23.8%	13	14.9%	380	22.0%
煙避難体験	182	26.4%	319	33.6%	22	25.3%	523	30.3%
台風体験	169	24.5%	284	29.9%	18	20.7%	471	27.3%
地震体験	374	54.2%	547	57.6%	45	51.7%	966	55.9%
その他	5	0.7%	10	1.1%	2	2.3%	17	1.0%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問13-2 興味のある事業（行事）（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
防災講演会	215	31.2%	240	25.3%	14	16.1%	469	27.2%
親子で防災体験	74	10.7%	146	15.4%	13	14.9%	233	13.5%
夏休み特別企画	23	3.3%	69	7.3%	4	4.6%	96	5.6%
応急手当普及講習	289	41.9%	505	53.2%	43	49.4%	837	48.5%
防火管理者講習会	87	12.6%	62	6.5%	2	2.3%	151	8.7%
防火対象物点検資格者講習会	62	9.0%	55	5.8%	1	1.1%	118	6.8%
その他	8	1.2%	6	0.6%	2	2.3%	16	0.9%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

2. ボランティア活動について

問14 ボランティア活動に参加した経験

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
参加したことがなく、今後も参加する気はない	118	17.1%	146	15.4%	15	17.2%	279	16.2%
参加したことがなく、今後参加するかどうかはわからない	296	42.9%	436	45.9%	31	35.6%	763	44.2%
参加したことはないが、いずれは参加したい	146	21.2%	169	17.8%	19	21.8%	334	19.3%
参加したことはあるが、現在は参加していない	72	10.4%	107	11.3%	5	5.7%	184	10.7%
現在参加している	42	6.1%	72	7.6%	10	11.5%	124	7.2%
無回答	16	2.3%	20	2.1%	7	8.0%	43	2.5%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問14で「4. 参加したことはあるが、現在は参加していない」と答えた方に】

問14-1 現在参加していない理由（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
一時的な活動（災害救助など）であったから	33	45.8%	25	23.4%	1	20.0%	59	32.1%
活動にお金・時間がかかりすぎたから	8	11.1%	14	13.1%	1	20.0%	23	12.5%
人間関係に問題があったから	5	6.9%	7	6.5%	0	0.0%	12	6.5%
活動にやりがいを感じられなかったから	9	12.5%	9	8.4%	0	0.0%	18	9.8%
家族や職場の理解が得られなかったから	4	5.6%	2	1.9%	0	0.0%	6	3.3%
その他	22	30.6%	58	54.2%	3	60.0%	83	45.1%
有効回答数	72	100.0%	107	100.0%	5	100.0%	184	100.0%

3. 介護保険について

問15 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実	383	55.5%	492	51.8%	45	51.7%	920	53.3%
安心して入所できる施設サービスの充実	325	47.1%	498	52.4%	40	46.0%	863	50.0%
介護サービスの質の向上	206	29.9%	289	30.4%	26	29.9%	521	30.2%
ボランティアや地域福祉の向上	58	8.4%	95	10.0%	8	9.2%	161	9.3%
筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実	75	10.9%	121	12.7%	14	16.1%	210	12.2%
生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実	167	24.2%	207	21.8%	23	26.4%	397	23.0%
認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実	107	15.5%	145	15.3%	12	13.8%	264	15.3%
その他	22	3.2%	24	2.5%	0	0.0%	46	2.7%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問16 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない	148	21.4%	141	14.8%	11	12.6%	300	17.4%
サービスが充実しなくても良いから、高齢者の負担増を避けるべきである	99	14.3%	99	10.4%	11	12.6%	209	12.1%
サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである	391	56.7%	632	66.5%	57	65.5%	1,080	62.5%
その他	32	4.6%	45	4.7%	1	1.1%	78	4.5%
無回答	20	2.9%	33	3.5%	7	8.0%	60	3.5%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

4. 文化振興について

問17 文化振興のため充実させるべき施策（5つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	239	34.6%	408	42.9%	31	35.6%	678	39.3%
文化事業における市民との協働	178	25.8%	185	19.5%	22	25.3%	385	22.3%
文化芸術施策に対する財政措置の充実	164	23.8%	137	14.4%	10	11.5%	311	18.0%
芸術家の育成	97	14.1%	129	13.6%	16	18.4%	242	14.0%
伝統芸能の継承、発展	341	49.4%	474	49.9%	44	50.6%	859	49.7%
青少年の文化芸術活動への支援	214	31.0%	299	31.5%	32	36.8%	545	31.6%
高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援	163	23.6%	239	25.2%	21	24.1%	423	24.5%
文化ボランティアの育成	110	15.9%	139	14.6%	18	20.7%	267	15.5%
国際文化交流の推進	197	28.6%	267	28.1%	13	14.9%	477	27.6%
社会的には未成熟な新しい分野の文化芸術活動への支援	63	9.1%	79	8.3%	4	4.6%	146	8.5%
企業メセナ活動（企業が文化活動に参画すること）の活性化	118	17.1%	188	19.8%	12	13.8%	318	18.4%
文化芸術団体への支援	61	8.8%	70	7.4%	7	8.0%	138	8.0%
文化情報の提供	184	26.7%	236	24.8%	24	27.6%	444	25.7%
文化施設（ホール、美術館等）の充実	162	23.5%	262	27.6%	20	23.0%	444	25.7%
文化活動に功績のあった人・団体に対する顕彰	37	5.4%	37	3.9%	4	4.6%	78	4.5%
その他	29	4.2%	19	2.0%	3	3.4%	51	3.0%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問18 文化芸術活動状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
している	52	7.5%	79	8.3%	9	10.3%	140	8.1%
現在はしていないが、したいと思っている	333	48.3%	461	48.5%	32	36.8%	826	47.8%
したいと思わない	262	38.0%	339	35.7%	30	34.5%	631	36.5%
無回答	43	6.2%	71	7.5%	16	18.4%	130	7.5%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問19 あなたが思う奈良らしさ（3つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平城京の置かれた古都	205	29.7%	249	26.2%	22	25.3%	476	27.6%
文化財の宝庫	252	36.5%	324	34.1%	35	40.2%	611	35.4%
世界に誇る仏教美術	204	29.6%	278	29.3%	25	28.7%	507	29.4%
やすらぎを与えるならまちの歴史的景観	152	22.0%	219	23.1%	19	21.8%	390	22.6%
万葉集のゆかりの地	75	10.9%	122	12.8%	13	14.9%	210	12.2%
世界遺産のあるまち	168	24.3%	241	25.4%	19	21.8%	428	24.8%
奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境	447	64.8%	606	63.8%	57	65.5%	1,110	64.3%
四季を通じて繰り広げられる社寺等の伝統行事	173	25.1%	261	27.5%	28	32.2%	462	26.8%
墨・筆・一刀彫りなどの伝統工芸	66	9.6%	125	13.2%	10	11.5%	201	11.6%
能・舞楽などの伝統芸能	39	5.7%	64	6.7%	4	4.6%	107	6.2%
なら燈花会・パサラ祭りなどの新たな風物詩	70	10.1%	123	12.9%	12	13.8%	205	11.9%
その他	13	1.9%	8	0.8%	0	0.0%	21	1.2%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

5. J R旧奈良駅舎について

問20 希望するJ R旧奈良駅舎の活用内容（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
案内施設（観光・行事）	420	60.9%	552	58.1%	48	55.2%	1,020	59.1%
多目的ホール（休息・イベント・ライブ）	330	47.8%	524	55.2%	40	46.0%	894	51.8%
展示場（ギャラリー含む）	278	40.3%	337	35.5%	24	27.6%	639	37.0%
販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ）	198	28.7%	271	28.5%	22	25.3%	491	28.4%
食堂（喫茶・レストラン）	154	22.3%	257	27.1%	24	27.6%	435	25.2%
その他	37	5.4%	30	3.2%	3	3.4%	70	4.1%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問21 管理・運営を行えばよい団体

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
市及び市の出資法人	233	33.8%	406	42.7%	31	35.6%	670	38.8%
民間企業	278	40.3%	345	36.3%	29	33.3%	652	37.8%
N P O 等	137	19.9%	128	13.5%	12	13.8%	277	16.0%
その他	20	2.9%	14	1.5%	1	1.1%	35	2.0%
無回答	22	3.2%	57	6.0%	14	16.1%	93	5.4%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

6. 文化財について

問22 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
遺跡の発掘調査	182	26.4%	197	20.7%	22	25.3%	401	23.2%
遺跡や古い建造物等の買い上げ（公有化）	161	23.3%	148	15.6%	10	11.5%	319	18.5%
社寺や個人がもっている文化財の調査	199	28.8%	174	18.3%	19	21.8%	392	22.7%
美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管	196	28.4%	255	26.8%	26	29.9%	477	27.6%
文化財を収蔵する市立博物館の建設	176	25.5%	175	18.4%	17	19.5%	368	21.3%
古い建造物や美術工芸品等の修理の支援	288	41.7%	442	46.5%	43	49.4%	773	44.8%
火災や盗難から守るための設備の設置	298	43.2%	440	46.3%	33	37.9%	771	44.6%
民俗芸能や年中行事の支援	174	25.2%	262	27.6%	26	29.9%	462	26.8%
めずらしい動植物の保護	118	17.1%	190	20.0%	10	11.5%	318	18.4%
文化財についての知識の普及啓発	230	33.3%	282	29.7%	24	27.6%	536	31.0%
その他	20	2.9%	27	2.8%	3	3.4%	50	2.9%
施策の充実を望まない	27	3.9%	26	2.7%	1	1.1%	54	3.1%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問23 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
遺跡の整備や復元	242	35.1%	223	23.5%	27	31.0%	492	28.5%
文化財の公開	389	56.4%	526	55.4%	46	52.9%	961	55.6%
文化財を展示する市立博物館の建設	192	27.8%	187	19.7%	14	16.1%	393	22.8%
講演会・見学会の開催	202	29.3%	263	27.7%	27	31.0%	492	28.5%
文化財を解説する看板の設置	236	34.2%	231	24.3%	22	25.3%	489	28.3%
文化財を紹介するパンフレットの発行	262	38.0%	284	29.9%	24	27.6%	570	33.0%
伝統芸能の公演	157	22.8%	293	30.8%	23	26.4%	473	27.4%
その他	25	3.6%	19	2.0%	3	3.4%	47	2.7%
施策の充実を望まない	38	5.5%	43	4.5%	3	3.4%	84	4.9%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

7. 市等からの広報について

問24A 「議会だより」の閲読状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
毎回読んでいる	150	21.7%	173	18.2%	20	23.0%	343	19.9%
興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる	241	34.9%	406	42.7%	30	34.5%	677	39.2%
ほとんど読まない	140	20.3%	210	22.1%	16	18.4%	366	21.2%
読んだことがない	66	9.6%	72	7.6%	5	5.7%	143	8.3%
知らない	66	9.6%	48	5.1%	8	9.2%	122	7.1%
無回答	27	3.9%	41	4.3%	8	9.2%	76	4.4%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問24B 「水道だより」の閲読状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
毎回読んでいる	141	20.4%	185	19.5%	22	25.3%	348	20.2%
興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる	213	30.9%	371	39.1%	24	27.6%	608	35.2%
ほとんど読まない	156	22.6%	223	23.5%	20	23.0%	399	23.1%
読んだことがない	64	9.3%	62	6.5%	5	5.7%	131	7.6%
知らない	84	12.2%	58	6.1%	7	8.0%	149	8.6%
無回答	32	4.6%	51	5.4%	9	10.3%	92	5.3%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問24C 「虹のひろば」の閲読状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
毎回読んでいる	115	16.7%	173	18.2%	22	25.3%	310	18.0%
興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる	200	29.0%	336	35.4%	32	36.8%	568	32.9%
ほとんど読まない	160	23.2%	234	24.6%	13	14.9%	407	23.6%
読んだことがない	74	10.7%	65	6.8%	6	6.9%	145	8.4%
知らない	99	14.3%	86	9.1%	5	5.7%	190	11.0%
無回答	42	6.1%	56	5.9%	9	10.3%	107	6.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

8. 男女共同参画について

問25 性別役割分業観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	68	9.9%	47	4.9%	6	6.9%	121	7.0%
どちらかといえばそう思う	258	37.4%	309	32.5%	38	43.7%	605	35.0%
どちらかといえばそう思わない	132	19.1%	224	23.6%	13	14.9%	369	21.4%
そう思わない	203	29.4%	333	35.1%	24	27.6%	560	32.4%
無回答	29	4.2%	37	3.9%	6	6.9%	72	4.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 a 家庭生活の場での男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	243	35.2%	157	16.5%	20	23.0%	420	24.3%
やや平等である	248	35.9%	305	32.1%	34	39.1%	587	34.0%
あまり平等でない	127	18.4%	320	33.7%	21	24.1%	468	27.1%
平等でない	32	4.6%	124	13.1%	7	8.0%	163	9.4%
無回答	40	5.8%	44	4.6%	5	5.7%	89	5.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 b 町内会や自治会など地域活動での男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	223	32.3%	144	15.2%	24	27.6%	391	22.6%
やや平等である	227	32.9%	353	37.2%	28	32.2%	608	35.2%
あまり平等でない	165	23.9%	292	30.7%	20	23.0%	477	27.6%
平等でない	32	4.6%	100	10.5%	7	8.0%	139	8.0%
無回答	43	6.2%	61	6.4%	8	9.2%	112	6.5%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 c 冠婚葬祭などの慣習やしきたりでの男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	146	21.2%	85	8.9%	14	16.1%	245	14.2%
やや平等である	190	27.5%	257	27.1%	18	20.7%	465	26.9%
あまり平等でない	218	31.6%	353	37.2%	30	34.5%	601	34.8%
平等でない	83	12.0%	195	20.5%	13	14.9%	291	16.9%
無回答	53	7.7%	60	6.3%	12	13.8%	125	7.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 d 学校教育の場での男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	322	46.7%	291	30.6%	38	43.7%	651	37.7%
やや平等である	226	32.8%	375	39.5%	28	32.2%	629	36.4%
あまり平等でない	63	9.1%	164	17.3%	6	6.9%	233	13.5%
平等でない	24	3.5%	34	3.6%	4	4.6%	62	3.6%
無回答	55	8.0%	86	9.1%	11	12.6%	152	8.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 e 賃金や待遇などの働く条件での男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	72	10.4%	60	6.3%	13	14.9%	145	8.4%
やや平等である	166	24.1%	158	16.6%	16	18.4%	340	19.7%
あまり平等でない	275	39.9%	417	43.9%	34	39.1%	726	42.0%
平等でない	127	18.4%	250	26.3%	17	19.5%	394	22.8%
無回答	50	7.2%	65	6.8%	7	8.0%	122	7.1%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 f 政治・経済活動への参加での男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	161	23.3%	113	11.9%	17	19.5%	291	16.9%
やや平等である	195	28.3%	210	22.1%	24	27.6%	429	24.8%
あまり平等でない	218	31.6%	392	41.3%	28	32.2%	638	36.9%
平等でない	66	9.6%	169	17.8%	7	8.0%	242	14.0%
無回答	50	7.2%	66	6.9%	11	12.6%	127	7.4%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問26 g 法律や制度の面での男女の平等観

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
平等である	236	34.2%	150	15.8%	26	29.9%	412	23.9%
やや平等である	225	32.6%	282	29.7%	24	27.6%	531	30.7%
あまり平等でない	128	18.6%	316	33.3%	20	23.0%	464	26.9%
平等でない	48	7.0%	135	14.2%	7	8.0%	190	11.0%
無回答	53	7.7%	67	7.1%	10	11.5%	130	7.5%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問27 子どもの有無

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
いる	475	68.8%	699	73.6%	71	81.6%	1,245	72.1%
いない	193	28.0%	227	23.9%	13	14.9%	433	25.1%
無回答	22	3.2%	24	2.5%	3	3.4%	49	2.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問27で「1. いる」と答えた方に】

問27-1 末子年齢

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
就学前(平成11年4月2日生まれ以降)	39	8.2%	79	11.3%	10	14.1%	128	10.3%
小学生	37	7.8%	69	9.9%	3	4.2%	109	8.8%
中学・高校生	41	8.6%	48	6.9%	8	11.3%	97	7.8%
短大・大学生(専門学校を含む)	36	7.6%	67	9.6%	3	4.2%	106	8.5%
社会人	304	64.0%	387	55.4%	45	63.4%	736	59.1%
その他	15	3.2%	37	5.3%	2	2.8%	54	4.3%
無回答	3	0.6%	12	1.7%	0	0.0%	15	1.2%
合計	475	100.0%	699	100.0%	71	100.0%	1,245	100.0%

問28 a 女の子は女らしく、男の子は男らしくしつけるのがよい

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	349	50.6%	261	27.5%	35	40.2%	645	37.3%
どちらかといえばそう思う	212	30.7%	381	40.1%	31	35.6%	624	36.1%
どちらかといえばそう思わない	44	6.4%	145	15.3%	7	8.0%	196	11.3%
そう思わない	54	7.8%	123	12.9%	9	10.3%	186	10.8%
無回答	31	4.5%	40	4.2%	5	5.7%	76	4.4%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問28 b 女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	344	49.9%	565	59.5%	44	50.6%	953	55.2%
どちらかといえばそう思う	260	37.7%	314	33.1%	33	37.9%	607	35.1%
どちらかといえばそう思わない	35	5.1%	25	2.6%	4	4.6%	64	3.7%
そう思わない	14	2.0%	9	0.9%	0	0.0%	23	1.3%
無回答	37	5.4%	37	3.9%	6	6.9%	80	4.6%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問28 c 男の子も、家事・育児ができるように育てるのがよい

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	257	37.2%	485	51.1%	37	42.5%	779	45.1%
どちらかといえばそう思う	283	41.0%	369	38.8%	32	36.8%	684	39.6%
どちらかといえばそう思わない	76	11.0%	42	4.4%	8	9.2%	126	7.3%
そう思わない	30	4.3%	18	1.9%	2	2.3%	50	2.9%
無回答	44	6.4%	36	3.8%	8	9.2%	88	5.1%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問28 d 父親はもっと子育てにかかわる方がよい

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	296	42.9%	555	58.4%	41	47.1%	892	51.7%
どちらかといえばそう思う	292	42.3%	319	33.6%	34	39.1%	645	37.3%
どちらかといえばそう思わない	47	6.8%	23	2.4%	4	4.6%	74	4.3%
そう思わない	11	1.6%	12	1.3%	2	2.3%	25	1.4%
無回答	44	6.4%	41	4.3%	6	6.9%	91	5.3%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問28 e 子育てには、地域社会の支援が必要である

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	294	42.6%	518	54.5%	45	51.7%	857	49.6%
どちらかといえばそう思う	251	36.4%	311	32.7%	28	32.2%	590	34.2%
どちらかといえばそう思わない	65	9.4%	53	5.6%	2	2.3%	120	6.9%
そう思わない	31	4.5%	22	2.3%	4	4.6%	57	3.3%
無回答	49	7.1%	46	4.8%	8	9.2%	103	6.0%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問28 f 3歳までは、母親が子育てに専念すべきである

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	312	45.2%	379	39.9%	37	42.5%	728	42.2%
どちらかといえばそう思う	218	31.6%	351	36.9%	31	35.6%	600	34.7%
どちらかといえばそう思わない	73	10.6%	99	10.4%	6	6.9%	178	10.3%
そう思わない	48	7.0%	86	9.1%	6	6.9%	140	8.1%
無回答	39	5.7%	35	3.7%	7	8.0%	81	4.7%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問29 出生率の低下原因（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
子育てのための経済的負担が大きい ため	503	72.9%	663	69.8%	64	73.6%	1,230	71.2%
子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため	276	40.0%	385	40.5%	34	39.1%	695	40.2%
住環境がよくないから	116	16.8%	171	18.0%	15	17.2%	302	17.5%
仕事と子育ての両立が難しいから	413	59.9%	634	66.7%	53	60.9%	1,100	63.7%
子育ては母親の負担が大きく、父親 の協力が足りないから	174	25.2%	377	39.7%	32	36.8%	583	33.8%
子育てや子どもの教育に自信がもて ないから	149	21.6%	225	23.7%	12	13.8%	386	22.4%
子どもがほしくないから	81	11.7%	88	9.3%	8	9.2%	177	10.2%
結婚しない人や晩婚の人が増えたか ら	436	63.2%	636	66.9%	53	60.9%	1,125	65.1%
子どもよりも夫婦中心に生活を考え る人が増えたから	237	34.3%	262	27.6%	31	35.6%	530	30.7%
その他	50	7.2%	74	7.8%	4	4.6%	128	7.4%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問30 男性の育児・介護休業取得に対する考え

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
男性も育児・介護休業を積極的に利 用すべきである	111	16.1%	203	21.4%	26	29.9%	340	19.7%
男性も育児・介護休業を取ることは 賛成だが、現実には取りづらいと思 う	513	74.3%	674	70.9%	48	55.2%	1,235	71.5%
育児・介護は女性がすべきであり、 男性が休業を取る必要がない	41	5.9%	40	4.2%	6	6.9%	87	5.0%
無回答	25	3.6%	33	3.5%	7	8.0%	65	3.8%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問31 望ましい男性の生き方

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
家庭は妻に任せて、仕事に専念する	71	10.3%	44	4.6%	4	4.6%	119	6.9%
どちらかといえば、家庭や地域活動 などよりも仕事を優先する	155	22.5%	135	14.2%	12	13.8%	302	17.5%
どちらかといえば、仕事よりも家庭 や地域活動などを優先する	37	5.4%	20	2.1%	7	8.0%	64	3.7%
仕事と家庭や地域活動などを両立さ せる	362	52.5%	631	66.4%	51	58.6%	1,044	60.5%
その他	17	2.5%	31	3.3%	4	4.6%	52	3.0%
わからない	27	3.9%	54	5.7%	3	3.4%	84	4.9%
無回答	21	3.0%	35	3.7%	6	6.9%	62	3.6%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問32 女性が収入を得る仕事を持つことについて

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
結婚や出産をしても、仕事を持ち続ける方がよい	120	17.4%	227	23.9%	16	18.4%	363	21.0%
結婚や出産で一時的に家庭に入った後、再び仕事を持つ方がよい	381	55.2%	504	53.1%	51	58.6%	936	54.2%
結婚で家庭に入り、その後は仕事を持たない方がよい	37	5.4%	25	2.6%	2	2.3%	64	3.7%
出産で家庭に入り、その後は仕事を持たない方がよい	68	9.9%	56	5.9%	6	6.9%	130	7.5%
女性は仕事を持たない方がよい	13	1.9%	10	1.1%	1	1.1%	24	1.4%
その他	27	3.9%	48	5.1%	4	4.6%	79	4.6%
わからない	27	3.9%	51	5.4%	2	2.3%	80	4.6%
無回答	17	2.5%	29	3.1%	5	5.7%	51	3.0%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問33 結婚状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
結婚している	514	74.5%	670	70.5%	73	83.9%	1,257	72.8%
結婚したことがない	108	15.7%	142	14.9%	5	5.7%	255	14.8%
過去に結婚していたが、死別した	26	3.8%	67	7.1%	2	2.3%	95	5.5%
過去に結婚していたが、離別した	19	2.8%	38	4.0%	2	2.3%	59	3.4%
その他	2	0.3%	2	0.2%	0	0.0%	4	0.2%
無回答	21	3.0%	31	3.3%	5	5.7%	57	3.3%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問33で「1. 結婚している」と答えた方に】

問33-1 夫の家事分担の割合

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
少ない	229	44.6%	414	61.8%	37	50.7%	680	54.1%
ちょうどよい	259	50.4%	223	33.3%	33	45.2%	515	41.0%
多い	18	3.5%	24	3.6%	2	2.7%	44	3.5%
無回答	8	1.6%	9	1.3%	1	1.4%	18	1.4%
合計	514	100.0%	670	100.0%	73	100.0%	1,257	100.0%

問34 就業状況

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現在、仕事をしている	443	64.2%	410	43.2%	44	50.6%	897	51.9%
過去に仕事をしていたが現在していない	220	31.9%	443	46.6%	37	42.5%	700	40.5%
仕事をした経験はない	12	1.7%	71	7.5%	2	2.3%	85	4.9%
無回答	15	2.2%	26	2.7%	4	4.6%	45	2.6%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

【問34で「2. 過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方に】

問34-1 仕事をしていない理由

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
学生のため	9	3.9%	10	1.9%	0	0.0%	19	2.4%
主に家事をしているため	4	1.7%	128	24.9%	4	10.3%	136	17.3%
主に育児をしているため	0	0.0%	50	9.7%	3	7.7%	53	6.8%
主に介護をしているため	5	2.2%	17	3.3%	1	2.6%	23	2.9%
求職・休業中	12	5.2%	18	3.5%	3	7.7%	33	4.2%
高齢のため	82	35.3%	153	29.8%	12	30.8%	247	31.5%
定年退職後のため	94	40.5%	32	6.2%	7	17.9%	133	16.9%
その他	5	2.2%	27	5.3%	0	0.0%	32	4.1%
無回答	21	9.1%	79	15.4%	9	23.1%	109	13.9%
合計	232	100.0%	514	100.0%	39	100.0%	785	100.0%

【問34で「2. 過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方に】

問34-2 就業希望

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
働きたいと思う	85	36.6%	172	33.5%	14	35.9%	271	34.5%
働きたいとは思わない	98	42.2%	195	37.9%	14	35.9%	307	39.1%
わからない	10	4.3%	42	8.2%	2	5.1%	54	6.9%
無回答	39	16.8%	105	20.4%	9	23.1%	153	19.5%
合計	232	100.0%	514	100.0%	39	100.0%	785	100.0%

【問34で「2. 過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方で問34-2で「1. 働きたいと思う」と答えた方に】

問34-2-1 希望する雇用体系

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
正社員・正職員で働きたい	23	27.1%	30	17.4%	1	7.1%	54	19.9%
パートなどで働きたい	41	48.2%	105	61.0%	8	57.1%	154	56.8%
自宅で仕事（自営、内職等）がしたい	13	15.3%	29	16.9%	5	35.7%	47	17.3%
その他	5	5.9%	5	2.9%	0	0.0%	10	3.7%
無回答	3	3.5%	3	1.7%	0	0.0%	6	2.2%
合計	85	100.0%	172	100.0%	14	100.0%	271	100.0%

【問34で「2. 過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方に】

問34-3 働く時の気がかり（3つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
自分のしたい仕事に就けるか	59	25.4%	105	20.4%	9	23.1%	173	22.0%
自分の資格や能力が通用するか	32	13.8%	69	13.4%	5	12.8%	106	13.5%
職場の人間関係がうまくいくか	14	6.0%	50	9.7%	6	15.4%	70	8.9%
賃金など、望む労働条件が得られるか	20	8.6%	50	9.7%	3	7.7%	73	9.3%
自分の健康状態や体力	89	38.4%	168	32.7%	15	38.5%	272	34.6%
家族の理解が得られるか	4	1.7%	27	5.3%	0	0.0%	31	3.9%
年齢制限	100	43.1%	219	42.6%	17	43.6%	336	42.8%
家事、育児、介護との両立ができるか	3	1.3%	83	16.1%	7	17.9%	93	11.8%
子どもが保育所、学童保育に入れるか	0	0.0%	22	4.3%	4	10.3%	26	3.3%
その他	3	1.3%	11	2.1%	1	2.6%	15	1.9%
特にない	11	4.7%	30	5.8%	2	5.1%	43	5.5%
有効回答数	232	100.0%	514	100.0%	39	100.0%	785	100.0%

【問34で「1. 現在仕事をしている」と答えた方に】
問35 仕事をしている主な理由（2つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
働くのは当然だから	216	48.8%	110	26.8%	9	20.5%	335	37.3%
生活や老後のためにお金が必要だから	260	58.7%	244	59.5%	23	52.3%	527	58.8%
社会や人とのつながりをもつため	68	15.3%	104	25.4%	9	20.5%	181	20.2%
自分の能力を社会に生かしたいから	88	19.9%	64	15.6%	8	18.2%	160	17.8%
経済的に自立したいから	71	16.0%	81	19.8%	7	15.9%	159	17.7%
生きがいを得るため	72	16.3%	55	13.4%	7	15.9%	134	14.9%
その他	16	3.6%	30	7.3%	2	4.5%	48	5.4%
わからない	5	1.1%	7	1.7%	1	2.3%	13	1.4%
有効回答数	443	100.0%	410	100.0%	44	100.0%	897	100.0%

問36 ドメスティック・バイオレンスを受けた経験（複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
なぐる、けるなどの身体的暴力	9	1.3%	51	5.4%	2	2.3%	62	3.6%
ののしる、おどすなどの言葉の暴力 や、無視するなどの精神的暴力	21	3.0%	70	7.4%	5	5.7%	96	5.6%
性行為の強要など性的暴力	0	0.0%	12	1.3%	1	1.1%	13	0.8%
生活費を渡さない、働きに行かせない など経済的暴力	1	0.1%	21	2.2%	0	0.0%	22	1.3%
行動を制限する、友人に会わせない など社会的暴力	6	0.9%	16	1.7%	0	0.0%	22	1.3%
ない	606	87.8%	773	81.4%	68	78.2%	1,447	83.8%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問37 ドメスティック・バイオレンスの見聞き

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
ある	151	21.9%	229	24.1%	12	13.8%	392	22.7%
ない	516	74.8%	682	71.8%	69	79.3%	1,267	73.4%
無回答	23	3.3%	39	4.1%	6	6.9%	68	3.9%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問38 a セクハラは会社が責任を持って対策を持つことが必要だ

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	420	60.9%	633	66.6%	51	58.6%	1,104	63.9%
そう思わない	147	21.3%	101	10.6%	17	19.5%	265	15.3%
わからない	72	10.4%	124	13.1%	11	12.6%	207	12.0%
無回答	51	7.4%	92	9.7%	8	9.2%	151	8.7%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問38 b セクハラはあくまでも当事者間の問題だと思う

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	294	42.6%	266	28.0%	27	31.0%	587	34.0%
そう思わない	280	40.6%	477	50.2%	38	43.7%	795	46.0%
わからない	70	10.1%	126	13.3%	8	9.2%	204	11.8%
無回答	46	6.7%	81	8.5%	14	16.1%	141	8.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問38 c セクハラはマスコミなどの騒ぎすぎだと思う

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	316	45.8%	262	27.6%	31	35.6%	609	35.3%
そう思わない	243	35.2%	415	43.7%	33	37.9%	691	40.0%
わからない	83	12.0%	175	18.4%	10	11.5%	268	15.5%
無回答	48	7.0%	98	10.3%	13	14.9%	159	9.2%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問38 d セクハラは女性を対等に扱わない意識を変える必要がある

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	423	61.3%	636	66.9%	53	60.9%	1,112	64.4%
そう思わない	111	16.1%	73	7.7%	12	13.8%	196	11.3%
わからない	94	13.6%	135	14.2%	11	12.6%	240	13.9%
無回答	62	9.0%	106	11.2%	11	12.6%	179	10.4%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問38 e セクハラは被害者がはっきりと拒絶するべきだ

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	462	67.0%	606	63.8%	60	69.0%	1,128	65.3%
そう思わない	79	11.4%	101	10.6%	4	4.6%	184	10.7%
わからない	92	13.3%	160	16.8%	10	11.5%	262	15.2%
無回答	57	8.3%	83	8.7%	13	14.9%	153	8.9%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問38 f セクハラは何がセクハラに当たるのか不明なのではっきりさせるべきだ

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
そう思う	468	67.8%	619	65.2%	47	54.0%	1,134	65.7%
そう思わない	98	14.2%	108	11.4%	15	17.2%	221	12.8%
わからない	71	10.3%	135	14.2%	11	12.6%	217	12.6%
無回答	53	7.7%	88	9.3%	14	16.1%	155	9.0%
合計	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

問39 男女共同参画社会の実現のため市が力をいれること（3つ以内で複数回答）

	男性		女性		無回答		合計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
男女平等についての理解を深める広報啓発活動	168	24.3%	124	13.1%	19	21.8%	311	18.0%
女性の活動グループの育成、支援	69	10.0%	105	11.1%	10	11.5%	184	10.7%
男女共同参画に関する講座や講演会などの充実	142	20.6%	102	10.7%	16	18.4%	260	15.1%
男性の家事や育児、介護への参加を促す事業の実施	173	25.1%	308	32.4%	23	26.4%	504	29.2%
雇用や就労などに関しての企業への働きかけ	272	39.4%	360	37.9%	28	32.2%	660	38.2%
女性を意識決定の場に積極的に登用する	140	20.3%	162	17.1%	13	14.9%	315	18.2%
女性の再就職や仕事づくりなどの支援	227	32.9%	446	46.9%	36	41.4%	709	41.1%
保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスの充実	342	49.6%	587	61.8%	43	49.4%	972	56.3%
国際理解や国際交流に関する事業の実施	47	6.8%	47	4.9%	4	4.6%	98	5.7%
その他	23	3.3%	19	2.0%	3	3.4%	45	2.6%
有効回答数	690	100.0%	950	100.0%	87	100.0%	1,727	100.0%

III 集計結果の分析

1. 防災・消防・救急について

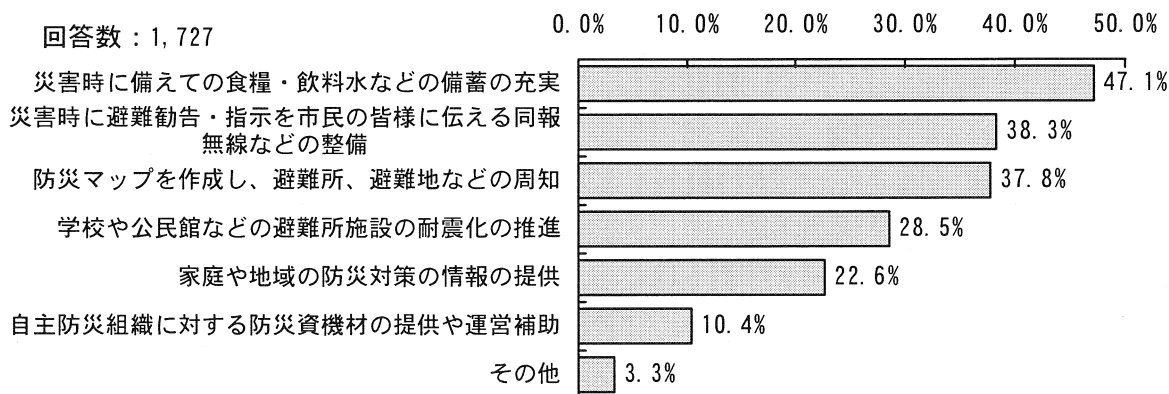
1-1 防災対策について

1-1-1 市が力を入れるべき防災対策

問１ 防災対策として全てが重要ですが、市が特に力を入れるべきだと思われる取り組みはどの項目ですか。【あてはまるもの２つに○】

市が力を入れるべき防災対策は、「災害時に備えての食糧・飲料水などの備蓄の充実」が47.1%で最も多く、次いで「災害時に避難勧告・指示を市民の皆様伝える同報無線などの整備」(38.3%)、「防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知」(37.8%)となっている。

図 市が力を入れるべき防災対策（2つ以内で複数回答）



地域別みると、「月ヶ瀬」と「都祁」以外の全ての地域で「災害時に備えての食糧・飲料水などの備蓄の充実」が最も多く、「東部地域」では「防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知」も最も多くなっている。回答の多い順の2番目は、「西部」と「中部」と「南部」では「防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知」であるが、「北部」と「中央市街地」では「災害時に避難勧告・指示を市民の皆様に伝える同報無線などの整備」が最も多く、「月ヶ瀬」では「家庭や地域の防災対策の提供」

と「自主防災組織に対する防災資機材の提供や運営補助」も最も多くなっている。

	有効回答数	避難所や施設の耐震などの推進	周知	避難マップを作成し、避難地などの周知	災害時に避難勧告・指示を市民の皆様に伝える同報無線などの整備	家庭や地域の防災対策の提供	営繕補助	自主防災組織の提供や運営	食糧・飲料水の備蓄	災害時に備えての備蓄	その他
全体	1,727	28.5%	37.8%	38.3%	22.6%	10.4%	47.1%	3.3%			
地域	西部地域	769	29.9%	40.1%	39.0%	22.1%	8.5%	46.6%	4.0%		
	北部地域	125	30.4%	31.2%	44.0%	16.8%	8.8%	54.4%	0.8%		
	中部地域	114	30.7%	41.2%	39.5%	27.2%	6.1%	42.1%	0.9%		
	中央市街地	414	25.8%	37.4%	37.9%	22.2%	14.3%	49.8%	2.2%		
	南部地域	122	33.6%	36.1%	27.9%	23.0%	13.9%	47.5%	4.9%		
	東部地域	26	11.5%	42.3%	26.9%	19.2%	26.9%	42.3%	7.7%		
	月ヶ瀬地域	9	11.1%	22.2%	44.4%	44.4%	44.4%	33.3%	0.0%		
都祁地域	31	29.0%	35.5%	54.8%	29.0%	9.7%	38.7%	6.5%			

表 地域別 市が力を入れるべき防災対策（2つ以内で複数回答）

		有効回答数	進難学校や公民館などの避難所施設の耐震化の推進	避難場所、避難地などの周知	防災マップを作成し、避難地などの整備	示を市民の皆様に伝える同報無線などの整備	災害時に避難勧告・指示を地域の防災対策の情報提供	家庭や地域の防災対策の補助	自主防災組織に対する防犯資機材の提供や運営補助	糧・飲料水などの備蓄の充実	災害時に備えての食料・飲料水などの備蓄	その他
	全体	1,727	28.5%	37.8%	38.3%	22.6%	10.4%	47.1%	3.3%			
地域	西部地域	769	29.9%	40.1%	39.0%	22.1%	8.5%	46.6%	4.0%			
	北部地域	125	30.4%	31.2%	44.0%	16.8%	8.8%	54.4%	0.8%			
	中部地域	114	30.7%	41.2%	39.5%	27.2%	6.1%	42.1%	0.9%			
	中央市街地	414	25.8%	37.4%	37.9%	22.2%	14.3%	49.8%	2.2%			
	南部地域	122	33.6%	36.1%	27.9%	23.0%	13.9%	47.5%	4.9%			
	東部地域	26	11.5%	42.3%	26.9%	19.2%	26.9%	42.3%	7.7%			
	月ヶ瀬地域	9	11.1%	22.2%	44.4%	44.4%	44.4%	33.3%	0.0%			
	都祁地域	31	29.0%	35.5%	54.8%	29.0%	9.7%	38.7%	6.5%			

* 地域（無回答）：117人

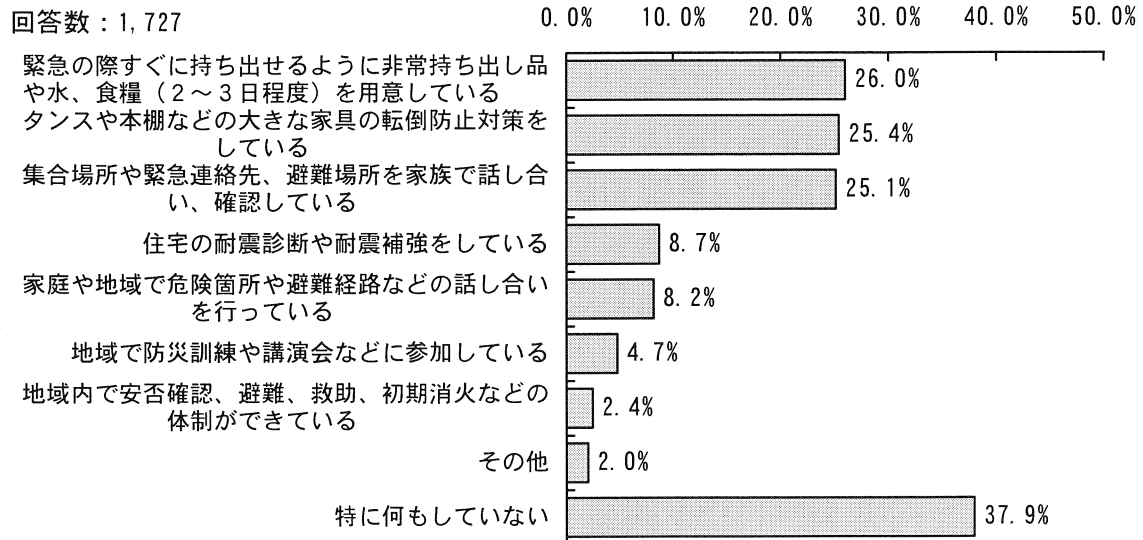
1-1-2 家庭や地域で行っている防災対策

問2 防災対策としてご家庭や地域で行っておられる取り組みは、次のうちのどの項目ですか。
【あてはまるものすべてに○】

家庭や地域で行っている防災対策は、「特に何もしていない」を除いて「緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している」が26.0%で最も多く、次いで「タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている」（25.4%）、「集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している」（25.1%）となっている。

なお「特に何もしていない」は37.9%となっている。

図 家庭や地域で行っている防災対策（複数回答）



何を行っているか家族構成別にみると、「二世帯世帯（本人と子ども）」では「集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している」（27.8%）が最も多く、「二世帯世帯（本人と親）」では「タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている」（23.7%）が最も多くなっている。他構成世帯ではいずれも「緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している」が最も多くなっている。

表 家族構成別 家庭や地域で行っている防災対策（複数回答）

	合計	緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（2～3日程度）を用意している	集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している	タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている	住宅の耐震診断や耐震補強をしている	家庭や地域で危険箇所や避難経路などの話し合いを行っている	地域で防災訓練や講演会などに参加している	地域内で安否確認、避難、救助、初期消火などの体制ができている	その他	特に何もしていない
全体	1,727	26.0%	25.1%	25.4%	8.7%	8.2%	4.7%	2.4%	2.0%	37.9%
家族構成										
単身	134	26.9%	17.9%	17.9%	3.0%	4.5%	3.7%	3.7%	2.2%	45.5%
夫婦のみ	430	29.8%	27.0%	29.1%	8.8%	8.6%	4.9%	2.3%	2.3%	33.3%
二世帯世帯（本人と子ども）	580	25.5%	27.8%	26.6%	9.5%	8.1%	4.7%	2.1%	1.9%	36.2%
二世帯世帯（本人と親）	249	20.9%	20.9%	23.7%	6.4%	8.8%	4.0%	2.4%	0.8%	45.8%
三世帯世帯	210	25.7%	24.3%	22.4%	13.3%	8.1%	6.7%	3.3%	1.4%	37.1%
その他	31	29.0%	25.8%	25.8%	9.7%	12.9%	12.9%	3.2%	6.5%	35.5%

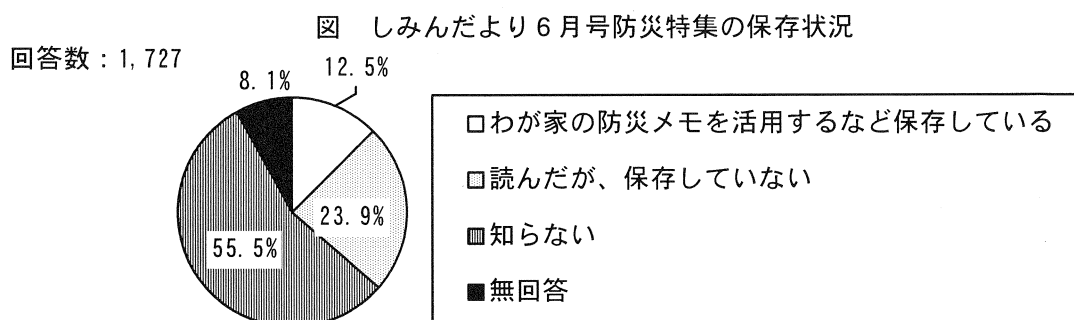
* 家族構成（無回答）：93人

1-2 しみんだより 6月号防災特集について

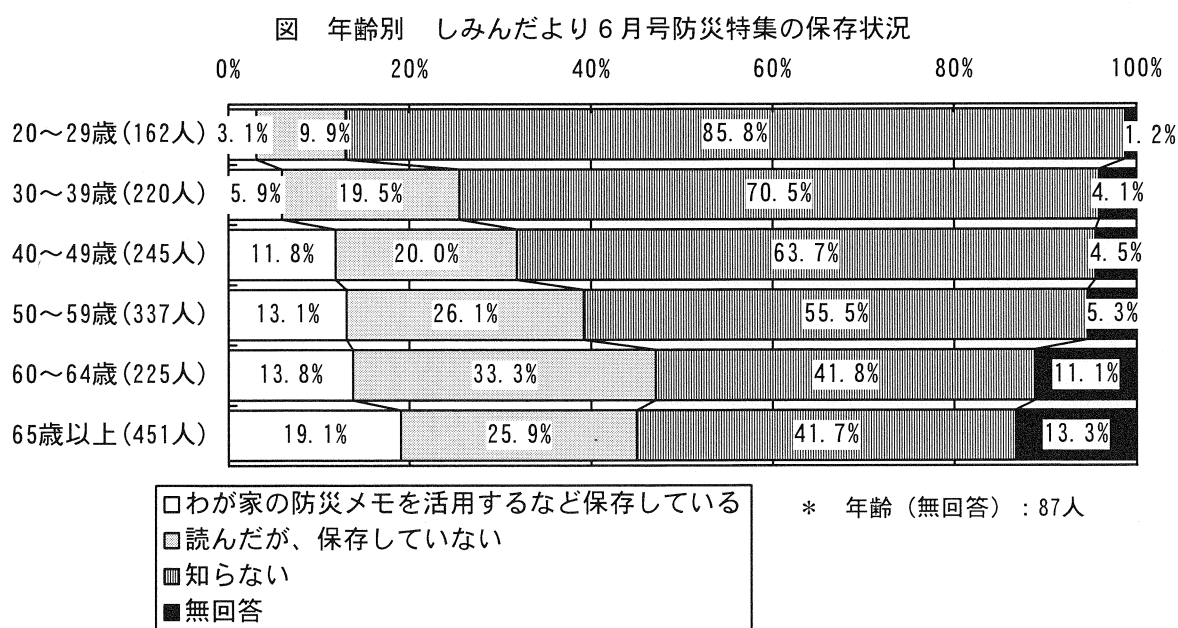
1-2-1 しみんだより 6月号防災特集の保存状況

問3 今年のしみんだより 6月号防災特集（保存版）についてお聞きします。【あてはまるものの1つに○】

しみんだより 6月号防災特集の保存状況は、「知らない」が 55.5%で過半数を超えており、次いで「読んだが、保存していない」が 23.9%となっている。



年齢別にみると、「知らない」は「20～29歳」が 85.8%で最も高く、次いで「30～39歳」（70.5%）、「40～49歳」（63.7%）となっており、年齢が下がる程認知度が低くなっている。また、「読んだが、保存していない」は「60～64歳」（33.3%）で最も高く、「わが家の防災メモを活用するなど保存している」では「65歳以上」（19.1%）で最も高くなっている。



1-2-2 しみんだより 6 月号防災特集に対する感想

問 3-1 問 3 で「1. わが家の防災メモを活用するなど保存している」または「2. 読んだが、保存していない」と答えた方はご意見、ご感想をお聞かせください。

しみんだより 6 月号防災特集を「わが家の防災メモを活用するなど保存している」または「読んだが、保存していない」方の内、239 人（38.1%）からしみんだより 6 月号防災特集に対する感想をえた。分類すると、「防災特集について」は 177 人、「災害に対する備え・心構えについて」は 58 人から回答をえた。防災特集について、「災害用に大切に保存」が 27 人で最も多く、次いで「満足している」（19 人）、「保存しているが、活用できていない」（17 人）となっている。災害に対する備え・心構えについて、「災害に対して実感がない」が 19 人で最も多く、次いで「今後、災害に備えたい」（11 人）となっている。なお、自由記述は複数回答のため、回答数の合計と全体は一致しない。

表 しみんだより 6 月号防災特集に対する感想

大分類	小分類	回答数	構成比
防災特集について	災害用に大切に保存	27	11.3%
	満足している	19	7.9%
	保存しているが、活用できていない	17	7.1%
	災害時に防災特集を活かせるか不安	15	6.3%
	内容を具体的かつ簡潔にしてほしい	14	5.9%
	定期的に発行してほしい	13	5.4%
	紛失した	13	5.4%
	内容について覚えていない	11	4.6%
	防災特集を元に非常持ち出し品等を準備したい	9	3.8%
	避難場所を確認できた	7	2.9%
	小冊子・別冊にしてほしい	6	2.5%
	読んでいない	6	2.5%
	防災マップや避難場所のマップが欲しい	4	1.7%
	その他	3	1.3%
	時々読み返している	3	1.3%
	目立つよう工夫してほしい	3	1.3%
	冷蔵庫等に貼れる形にしてほしい	3	1.3%
	内容についてもう一度確認したい	2	0.8%
	防災の大切さがわかった	2	0.8%
	計	177	74.1%
災害に対する備え・心構え	災害に対して実感がない	19	7.9%
	今後、災害に備えたい	11	4.6%
	その他	10	4.2%
	非常持ち出し品等の備えができていない	8	3.3%
	地域の防災組織の強化	4	1.7%
	備えは必要だが、実行していない	4	1.7%
	災害情報は意識して入手している	2	0.8%
	計	58	24.3%
その他	防災についての周知徹底	11	4.6%
	避難場所が少ない・遠い	6	2.5%
	帰宅困難者への対応の周知が必要	2	0.8%
	計	19	7.9%
全体		239	100.0%

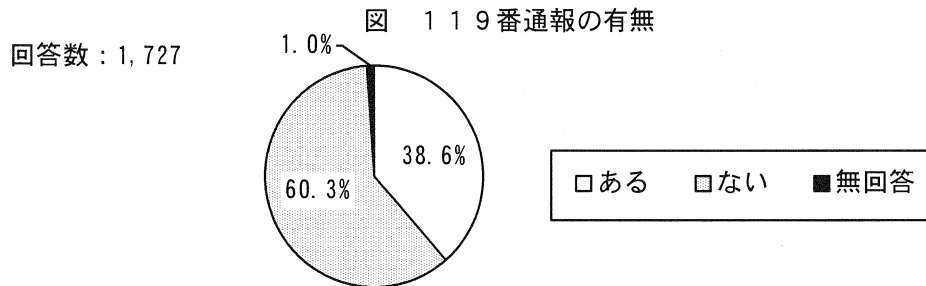
1-3 119番通報について

1-3-1 119番通報の有無

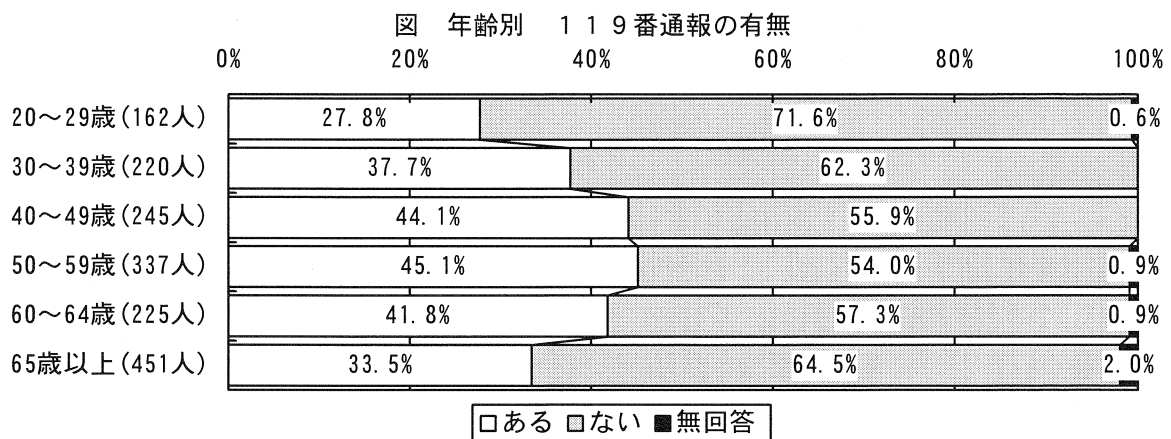
問4 あなたは、いままでに119番通報をされたことがありますか。

【あてはまるもの1つに○】

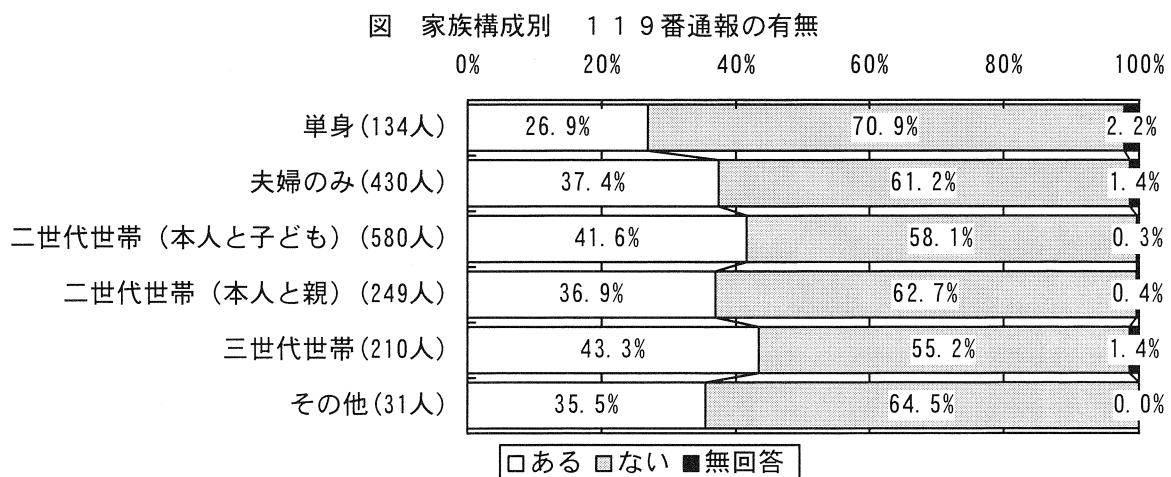
119番通報の有無は、「ない」が60.3%で「ある」(38.6%)を21.7ポイント上回っている。



年齢別にみると、「ある」は「50～59歳」(45.1%)で最も高く、次いで「40～49歳」(44.1%)となっている。



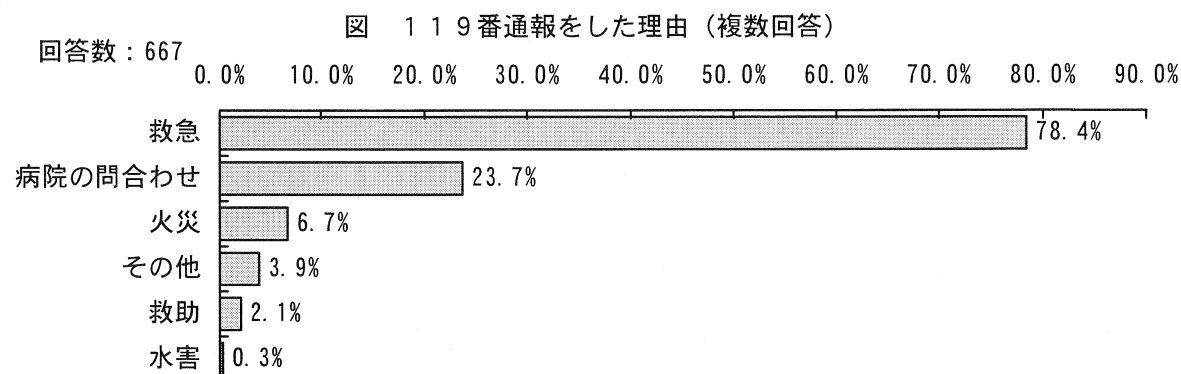
家族構成別にみると、「ある」は「三世帯世帯」(43.3%)で最も高く、次いで「二世帯世帯(本人と子ども)」(41.6%)となっている。



1-3-2 119番通報をした理由

問4-1 問4で「1. ある」と答えた方にお聞きします。どんなときに119番通報されましたか。【あてはまるものすべてに○】

119番通報をしたことが「ある」方の内、119番通報をした理由は、「救急」が78.4%で最も多く、次いで「病院の問い合わせ」(23.7%)となっている。

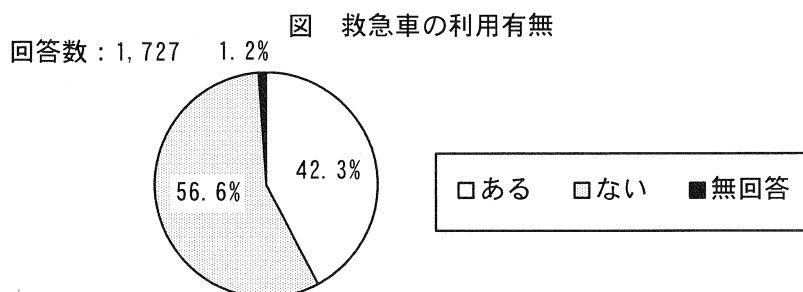


1-4 救急車について

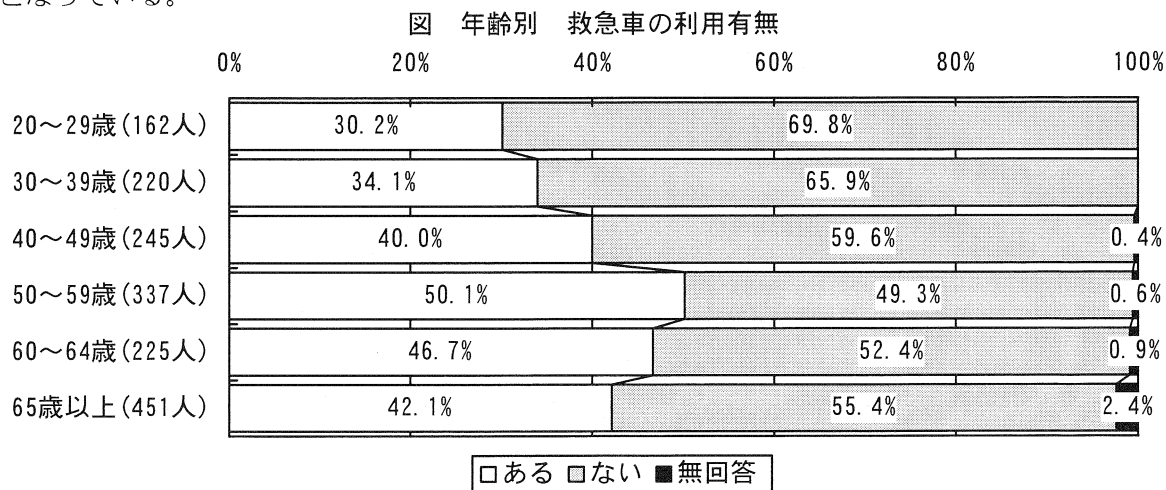
1-4-1 救急車の利用有無

問5 救急車を利用されたことがありますか？【あてはまるもの1つに○】

救急車の利用有無は、「ない」が56.6%で「ある」(42.3%)を14.3ポイント上回っている。



年齢別にみると、「ある」は「50～59歳」(50.1%)で最も高く、次いで「60～64歳」(46.7%)となっている。

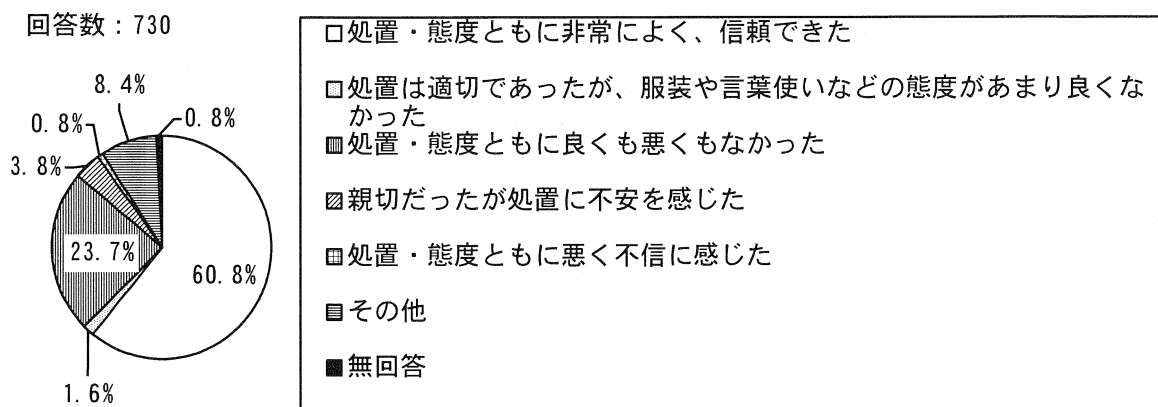


1-4-2 救急隊員の印象

問5-1 問5で「1. ある」と答えた方にお聞きします。救急車を利用されたときの救急隊員の印象はどうでしたか。【あてはまるもの1つに○】

救急車を利用したことが「ある」方内、救急隊員の印象は、「処置・態度ともに非常によく、信頼できた」が60.8%で最も多く、次いで「処置・態度ともに良くも悪くもなかった」(23.7%)となっている。

図 救急隊員の印象

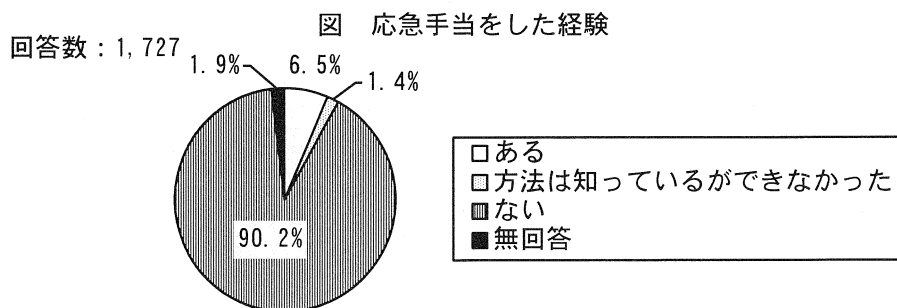


1-5 応急手当について

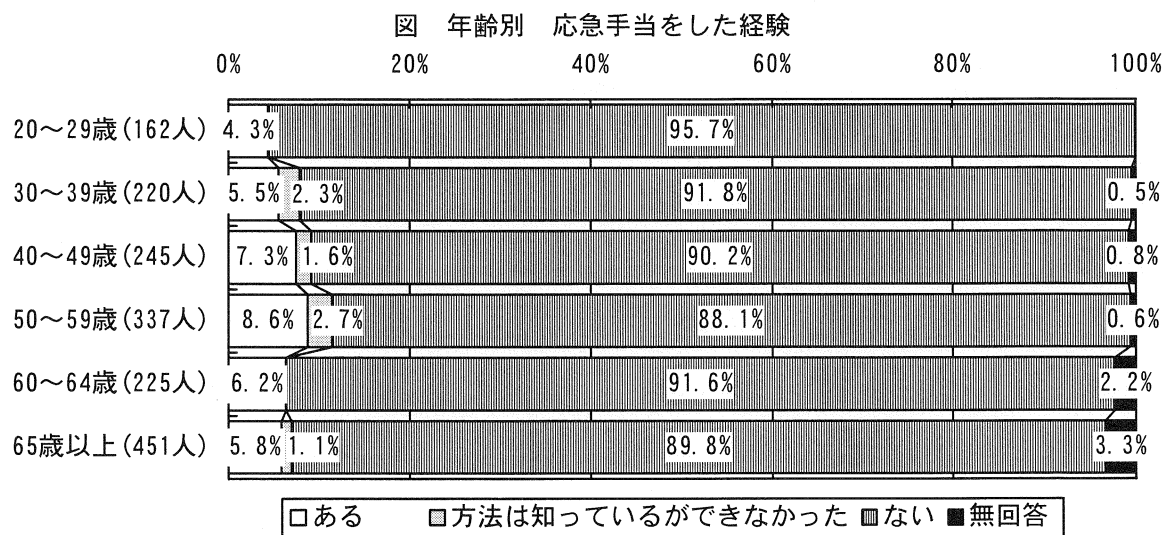
1-5-1 応急手当をした経験

問6 交通事故や急病などで、救急車が来るまでに応急手当をした経験がありますか。【あてはまるもの1つに○】

応急手当をした経験は、「ない」が90.2%で、「ある」は6.5%となっている。



年齢別にみると、「ない」が「20～29歳」(95.7%)で最も高く、次いで「30～39歳」(91.8%)となっている。また、「ある」及び「方法は知っていたができなかった」の合計は「50～59歳」(11.3%)で最も高くなっている。



1-5-2 応急手当の習得場所

問6-1 問6で「1. ある」または「2. 方法は知っているができなかった」と答えた方にお聞きします。応急手当の方法は、どこで習いましたか。【あてはまるものすべてに○と回数を記入】

応急手当をした経験が「ある」または「方法は知っているができなかった」方の内、応急手当の習得場所は「学校や職場での講習」が 54.7%で最も多く、次いで「その他」(24.8%)、「消防署が行う講習会」(21.2%) となっている。「その他」には、「医療に携わる職業のため」(8人)、「介護講習」(4人)、「赤十字の講習会」(4人)、「本やテレビ等」(4人) 等がある。

図 応急手当の習得場所 (複数回答)

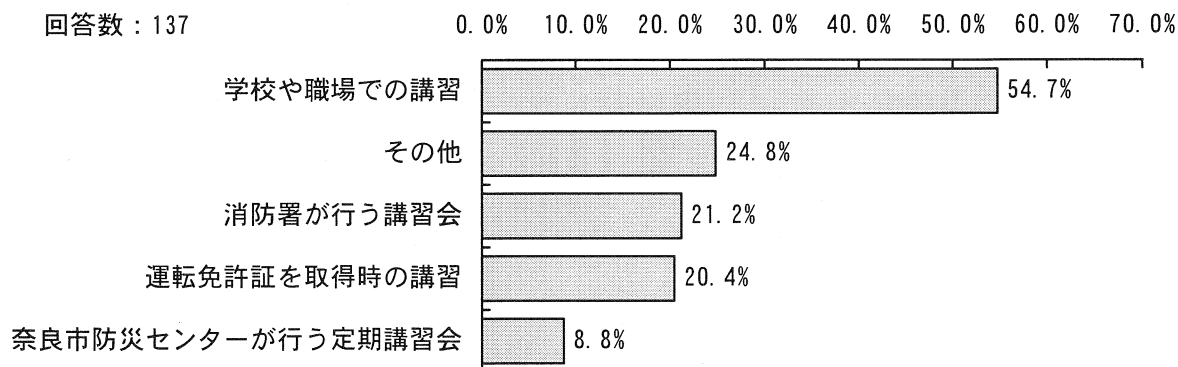


表 参加回数

	消防署が行う講習会への参加回数		奈良市防災センターが行う定期講習会への参加回数		学校や職場での講習への参加回数		その他への参加回数	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1回	14	48.3%	7	58.3%	26	34.7%	10	29.4%
2回	7	24.1%	2	16.7%	13	17.3%	2	5.9%
3回	2	6.9%	1	8.3%	14	18.7%	2	5.9%
4回	2	6.9%	1	8.3%	2	2.7%	0	0.0%
5回	1	3.4%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
6回	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	1	2.9%
10回	0	0.0%	0	0.0%	2	2.7%	0	0.0%
無回答	3	10.3%	1	8.3%	15	20.0%	19	55.9%
合計	29	100.0%	12	100.0%	75	100.0%	34	100.0%

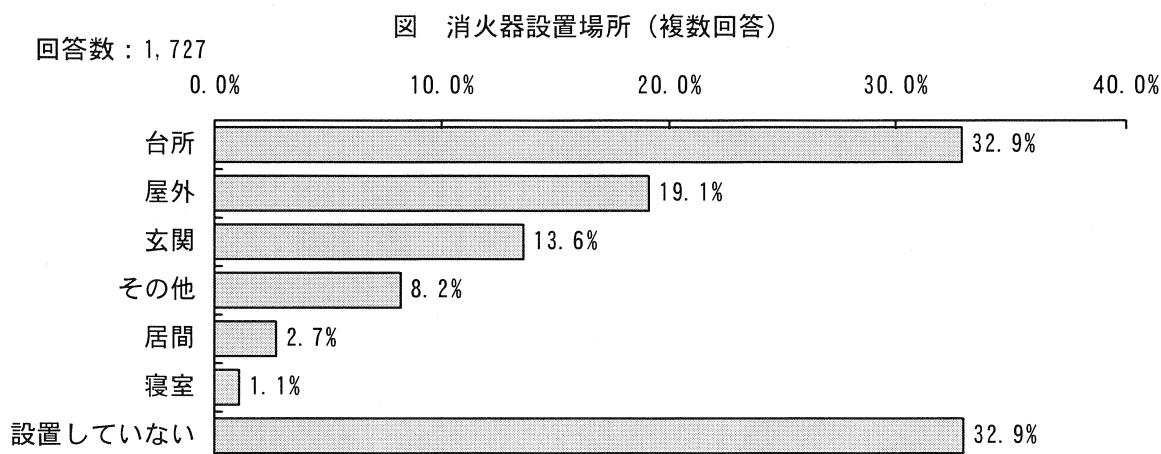
1-6 消火器について

1-6-1 消火器設置場所

問7 あなたのお宅では消火器をどこに設置していますか。【あてはまるものすべてに○】

消火器設置場所は、「設置していない」を除いて「台所」が32.9%で最も多く、次いで「屋外」(19.1%)、「玄関」(13.6%)となっている。

なお、「設置していない」は32.9%となっている。



家族構成別にみると、「設置していない」は「単身」(38.8%)で最も高く、次いで「二世帯世帯（本人と子ども）」(35.3%)となっている。設置場所としては「台所」が、「その他」を除く全ての家族構成で最も多く、なかでも「三世帯世帯」(44.3%)で最も高くなっている。

地域別にみると、「設置していない」は「北部地域」(40.0%)で最も高く、次いで「中部地域」(36.8%)となっている。

表 属性別 消火器設置場所（複数回答）

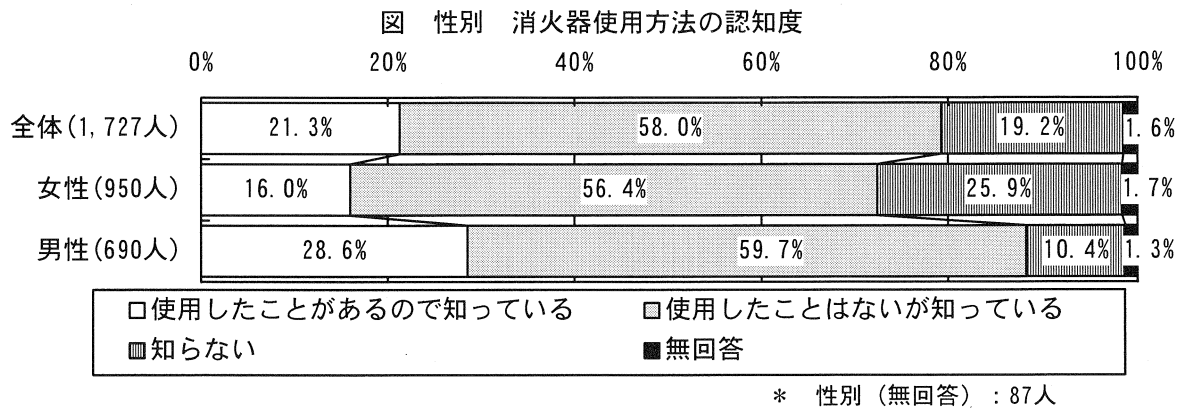
	有効回答数	台所	寝室	玄関	居間	屋外	その他	設置していない
全体	1,727	32.9%	1.1%	13.6%	2.7%	19.1%	8.2%	32.9%
家族構成								
単身	134	20.9%	1.5%	11.9%	0.0%	19.4%	8.2%	38.8%
夫婦のみ	430	32.6%	0.5%	13.0%	2.3%	20.0%	8.4%	34.4%
二世帯世帯（本人と子ども）	580	31.9%	0.7%	12.4%	3.3%	18.4%	7.2%	35.3%
二世帯世帯（本人と親）	249	34.1%	1.6%	15.7%	2.8%	19.7%	9.2%	27.7%
三世帯世帯	210	44.3%	1.4%	15.2%	2.9%	18.6%	9.0%	26.2%
その他	31	22.6%	6.5%	25.8%	9.7%	25.8%	3.2%	32.3%
地域								
西部地域	769	31.7%	0.9%	12.9%	2.5%	18.9%	7.8%	33.9%
北部地域	125	24.0%	0.8%	10.4%	3.2%	20.0%	9.6%	40.0%
中部地域	114	29.8%	0.9%	15.8%	2.6%	16.7%	7.9%	36.8%
中央市街地	414	31.6%	1.0%	15.7%	2.9%	21.7%	8.0%	33.8%
南部地域	122	41.0%	0.8%	14.8%	1.6%	20.5%	6.6%	27.0%
東部地域	26	80.8%	3.8%	11.5%	7.7%	19.2%	15.4%	3.8%
月ヶ瀬地域	9	66.7%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
都祁地域	31	38.7%	3.2%	6.5%	3.2%	3.2%	9.7%	25.8%

1-6-2 消火器使用方法の認知度

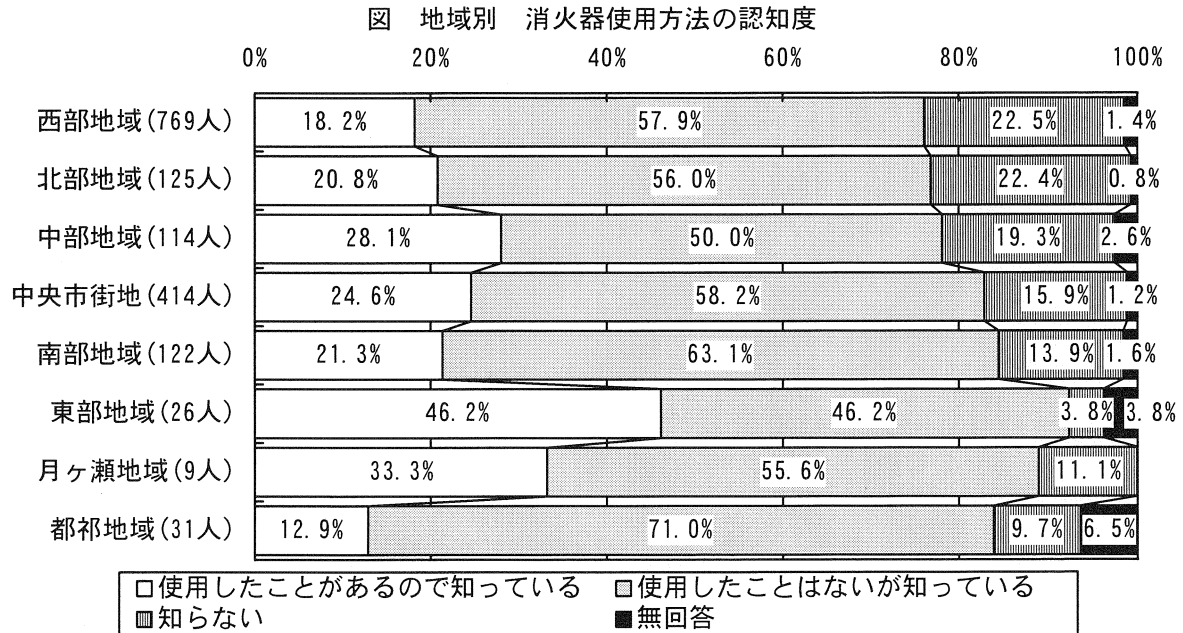
問8 消火器の使用操作方法を知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

消火器使用方法の認知度は、「使用したことはないが知っている」が58.0%で最も多く、次いで「使用したことがあるので知っている」(21.3%)となっている。「知らない」は19.2%となっている。

性別でみると、「使用したことはないが知っている」に大きな差はないが、「使用したことがあるので知っている」が男性では28.6%に対し女性は16.0%と使用経験が低くなっている。また、「知らない」が男性で10.4%に対し女性は25.9%にのぼり、使用方法の認知度が低くなっている。



地域別にみると、「西部地域」と「北部地域」で「知らない」が20%を超え、他地域より高い比率となっている。

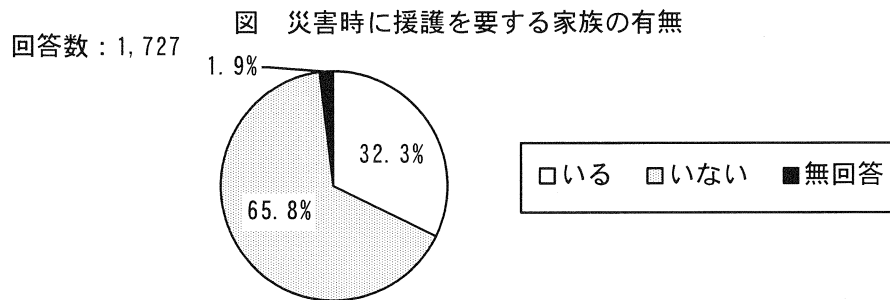


1-7 災害時に援護を要する家族について

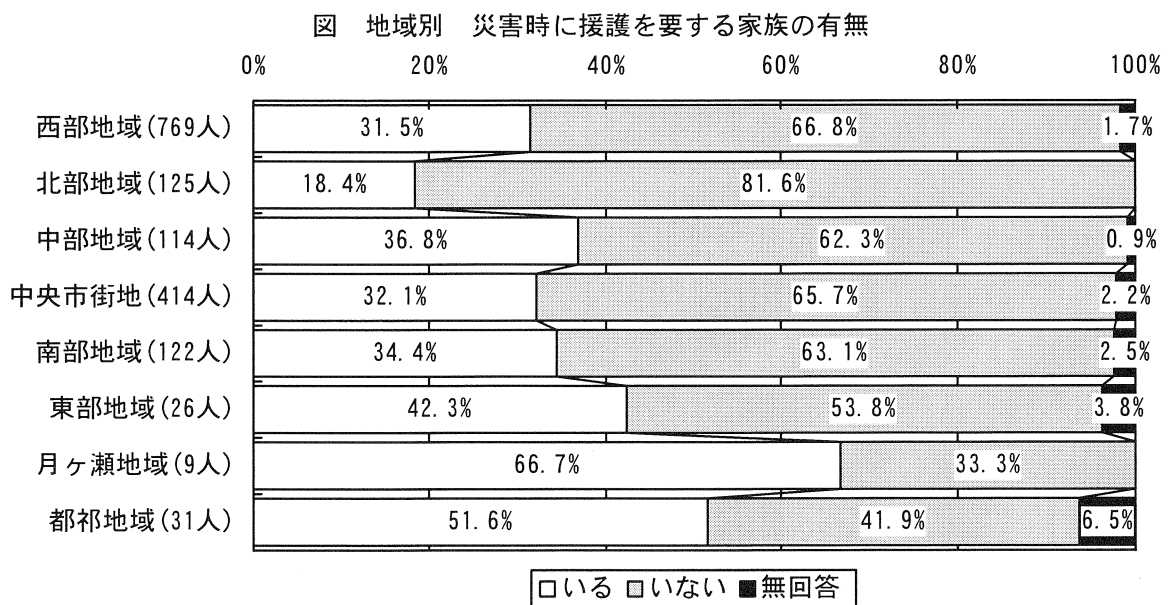
1-7-1 災害時に援護を要する家族の有無

問9 あなたのお宅には、災害時に高齢者（65歳以上）等の援護を要するご家族が同居されていますか。【あてはまるもの1つに○】

災害時に援護を要する家族の有無は、「いない」が65.8%で「いる」（32.3%）を33.5ポイント上回っている。



地域別にみると、「いる」は「月ヶ瀬地域」（66.7%）が最も高く、次いで「都祁地域」（51.6%）、「東部地域」（42.3%）となっている。

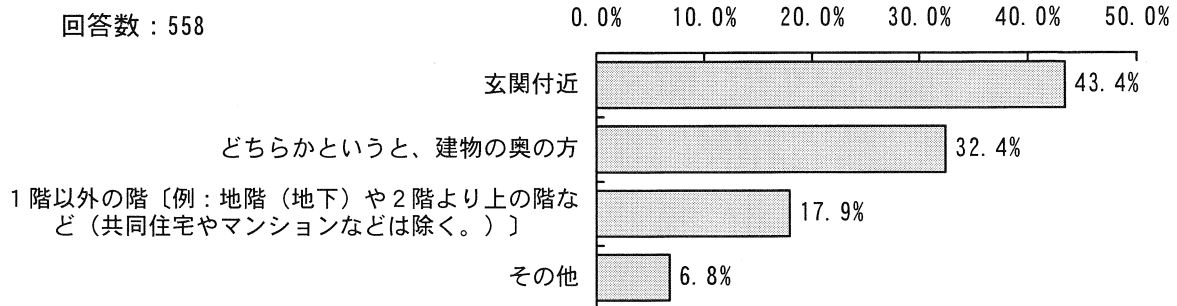


1-7-2 要援護者の寝室場所

問9-1 問9で「1. いる」と答えた方にお聞きします。その方の寝室は次のうちのどこにありますか。【あてはまるものすべてに○】

災害時に援護を要する家族が「いる」方内、要援護者の寝室場所は、「玄関付近」が43.4%で最も多く、次いで「どちらかという、建物の奥の方」(32.4%)となっている。

図 要援護者の寝室場所（複数回答）



家族構成別にみると、「玄関付近」は「二世帯世帯（本人と親）」(49.1%)が最も高く、次いで「二世帯世帯（本人と子ども）」(47.7%)となっており、「どちらかという、建物の奥の方」は「三世帯世帯」が38.5%で最も高くなっている。

地域別にみると、「玄関付近」は「北部地域」が52.2%で最も高く、次いで「中部地域」と「都祁地域」（各50.0%）で高くなっており、「どちらかという、建物の奥の方」は、「東部地域」が63.6%で最も高く、次いで「南部地域」(42.9%)となっている。

表 属性別 要援護者の寝室場所（複数回答）

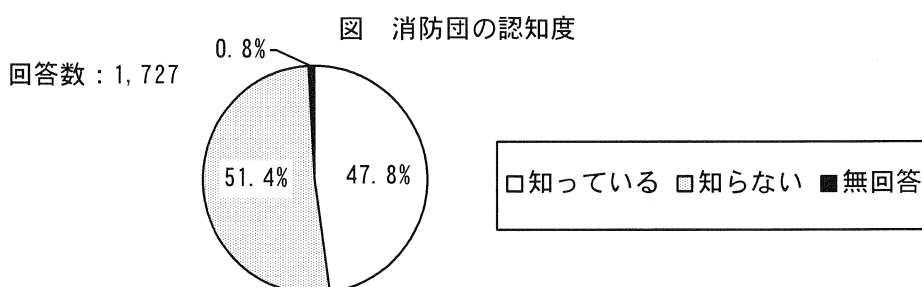
		有効 回答 数	玄 関 付 近	ど ち ら か と い う と、 建	く や 上 階 1 （ マン ン シ ヨ ン な ど は 除 ）	階 （ 地 下 ） や 2 階 よ り 地	そ の 他
全体		558	43.4%	32.4%		17.9%	6.8%
家 族 構 成	単身	30	36.7%	23.3%		13.3%	6.7%
	夫婦のみ	115	41.7%	27.0%		30.4%	7.8%
	二世帯世帯 （本人と子ども）	88	47.7%	29.5%		18.2%	5.7%
	二世帯世帯 （本人と親）	116	49.1%	31.9%		17.2%	4.3%
	三世帯世帯	161	44.1%	38.5%		11.2%	6.2%
	その他	16	25.0%	37.5%		0.0%	31.3%
	地 域	西部地域	242	42.6%	28.5%		19.4%
北部地域		23	52.2%	26.1%		17.4%	8.7%
中部地域		42	50.0%	28.6%		16.7%	4.8%
中央市街地		133	46.6%	35.3%		15.8%	5.3%
南部地域		42	35.7%	42.9%		16.7%	4.8%
東部地域		11	9.1%	63.6%		9.1%	18.2%
月ヶ瀬地域		6	33.3%	33.3%		16.7%	16.7%
都祁地域		16	50.0%	31.3%		18.8%	0.0%

1-8 消防団について

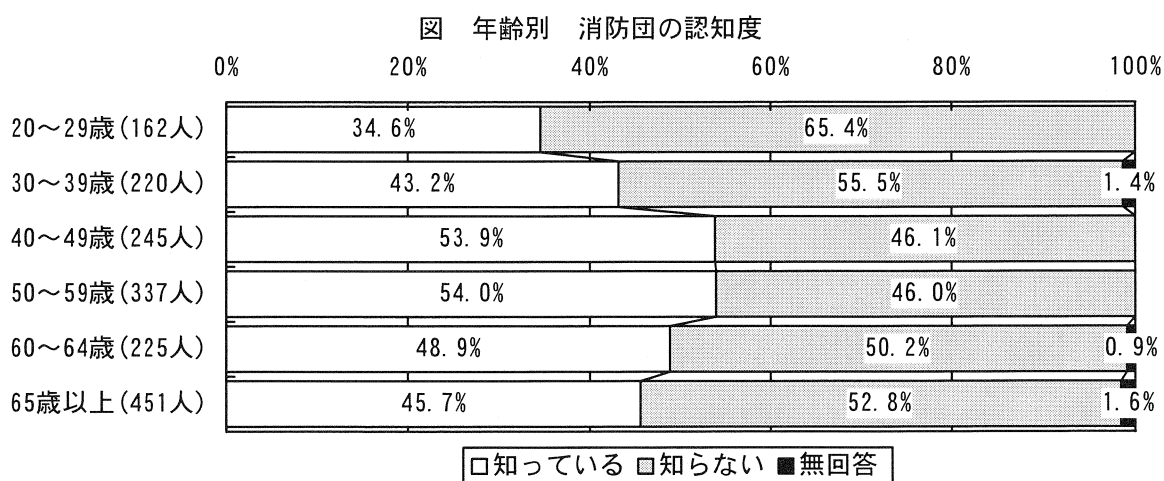
1-8-1 消防団の認知度

問 10 奈良市には、消防機関として常勤の職員による消防署のほか、住民有志による消防団がありますが、知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

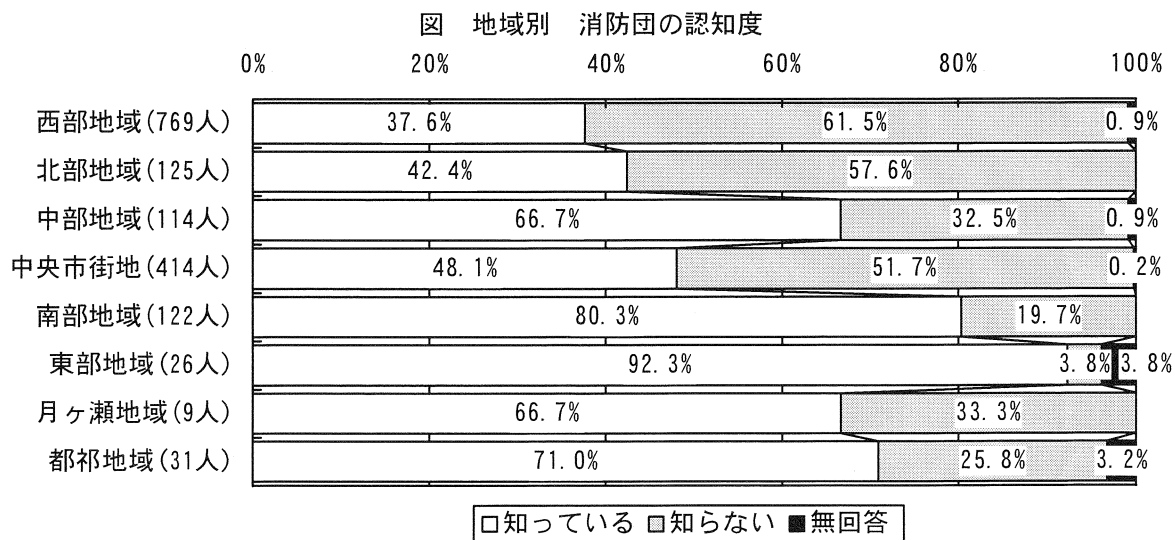
消防団の認知度は、「知らない」が51.4%で「知っている」(47.8%)を3.6ポイント上回っている。



年齢別にみると、「40～49歳」と「50～59歳」で「知っている」が過半数を超えているが、他の年齢ではいずれも「知らない」が「知っている」を上回っている。



地域別にみると、「知らない」は「西部地域」が61.5%で最も高く、次いで「北部地域」(57.6%)、「中央市街地」(51.7%)となっている。



1-8-2 消防団への入団意志

問 11 あなたは、もし、消防団に入ってほしいと言われたらどうしますか。【あてはまるもの1つに○】

消防団への入団意志は、「入らない」が76.5%で最も多く、「入る」(14.0%)を62.5ポイント上回っている。「すでに入っている」と「入っていたことはあるが入らない」はともに2%台で、ごく少数になっている。

年齢別にみると、「入らない」は「30～39歳」が81.4%で最も高く、次いで「65歳以上」(80.5%)となっている。「入る」は「20～29歳」が21.0%で最も高くなっている。「すでに入っている」は、「50～59歳」が4.5%で最も高くなっている。

回答数：
1,727

図 消防団への入団意志

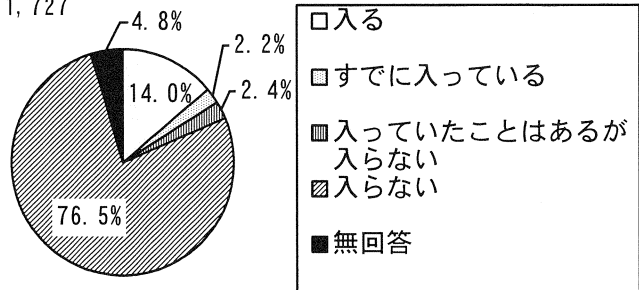
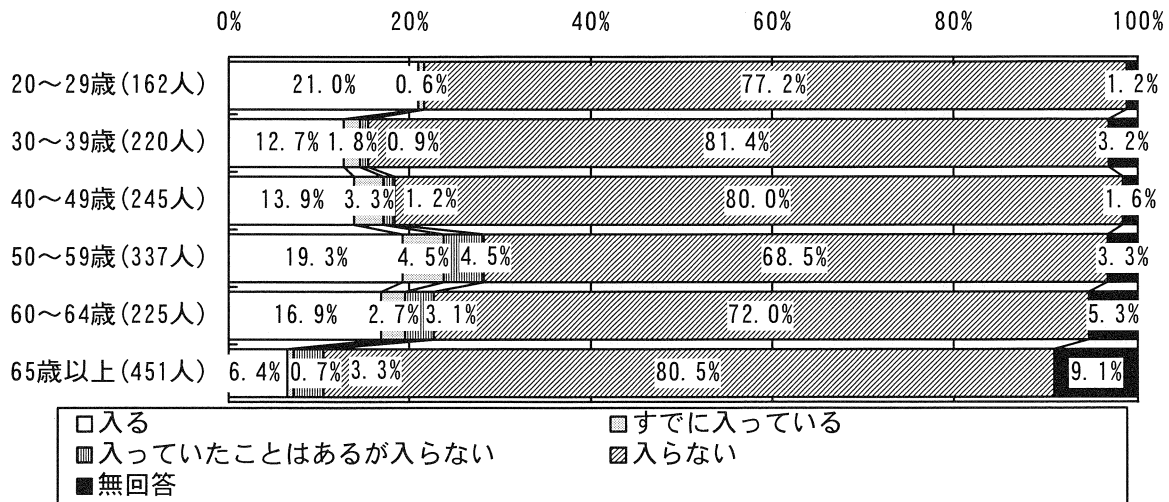
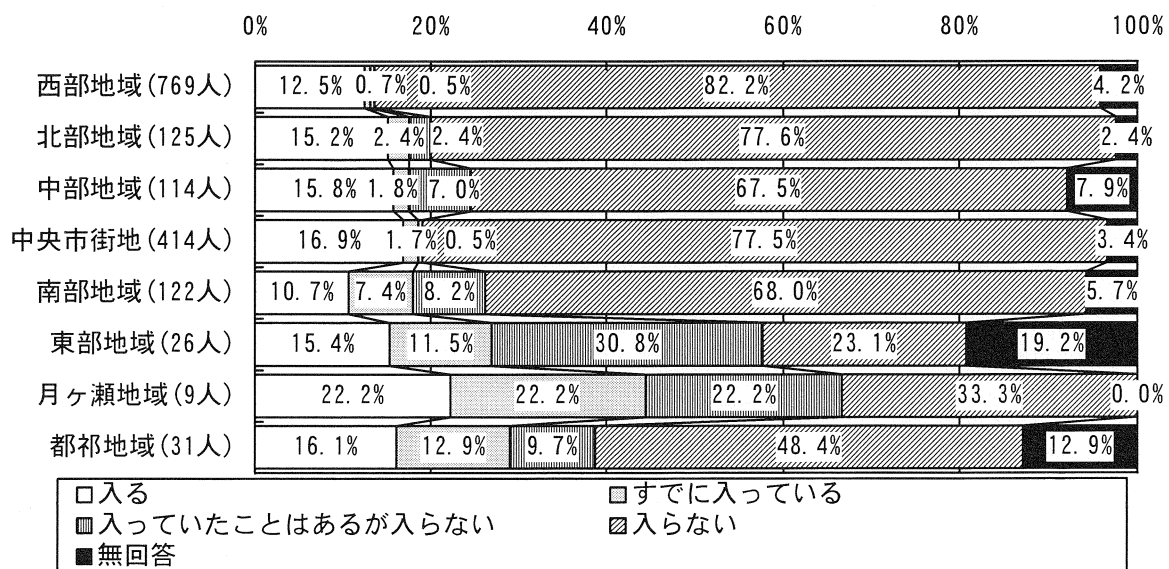


図 年齢別 消防団への入団意志



地域別にみると、「入らない」は「西部地域」が82.2%で最も高く、次いで「北部地域」(77.6%)となっている。

図 地域別 消防団への入団意志

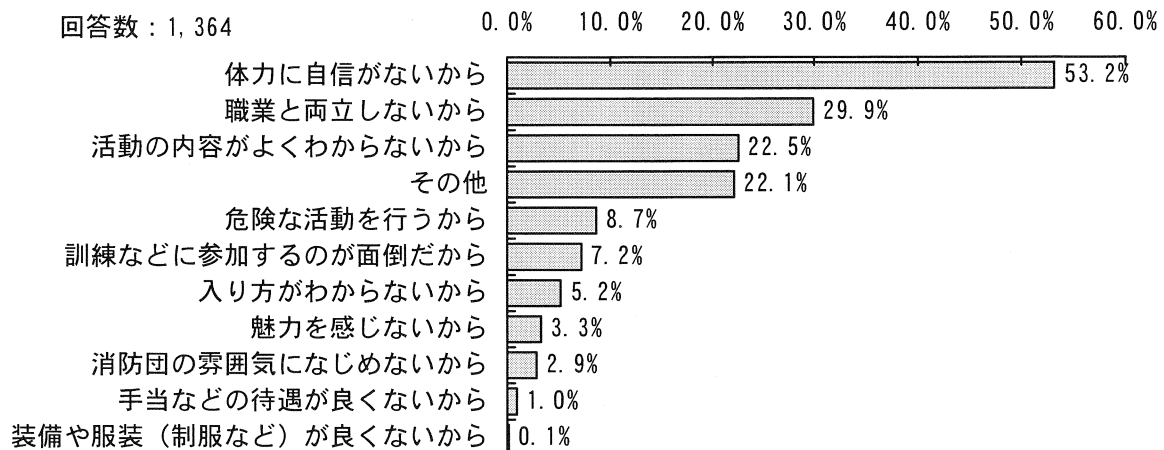


1-8-3 消防団に入らない理由

問 11-1 問 11 で「3. 入っていたことはあるが入らない」または「4. 入らない」と答えた方にお聞きします。あなたが消防団に入らない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

消防団に「入っていたことはあるが入らない」または「入らない」と答えた方の内、消防団に入らない理由は「体力に自信がないから」が53.2%で最も多く、次いで「職業と両立しないから」(29.9%)、「活動の内容がよくわからないから」(22.5%)となっている。

図 消防団に入らない理由（複数回答）



年齢別にみると、「体力に自信がないから」は「60～64 歳」(71.6%) が最も高く、「職業と両立しないから」は「40～49 歳」が50.3%で最も高く、次いで「30～39 歳」(49.7%) となっている。「活動の内容がよくわからないから」は、「20～29 歳」(42.4%) で最も高くなっている。

地域別にみると、「体力に自信がないから」と「職業と両立しないから」はともに「月ヶ瀬地域」(60.0%、40.0%) で最も高く、「活動の内容がよくわからないから」は「北部地域」(30.0%) で最も高くなっている。

表 属性別 消防団に入らない理由（複数回答）

	有効回答数	活動の内容がよくわからないから	危険な活動を行うから	体力に自信がないから	職業と両立しないから	訓練などに参加するのが面倒だから	消防団の雰囲気になじめないから	入り方がわからないから	手当などの待遇が良くないから	装備や服装（制服など）が良くないから	魅力を感じないから	その他
全体	1,364	22.5%	8.7%	53.2%	29.9%	7.2%	2.9%	5.2%	1.0%	0.1%	3.3%	22.1%
年齢												
20～29歳	125	42.4%	12.8%	38.4%	47.2%	15.2%	1.6%	17.6%	2.4%	0.8%	9.6%	5.6%
30～39歳	181	31.5%	11.6%	38.7%	49.7%	8.8%	5.0%	6.1%	2.2%	0.0%	6.6%	17.7%
40～49歳	199	28.6%	12.1%	42.7%	50.3%	9.5%	4.0%	8.0%	1.0%	0.0%	5.0%	14.6%
50～59歳	246	26.0%	8.5%	59.3%	36.2%	9.8%	3.7%	3.7%	1.2%	0.0%	1.6%	14.2%
60～64歳	169	18.3%	5.9%	71.6%	17.2%	3.6%	3.0%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	16.0%
65歳以上	378	8.5%	5.6%	57.7%	4.5%	1.3%	1.3%	1.6%	0.3%	0.3%	0.8%	42.3%
地域												
西部地域	636	24.1%	8.0%	55.3%	28.5%	6.8%	1.9%	5.7%	1.3%	0.3%	3.0%	22.8%
北部地域	100	30.0%	12.0%	58.0%	29.0%	6.0%	5.0%	9.0%	2.0%	0.0%	4.0%	12.0%
中部地域	85	12.9%	9.4%	56.5%	28.2%	3.5%	5.9%	2.4%	1.2%	0.0%	3.5%	23.5%
中央市街地	323	22.3%	9.9%	45.8%	31.9%	8.0%	3.4%	5.0%	0.6%	0.0%	5.0%	24.5%
南部地域	93	19.4%	7.5%	54.8%	33.3%	6.5%	2.2%	3.2%	0.0%	0.0%	3.2%	20.4%
東部地域	14	0.0%	0.0%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
月ヶ瀬地域	5	20.0%	0.0%	60.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
都祁地域	18	27.8%	0.0%	44.4%	33.3%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%

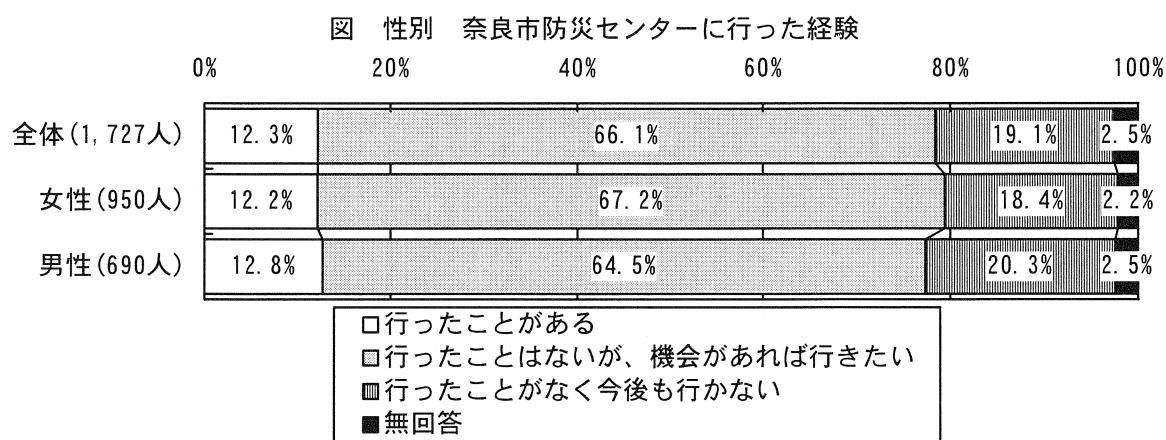
1-9 奈良市防災センターについて

1-9-1 奈良市防災センターに行った経験

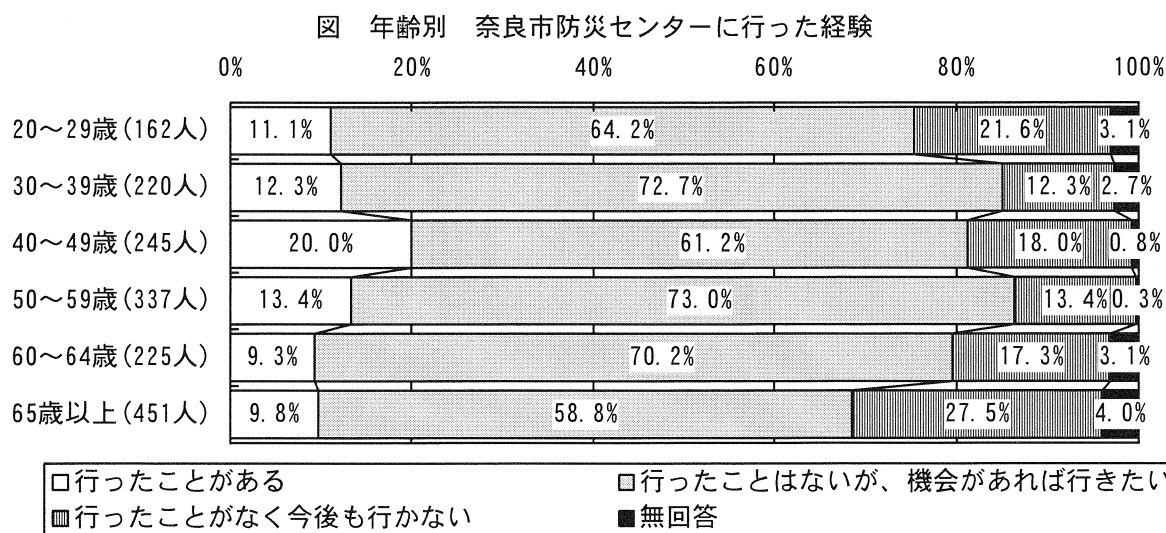
問 12 奈良市防災センターは、防災に関する正しい知識と確かな技術を体験しながら学習していただけるよう、地震や台風、火災などの体験施設の設置や様々な事業を実施しています。防災教育の充実を図るためにお聞きします。あなたは、奈良市防災センターに行ったことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

奈良市防災センターに行った経験は、「行ったことはないが、機会があれば行きたい」が66.1%で最も多く、次いで「行ったことがなく、今後行かない」(19.1%)、「行ったことがある」(12.3%)となっている。

性別でみると、「行ったことはないが、機会があれば行きたい」は「女性」が67.2%で「男性」(64.5%)を2.7ポイント上回っている。



年齢別にみると、「行ったことはないが、機会があれば行きたい」は「50～59歳」が73.0%で最も高く、次いで「30～39歳」(72.7%)となっている。



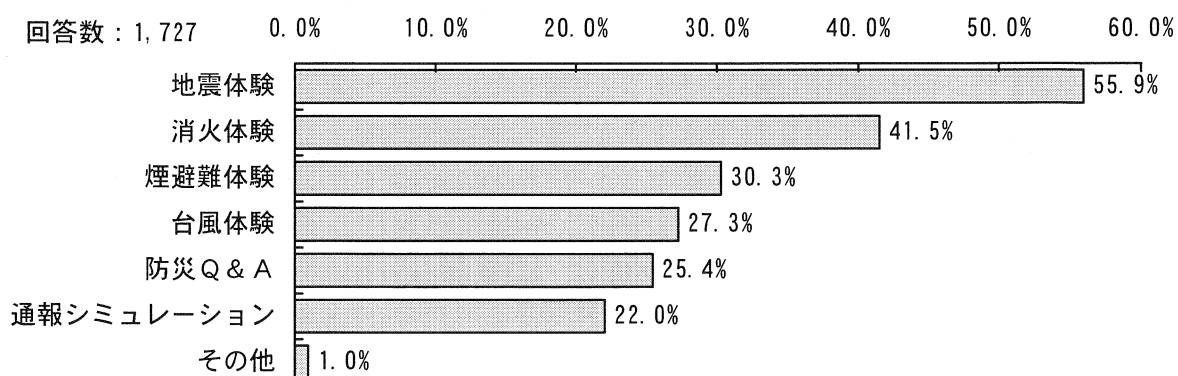
1-9-2 奈良市防災センターで興味のある体験施設・事業（行事）

問 13 奈良市防災センターの体験施設や事業（行事）のうち、あなたの興味がある項目はそれぞれどれですか。【あてはまるものすべてに○】

（1） 興味のある体験施設

奈良市防災センターで興味のある体験施設については、「地震体験」が 55.9%で最も多く、次いで「消火体験」（41.5%）、「煙避難体験」（30.3%）、「台風体験」（27.3%）となっている。

図 興味のある体験施設（複数回答）



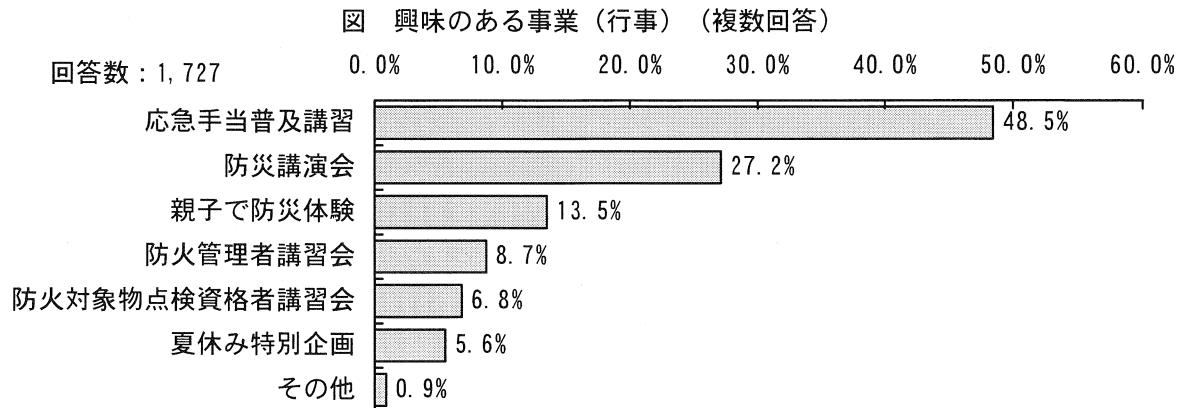
年齢別に回答の多い順をみると、いずれの世代でも「地震体験」が最も多く、次いで「消火体験」であるが、第3位は、「20～29歳」と「30～39歳」で「台風体験」、「40～49歳」と「50～59歳」で「煙避難体験」となり、「60～64歳」では「煙避難体験」と「防災Q & A」が並び、「65歳以上」になると「防災Q & A」となっている。

表 年齢別 興味のある体験施設（複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	地震体験 79.6%	消火体験 50.6%	台風体験 50.0%	煙避難体験 35.8%	通報シミュレーション 24.1%
30～39歳	220	地震体験 69.1%	消火体験 53.2%	台風体験 43.6%	煙避難体験 39.1%	防災Q & A 25.0%
40～49歳	245	地震体験 63.3%	消火体験 50.2%	煙避難体験 42.0%	台風体験 34.7%	防災Q & A 26.1%
50～59歳	337	地震体験 52.2%	消火体験 44.8%	煙避難体験 35.6%	防災Q & A 29.1%	通報シミュレーション 26.4%
60～64歳	225	地震体験 52.9%	消火体験 36.4%	防災Q & A 28.4%	煙避難体験 28.4%	通報シミュレーション 25.8%
65歳以上	451	地震体験 42.1%	消火体験 29.5%	防災Q & A 23.3%	台風体験 18.6%	煙避難体験 15.5%

(2) 興味のある事業（行事）

奈良市防災センターで興味のある事業（行事）は、「応急手当普及講習」が48.5%で最も多く、次いで「防災講演会」（27.2%）、「親子で防災体験」（13.5%）となっている。



年齢別に回答の多い順をみると、いずれの世代でも「応急手当普及講習」が最も多いが、第2位は「30～39歳」と「40～49歳」では「親子で防災体験」、他の世代では「防災講演会」となっている。第3位は、「20～29歳」で「防火対象物点検資格者講習会」、「30～39歳」で「夏休み特別企画」、「40～49歳」で「防火管理者講習会」となっており、50歳以上はいずれも「防火管理者講習会」となっている。

表 年齢別 興味のある事業（行事）（複数回答）

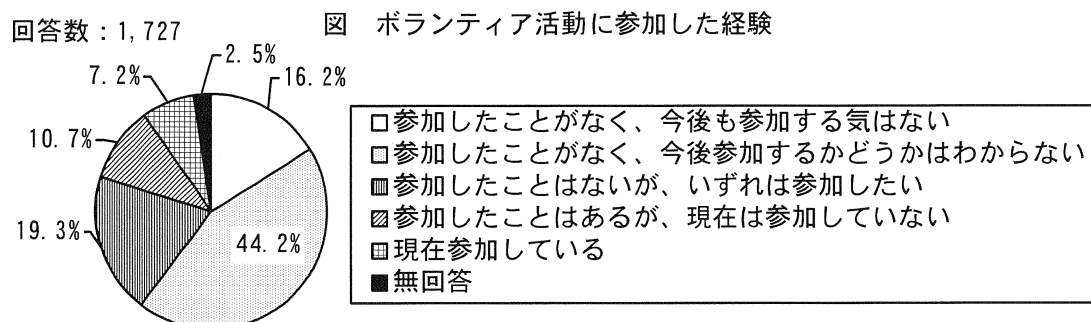
	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	応急手当普及講習 51.9%	防災講演会 13.0%	防火対象物点検資格者講習会 12.3%	親子で防災体験 10.5%	防火管理者講習会 10.5%
30～39歳	220	応急手当普及講習 57.7%	親子で防災体験 38.2%	夏休み特別企画 18.2%	防災講演会 13.6%	防火管理者講習会 8.6%
40～49歳	245	応急手当普及講習 54.3%	親子で防災体験 24.9%	防災講演会 22.0%	防火管理者講習会 8.6%	夏休み特別企画 8.2%
50～59歳	337	応急手当普及講習 58.5%	防災講演会 33.5%	防火管理者講習会 11.3%	防火対象物点検資格者講習会 10.1%	親子で防災体験 7.7%
60～64歳	225	応急手当普及講習 45.8%	防災講演会 39.6%	防火管理者講習会 10.7%	防火対象物点検資格者講習会 6.2%	親子で防災体験 4.4%
65歳以上	451	応急手当普及講習 33.3%	防災講演会 32.8%	防火管理者講習会 6.7%	親子で防災体験 4.9%	防火対象物点検資格者講習会 2.2%

2. ボランティア活動について

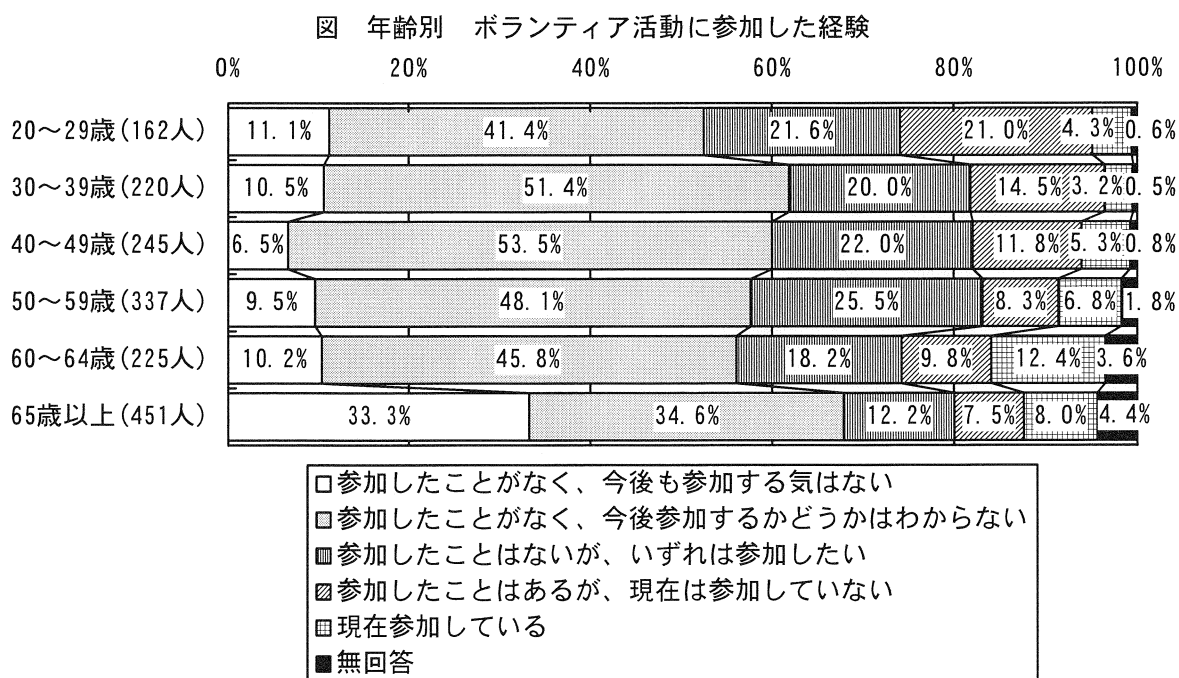
2-1 ボランティア活動に参加した経験

問 14 ボランティア活動についてお聞きします。あなたはボランティア活動に参加したことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

ボランティア活動に参加した経験は、「参加したことがなく、今後参加するかどうかはわからない」が44.2%で最も多く、次いで「参加したことはないが、いずれは参加したい」(19.3%)、「参加したことがなく、今後も参加する気はない」(16.2%)となっている。



年齢別にみると、「参加したことがなく、今後参加するかどうかはわからない」は「40～49歳」が53.5%で最も高く、「参加したことはないが、いずれは参加したい」は「50～59歳」が25.5%で最も高くなっている。「現在参加している」は、「60～64歳」が12.4%で最も高くなっている。

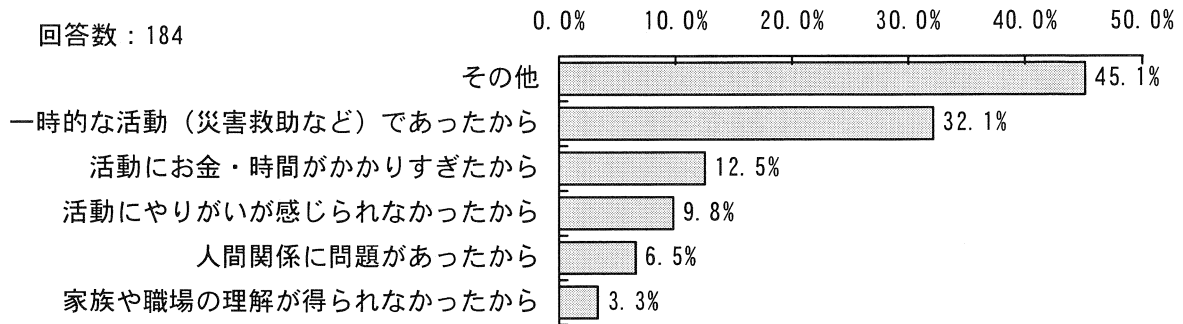


2-2 現在参加していない理由

問 14-1 問 14で「4. 参加したことはあるが、現在は参加していない」と答えた方にお聞
きします。現在参加していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

ボランティア活動に「参加したことはあるが、現在は参加していない」方の内、現在参加して
いない理由は「その他」が45.1%で最も多く、次いで「一時的な活動（災害救助など）であった
から」（32.1%）、「活動にお金と時間がかかりすぎたから」（12.5%）となっている。「その他」に
は、「高齢だから」（17人）、「仕事と両立しないから」（15人）、「病気等身体上の問題があるた
め」（13人）等がある。

図 現在参加していない理由（複数回答）



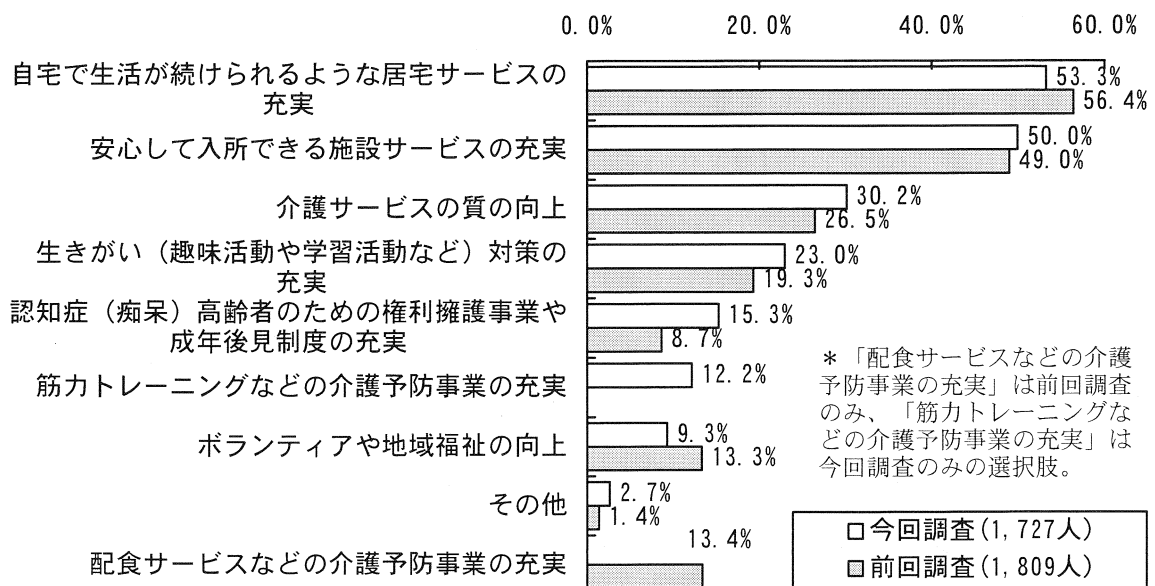
3. 介護保険について

3-1 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策

問 15 次期計画に盛り込むべき本市の介護保険や老人保健福祉施策について何が重要と思
いますか。【あてはまるもの2つに○】

重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策は、「自宅で生活が続けられるような居宅サービ
スの充実」が53.3%で最も多く、次いで「安心して入所できる施設サービスの充実」（50.0%）、
「介護サービスの質の向上」（30.2%）となっている。

図 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）



平成14年度の「奈良市政についての世論調査」^①と比較すると、回答の多い順に上位4位までは「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」と「安心して入所できる施設サービスの充実」と「介護サービスの質の向上」と「生きがい対策の充実」で同じであるが、上位5位は、前回調査では「配食サービスなどの介護予防事業の充実」で、今回の調査では介護予防面で「筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実」が選択肢にあったものの、「認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実」となっている。さらに、今回調査の上位4位までをみると「安心して入所できる施設サービスの充実」（1.0ポイント増）と「介護サービスの質の向上」（3.7ポイント増）と「生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実」（3.7ポイント増）で前回調査よりもポイントが増加している。

年齢別に回答の多い順にみると、「20～29歳」と「40～49歳」では「安心して入所できる施設サービスの充実」が最も多く、次いで「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」となっているが、他の世代では逆転している。「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」は「65歳以上」が59.2%で最も高くなっており、「安心して入所できる施設サービスの充実」は「40～49歳」が57.6%で最も高くなってきている。

表 年齢別 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	安心して入所できる施設サービスの充実 43.8%	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 42.0%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 38.3%	介護サービスの質の向上 29.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 16.7%
30～39歳	220	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 47.7%	安心して入所できる施設サービスの充実 45.9%	介護サービスの質の向上 35.0%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 25.9%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.0%
40～49歳	245	安心して入所できる施設サービスの充実 57.6%	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 53.1%	介護サービスの質の向上 31.8%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 19.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 17.6%
50～59歳	337	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 55.5%	安心して入所できる施設サービスの充実 54.9%	介護サービスの質の向上 30.0%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 20.2%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.1%
60～64歳	225	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 52.4%	安心して入所できる施設サービスの充実 50.7%	介護サービスの質の向上 27.1%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 27.1%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.6%
65歳以上	451	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 59.2%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.8%	介護サービスの質の向上 28.8%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 17.3%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 14.0%

① 以降は「前回調査」と表記する。

地域別に回答の多い順にみると、「南部地域」を除く全ての地域で「自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実」が最も多く、次いで「安心して入所できる施設サービスの充実」となっているが、「南部地域」はその逆となっている。また、介護予防で国が注目している「筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実」は、「都祁地域」が16.1%で最も高く、次いで「北部地域」(13.6%)、「西部地域」(13.0%)となっている。

表 地域別 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 53.2%	安心して入所できる施設サービスの充実 52.1%	介護サービスの質の向上 29.1%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 19.8%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 16.8%
北部地域	125	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 52.8%	安心して入所できる施設サービスの充実 48.8%	介護サービスの質の向上 31.2%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 25.6%	筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実 13.6%
中部地域	114	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 61.4%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.5%	介護サービスの質の向上 28.9%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 24.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 13.2%
中央市街地	414	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 54.6%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.9%	介護サービスの質の向上 33.1%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 26.6%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 14.3%
南部地域	122	安心して入所できる施設サービスの充実 53.3%	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 48.4%	介護サービスの質の向上 28.7%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 19.7%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 13.9%
東部地域	26	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 50.0%	安心して入所できる施設サービスの充実 46.2%	介護サービスの質の向上 30.8%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 30.8%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 15.4%
月ヶ瀬地域	9	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 55.6%	安心して入所できる施設サービスの充実 44.4%	介護サービスの質の向上 44.4%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 44.4%	認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実 11.1%
都祁地域	31	自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実 58.1%	安心して入所できる施設サービスの充実 51.6%	生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実 29.0%	ボランティアや地域福祉の向上 19.4%	介護サービスの質の向上 16.1%

表 地域別 重要と思う介護保険事業や老人保健福祉施策（2つ以内で複数回答）

地域	合計	のる自 充よ宅 実うで な生 居活 宅が サ続 ーけ ビ ラ スれ	設安 サ心 ーし ビて ス入 の所 充で 実可 る施	上介 護サ ービ スの 質の 向	社ボ のラン 向上 ティ アや 地 域 福	の筋 介力 護ト 予レ 防ニ 事業 のグ 充実 など	充学 実習 生 活 が い な （趣 味 対 活 策 動 の や	やの認 成た知 年め症 後の（痴 見権呆） 制利擁 度擁 の護 充事 実業 者	そ の 他
全体	1,727	53.3%	50.0%	30.2%	9.3%	12.2%	23.0%	15.3%	2.7%
西部地域	769	53.2%	52.1%	29.1%	9.9%	13.0%	19.8%	16.8%	3.4%
北部地域	125	52.8%	48.8%	31.2%	10.4%	13.6%	25.6%	13.6%	3.2%
中部地域	114	61.4%	46.5%	28.9%	5.3%	11.4%	24.6%	13.2%	2.6%
中央市街地	414	54.6%	46.9%	33.1%	8.9%	9.9%	26.6%	14.3%	1.2%
南部地域	122	48.4%	53.3%	28.7%	9.0%	11.5%	19.7%	13.9%	4.1%
東部地域	26	50.0%	46.2%	30.8%	7.7%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%
月ヶ瀬地域	9	55.6%	44.4%	44.4%	0.0%	0.0%	44.4%	11.1%	0.0%
都祁地域	31	58.1%	51.6%	16.1%	19.4%	16.1%	29.0%	12.9%	3.2%

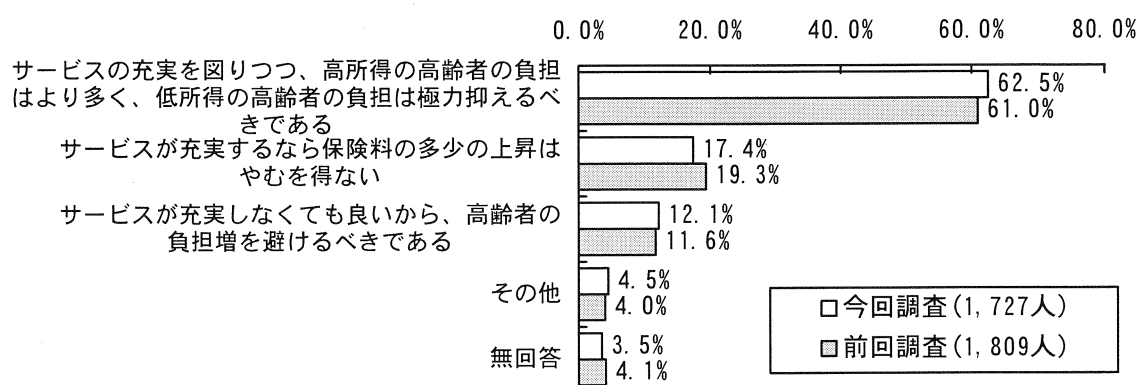
3-2 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え

問 16 次期計画期間中の 65 歳以上の方の介護保険料について、どれが妥当だと思いますか。
【あてはまるもの 1 つに○】

65 歳以上の介護保険料とサービスに対する考えは、「サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである」が 62.5%で最も多く、「サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない」(17.4%)、「サービスが充実しなくてもよいから、高齢者の負担増を避けるべきである」(12.1%)を大きく上回っている。

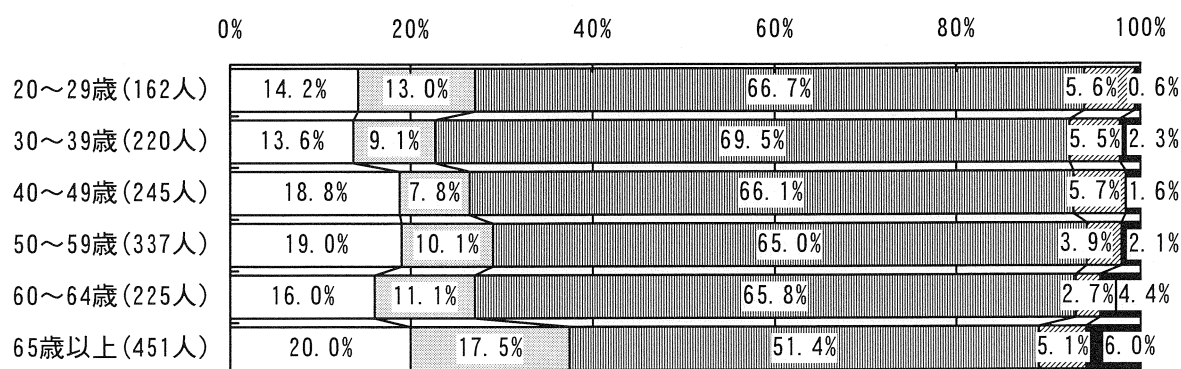
前回調査と今回調査の傾向は同様であるが、「サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである」は前回調査(61.0%)を 1.5 ポイント上回り、「サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない」は前回調査(19.3%)を 1.9 ポイント下回っている。

図 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え



年齢別にみると、「サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである」は「30～39 歳」が 69.5%で最も高く、次いで「20～29 歳」(66.7%)となっており、「サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない」は「65 歳以上」が 20.0%で最も高く、次いで「50～59 歳」(19.0%)、「40～49 歳」(18.8%)となっている。

図 年齢別 65歳以上の介護保険料とサービスに対する考え



- ☐ サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない
- ☐ サービスが充実しなくてもよいから、高齢者の負担増を避けるべきである
- ☒ サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである
- ☒ その他
- ☒ 無回答

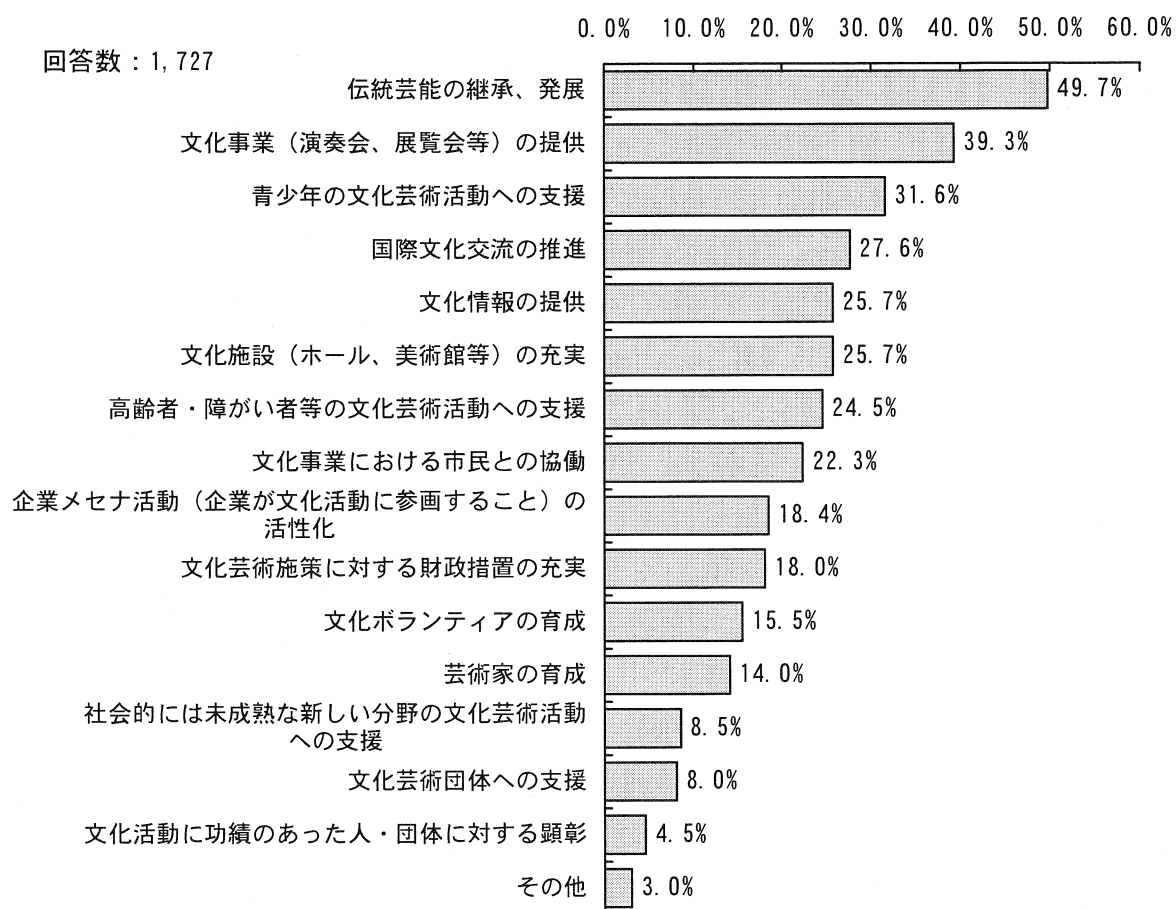
4. 文化振興について

4-1 文化振興のため充実させるべき施策

問 17 あなたは奈良市の文化振興のためには、どのような施策を充実させるべきだと思いますか。【あてはまるもの5つ以内で○】

文化振興のため充実させるべき施策は、「伝統芸能の継承、発展」が 49.7%と最も多く、次いで「文化事業（演奏会、展覧会等）の提供」（39.3%）、「青少年の文化芸術活動への支援」（31.6%）となっている。

図 文化振興のため充実させるべき施策（5つ以内で複数回答）



年齢別に回答の多い順をみると、いずれの世代でも「伝統芸能の継承、発展」が最も多く、なかでも「30～39歳」（57.7%）が最も高い。第2位は「20～29歳」でのみ「国際文化交流の推進」（37.7%）となっており、他の世代では「文化事業（演奏会、展覧会等）の提供」となっている。また、第3位は「20～29歳」で「文化事業（演奏会、展覧会等）の提供」、30～59歳までは「青少年の文化芸術活動への支援」、「60～64歳」では「文化情報の提供」、「65歳以上」は「高齢者・障がい者等の文化芸術活動の支援」となっている。

地域別に回答の多い順をみると、「都祁地域」を除く全ての地域で「伝統芸能の継承、発展」が最も多く、「都祁地域」では「青少年の文化芸術活動への支援」（45.2%）が最も多くなっている。「伝統芸能の継承、発展」では、「北部地域」が54.4%で最も高く、次いで「南部地域」（51.6%）となっている。

表 年齢別 文化振興のため充実させるべき施策（５つ以内で複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
20～29歳	162	伝統芸能の継承、発展	国際文化交流の推進	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	文化施設（ホール、美術館等）の充実
		45.7%	37.7%	34.6%	32.7%	27.2%
30～39歳	220	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	国際文化交流の推進	文化情報の提供
		57.7%	36.8%	33.6%	30.9%	25.5%
40～49歳	245	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	国際文化交流の推進	文化施設（ホール、美術館等）の充実
		56.7%	40.4%	36.7%	33.5%	27.8%
50～59歳	337	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	文化情報の提供	文化事業における市民との協働
		51.0%	44.8%	34.4%	30.6%	28.5%
60～64歳	225	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	文化情報の提供	青少年の文化芸術活動への支援	高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援
		48.9%	43.1%	32.0%	29.3%	28.4%
65歳以上	451	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援	文化施設（ホール、美術館等）の充実	青少年の文化芸術活動への支援
		42.8%	36.1%	31.0%	27.1%	25.3%

表 地域別 文化振興のため充実させるべき施策（５つ以内で複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第１位	第２位	第３位	第４位	第５位
西部地域	769	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	国際文化交流の推進	文化情報の提供
		50.3%	41.4%	31.2%	30.3%	27.2%
北部地域	125	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	国際文化交流の推進	青少年の文化芸術活動への支援	高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援
		54.4%	44.8%	32.8%	31.2%	25.6%
中部地域	114	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	文化情報の提供	高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援
		46.5%	36.8%	36.8%	27.2%	24.6%
中央市街地	414	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	青少年の文化芸術活動への支援	文化施設（ホール、美術館等）の充実	国際文化交流の推進
		49.0%	40.1%	31.6%	28.7%	27.3%
南部地域	122	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	文化事業における市民との協働	文化施設（ホール、美術館等）の充実	高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援
		51.6%	33.6%	32.8%	29.5%	27.9%
東部地域	26	伝統芸能の継承、発展	文化事業における市民との協働	国際文化交流の推進	文化芸術施策に対する財政措置の充実	青少年の文化芸術活動への支援
		50.0%	34.6%	26.9%	23.1%	23.1%
月ヶ瀬地域	9	伝統芸能の継承、発展	青少年の文化芸術活動への支援	国際文化交流の推進	文化芸術団体への支援	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供
		44.4%	44.4%	33.3%	33.3%	22.2%
都祁地域	31	青少年の文化芸術活動への支援	伝統芸能の継承、発展	文化事業（演奏会、展覧会等）の提供	高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援	文化事業における市民との協働
		45.2%	41.9%	32.3%	32.3%	29.0%

4-2 文化芸術活動状況

問 18 あなたは現在、何らかの文化芸術活動をされていますか。【あてはまるもの1つに○】

文化芸術活動状況は、「現在はいしていないが、したいと思っている」が47.8%で最も多く、続く「したいと思わない」(36.5%)を11.3ポイント上回っている。「している」は、8.1%となっている。

年齢別にみると、「現在はいしていないが、したいと思っている」は、「20～29歳」(57.4%)が最も高く、次いで「40～49歳」(54.3%)となっている。

回答数： 図 文化芸術活動状況

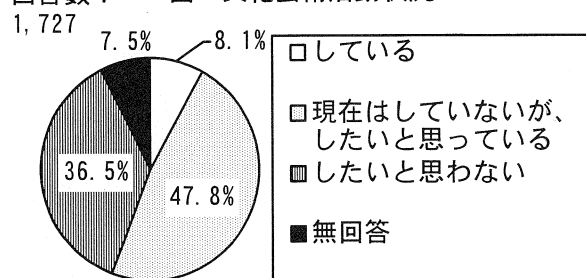
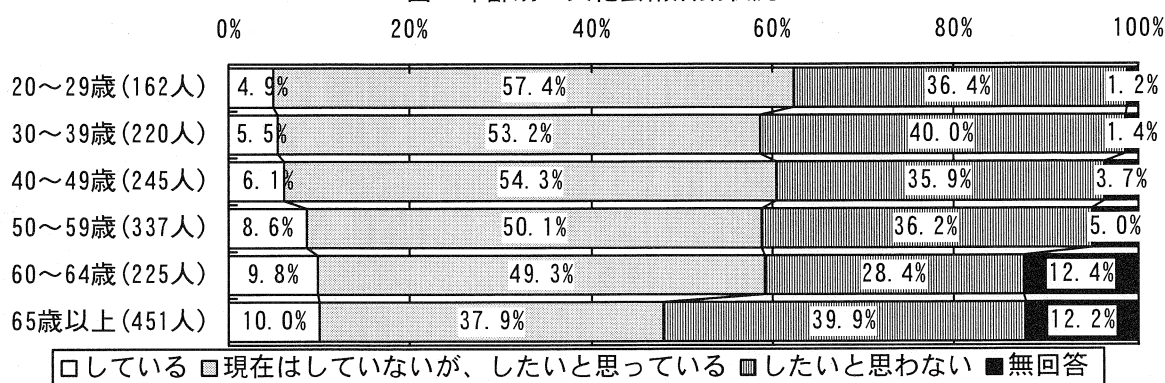


図 年齢別 文化芸術活動状況

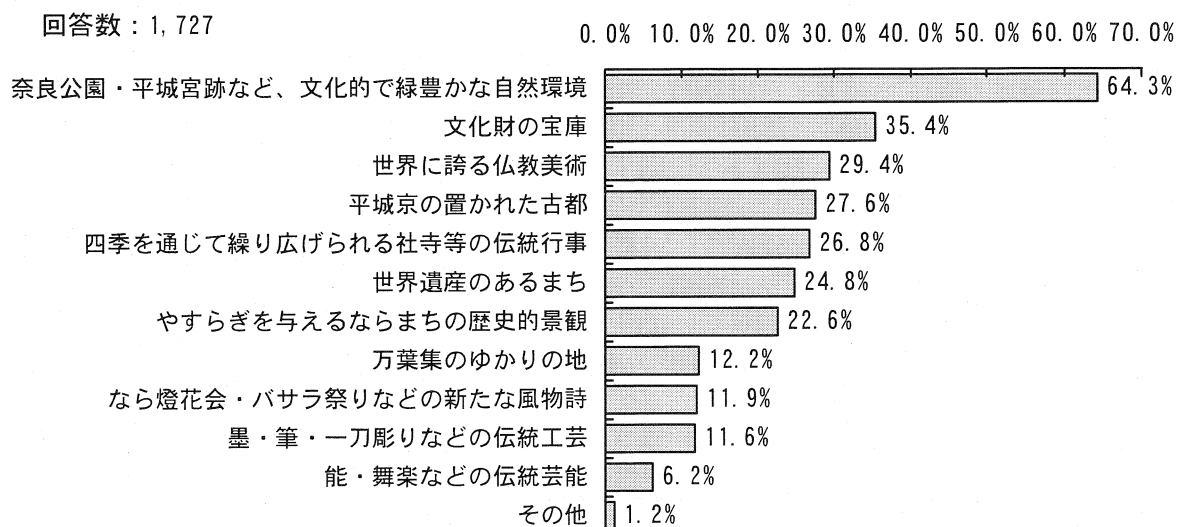


4-3 あなたが思う奈良らしさ

問 19 奈良市は国際文化観光都市であり、全国的にも文化的な風土で知られていますが、あなたの思われる奈良らしさとはどのようなものですか。【あてはまるもの3つ以内で○】

あなたが思う奈良らしさは、「奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境」が64.3%で最も多く、次いで「文化財の宝庫」(35.4%)、「世界に誇る仏教美術」(29.4%)となっている。

図 あなたが思う奈良らしさ(3つ以内で複数回答)



地域別に回答の多い順をみると、「都祁地域」を除く全ての地域で「奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境」が最も多く、次いで「文化財の宝庫」となっている。「都祁地域」では「文化財の宝庫」(51.6%)が最も多く、次いで「奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境」(48.4%)となっている。

表 地域別 あなたが思う奈良らしさ(3つ以内で複数回答)

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 63.7%	文化財の宝庫 35.0%	世界に誇る仏教美術 29.8%	四季を通じて繰り上げられる社寺等の伝統行事 28.2%	平城京の置かれた古都 27.6%
北部地域	125	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 71.2%	文化財の宝庫 36.0%	世界に誇る仏教美術 30.4%	平城京の置かれた古都 27.2%	世界遺産のあるまち 25.6%
中部地域	114	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 59.6%	文化財の宝庫 39.5%	平城京の置かれた古都 34.2%	世界遺産のあるまち 28.1%	四季を通じて繰り上げられる社寺等の伝統行事 27.2%
中央市街地	414	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 67.1%	文化財の宝庫 33.3%	世界に誇る仏教美術 30.4%	平城京の置かれた古都 28.0%	四季を通じて繰り上げられる社寺等の伝統行事 25.8%
南部地域	122	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 64.8%	文化財の宝庫 35.2%	世界に誇る仏教美術 28.7%	平城京の置かれた古都 27.9%	四季を通じて繰り上げられる社寺等の伝統行事 25.4%
東部地域	26	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 46.2%	文化財の宝庫 42.3%	世界に誇る仏教美術 42.3%	やすらぎを与えるならまちの歴史的景観 30.8%	四季を通じて繰り上げられる社寺等の伝統行事 30.8%
月ヶ瀬地域	9	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 66.7%	文化財の宝庫 55.6%	四季を通じて繰り上げられる社寺等の伝統行事 44.4%	やすらぎを与えるならまちの歴史的景観 22.2%	世界に誇る仏教美術 11.1%
都祁地域	31	文化財の宝庫 51.6%	奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境 48.4%	世界に誇る仏教美術 35.5%	平城京の置かれた古都 32.3%	やすらぎを与えるならまちの歴史的景観 25.8%

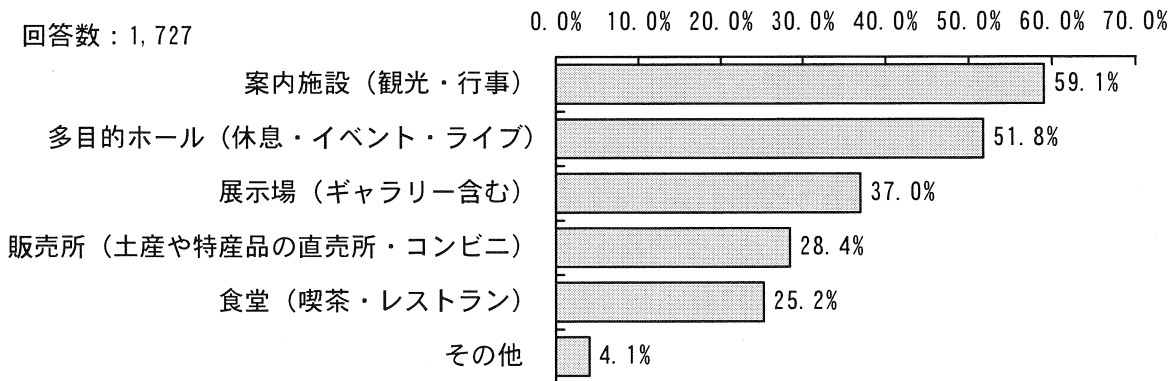
5. JR旧奈良駅舎について

5-1 希望するJR旧奈良駅舎の活用内容

問 20 JR奈良駅東口駅前広場で保存することになった「JR旧奈良駅舎」について、何に活用すればよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

希望するJR旧奈良駅舎の活用内容は、「案内施設（観光・行事）」が59.1%で最も多く、次いで「多目的ホール（休息・イベント・ライブ）」（51.8%）、「展示場（ギャラリー含む）」（37.0%）となっている。

図 希望するJR旧奈良駅舎の活用内容（複数回答）



年齢別に回答の多い順をみると、30歳以上の世代では「案内施設（観光・行事）」が最も多く、次いで「多目的ホール（休息・イベント・ライブ）」となっているが、「20～29歳」では「多目的ホール（休息・イベント・ライブ）」が58.0%で最も多く、次いで「案内施設（観光・行事）」（53.1%）で順位が逆転している。

表 年齢別 希望するJR旧奈良駅舎の活用内容（複数回答）

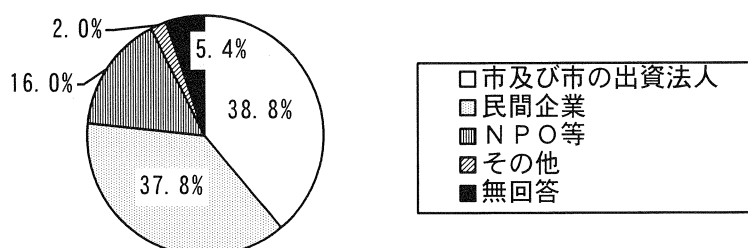
	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	多目的ホール（休息・イベント・ライブ） 58.0%	案内施設（観光・行事） 53.1%	販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ） 29.6%	展示場（ギャラリー含む） 25.3%	食堂（喫茶・レストラン） 22.8%
30～39歳	220	案内施設（観光・行事） 54.5%	多目的ホール（休息・イベント・ライブ） 50.0%	展示場（ギャラリー含む） 29.5%	販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ） 26.4%	食堂（喫茶・レストラン） 26.4%
40～49歳	245	案内施設（観光・行事） 55.1%	多目的ホール（休息・イベント・ライブ） 52.2%	展示場（ギャラリー含む） 38.0%	販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ） 26.5%	食堂（喫茶・レストラン） 21.6%
50～59歳	337	案内施設（観光・行事） 60.8%	多目的ホール（休息・イベント・ライブ） 54.0%	展示場（ギャラリー含む） 44.2%	販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ） 23.4%	食堂（喫茶・レストラン） 21.7%
60～64歳	225	案内施設（観光・行事） 61.8%	多目的ホール（休息・イベント・ライブ） 56.4%	展示場（ギャラリー含む） 42.2%	販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ） 29.8%	食堂（喫茶・レストラン） 26.2%
65歳以上	451	案内施設（観光・行事） 63.6%	多目的ホール（休息・イベント・ライブ） 47.0%	展示場（ギャラリー含む） 37.9%	販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ） 33.7%	食堂（喫茶・レストラン） 29.3%

5-2 管理・運営を行えばよい団体

問 21 活用する場合、どのような団体が管理・運営を行えばよいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

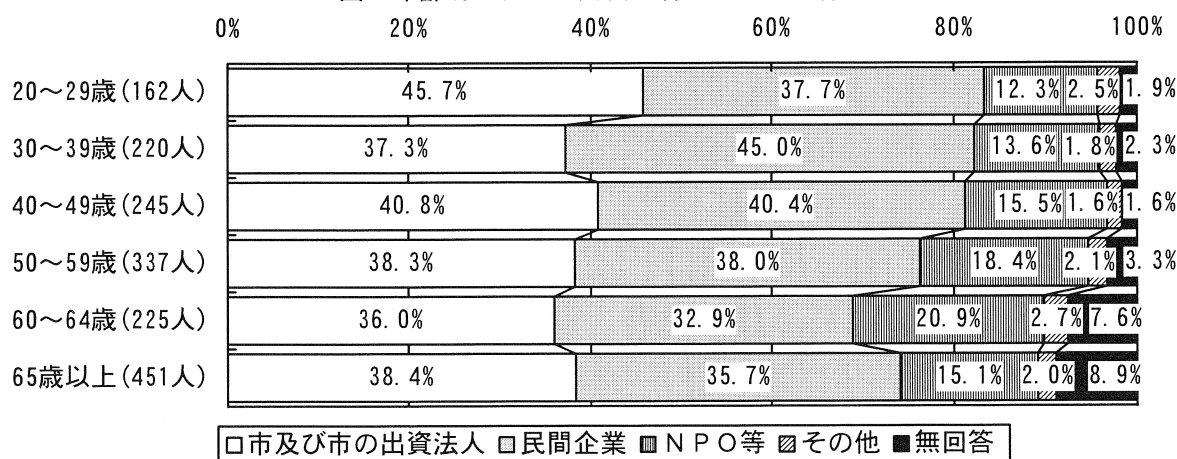
J R旧奈良駅舎の管理・運営を行えばよい団体は、「市及び市の出資法人」が 38.8%で最も多く、次いで「民間企業」(37.8%)となっている。「NPO等」は16.0%となっている。

回答数：1,727 図 管理・運営を行えばよい団体



年齢別に回答の多い順をみると、「30～39 歳」以外の世代は「市及び市の出資法人」が最も多く、次いで「民間企業」となっているが、「30～39 歳」では「民間企業」が45.0%で最も多く、次いで「市及び市の出資法人」(37.3%)で順位が逆転している。

図 年齢別 管理・運営を行えばよい団体



管理・運営を行えばよい団体別に希望するJ R旧奈良駅舎の活用内容をみると、「案内施設（観光・行事）」は「市及び市の出資法人」が68.7%で最も高く、「多目的ホール（休息・イベント・ライブ）」は「NPO等」が59.9%で最も高くなっている。

表 管理・運営を行えばよい団体別 希望するJ R旧奈良駅舎の活用内容（複数回答）

	有効回答数	案内施設（観光・行事）	多目的ホール（休息・イベント・ライブ）	展示場（ギャラリー合む）	販売所（土産・特産品）	食堂（喫茶・レストラン）	その他
全体	1,727	59.1%	51.8%	37.0%	28.4%	25.2%	4.1%
市及び市の出資法人	670	68.7%	51.8%	40.0%	30.4%	21.6%	2.5%
民間企業	652	53.5%	52.6%	30.8%	31.9%	33.4%	2.8%
NPO等	277	61.7%	59.9%	49.5%	22.0%	19.1%	3.6%
その他	35	48.6%	42.9%	34.3%	20.0%	20.0%	45.7%

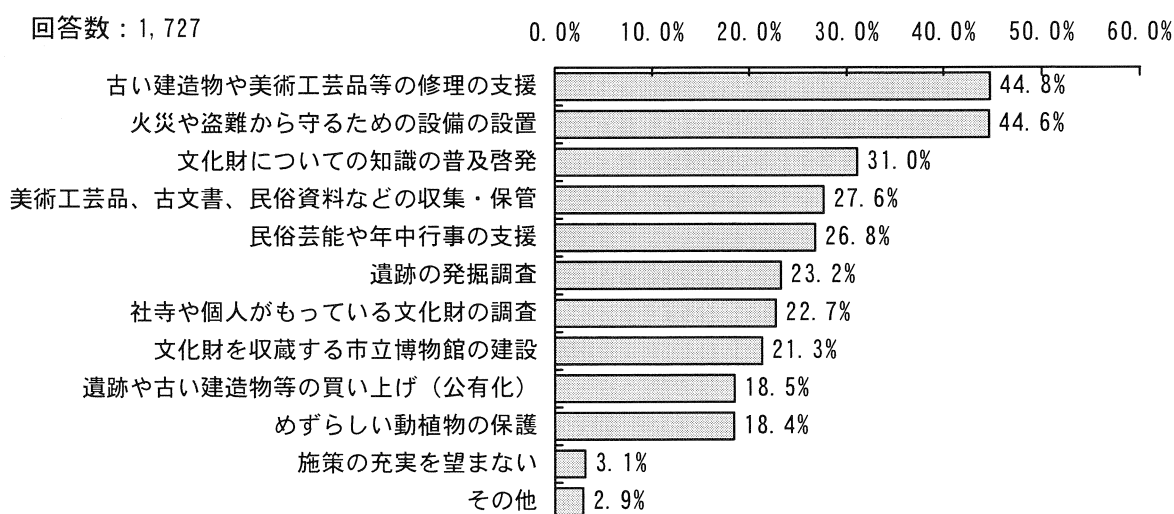
6. 文化財について

6-1 文化財保護のため充実すべき施策

問 22 奈良市にある文化財を守るために、どのような施策を充実させるべきだとお考えになりますか。【あてはまるものすべてに○】

文化財保護のため充実すべき施策は、「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」が 44.8%で最も多く、次いで「火災や盗難から守るための設備の設置」(44.6%)、「文化財についての知識の普及啓発」(31.0%)となっている。

図 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）



年齢別に回答の多い順をみると、「40～49歳」と「50～59歳」で「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」が最も多く、次いで「火災や盗難から守るための設備の設置」であるが、「30～39歳」では両者が同率で最も多くなっている。他の世代では「火災や盗難から守るための設備の設置」が最も多く、次いで「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」となっている。

表 年齢別 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）

	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	火災や盗難から守るための設備の設置 51.2%	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 48.8%	文化財についての知識の普及啓発 34.0%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 32.1%	民俗芸能や年中行事の支援 30.9%
30～39歳	220	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 43.2%	火災や盗難から守るための設備の設置 43.2%	文化財についての知識の普及啓発 30.9%	めずらしい動植物の保護 27.3%	民俗芸能や年中行事の支援 25.5%
40～49歳	245	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 53.1%	火災や盗難から守るための設備の設置 44.9%	文化財についての知識の普及啓発 30.2%	民俗芸能や年中行事の支援 26.9%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 23.3%
50～59歳	337	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 49.0%	火災や盗難から守るための設備の設置 40.7%	文化財についての知識の普及啓発 31.2%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 27.9%	民俗芸能や年中行事の支援 26.4%
60～64歳	225	火災や盗難から守るための設備の設置 45.3%	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 41.3%	文化財についての知識の普及啓発 33.3%	民俗芸能や年中行事の支援 31.6%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 28.0%
65歳以上	451	火災や盗難から守るための設備の設置 46.6%	古い建造物や美術工芸品等の修理の支援 37.3%	美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管 31.5%	文化財についての知識の普及啓発 29.9%	文化財を収蔵する市立博物館の建設 28.2%

地域別にみると、「中部地域」と「中央市街地」では「古い建造物や美術工芸品等の修理の支援」、
「西部地域」と「北部地域」と「南部地域」と「都祁地域」では「火災や盗難から守るための設
備の設置」、「東部地域」では「社寺や個人が持っている文化財の調査」、「月ヶ瀬地域」では「文
化財についての知識の普及啓発」が最も多くなっている。

表 地域別 文化財保護のため充実すべき施策（複数回答）

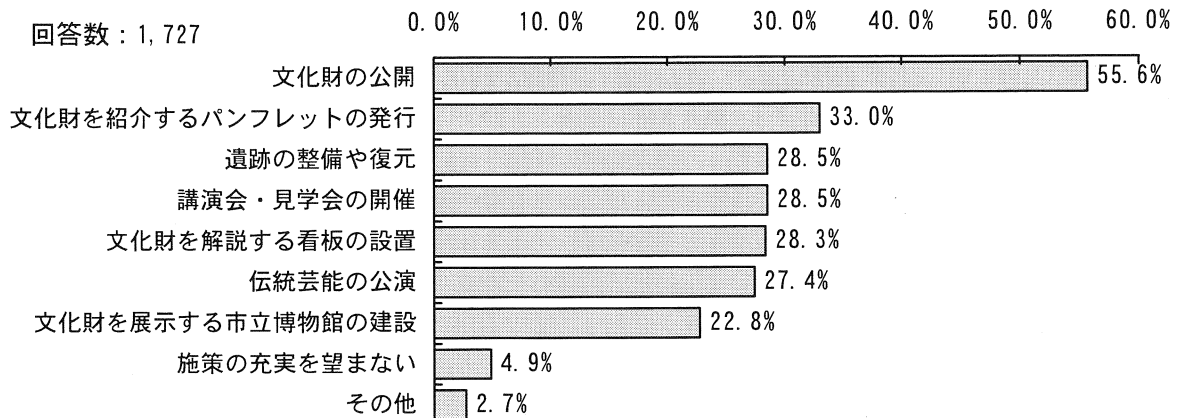
	有効回 答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	火災や盗難から守 るための設備の設 置 48.5%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 47.5%	文化財についての 知識の普及啓発 31.5%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 28.7%	民俗芸能や年中行 事の支援 26.5%
北部地域	125	火災や盗難から守 るための設備の設 置 44.0%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 43.2%	民俗芸能や年中行 事の支援 32.8%	文化財についての 知識の普及啓発 32.8%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 28.8%
中部地域	114	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 35.1%	火災や盗難から守 るための設備の設 置 35.1%	文化財についての 知識の普及啓発 28.1%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 25.4%	民俗芸能や年中行 事の支援 25.4%
中央市街地	414	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 44.2%	火災や盗難から守 るための設備の設 置 43.7%	文化財についての 知識の普及啓発 32.9%	民俗芸能や年中行 事の支援 26.8%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 26.1%
南部地域	122	火災や盗難から守 るための設備の設 置 48.4%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 45.9%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 30.3%	文化財についての 知識の普及啓発 28.7%	めずらしい動植物 の保護 24.6%
東部地域	26	社寺や個人がもっ ている文化財の調 査 42.3%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 38.5%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 26.9%	火災や盗難から守 るための設備の設 置 26.9%	文化財を収蔵する 市立博物館の建設 23.1%
月ヶ瀬地域	9	文化財についての 知識の普及啓発 33.3%	遺跡の発掘調査 22.2%	社寺や個人がもっ ている文化財の調 査 22.2%	文化財を収蔵する 市立博物館の建設 22.2%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 22.2%
都祁地域	31	火災や盗難から守 るための設備の設 置 41.9%	古い建造物や美術 工芸品等の修理の 支援 35.5%	美術工芸品、古文 書、民俗資料など の収集・保管 32.3%	民俗芸能や年中行 事の支援 32.3%	遺跡の発掘調査 22.6%

6-2 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策

問 23 文化財をくらしの中に生かすために、どのような施策を充実させるべきだとお考えになりますか。【あてはまるものすべてに○】

文化財をくらしに生かすため充実すべき施策は、「文化財の公開」が 55.6%で最も多く、次いで「文化財を紹介するパンフレットの発行」(33.0%)となっている。さらに「遺跡の整備や復元」と「講演会・見学会の開催」が、ともに 28.5%で続いている。

図 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策（複数回答）



地域別に回答の多い順をみると、いずれの地域でも「文化財の公開」が最も多くなっているが、第2位に地域差がみられる。第2位は、「西部地域」と「北部地域」と「中央市街地」と「南部地域」では「文化財を紹介するパンフレットの発行」、「中部地域」と「東部地域」では「講演会・見学会の開催」、「月ヶ瀬地域」では「文化財を展示する市立博物館の建設」、「都祁地域」では「伝統芸能の公演」となっている。

表 地域別 文化財をくらしに生かすため充実すべき施策（複数回答）

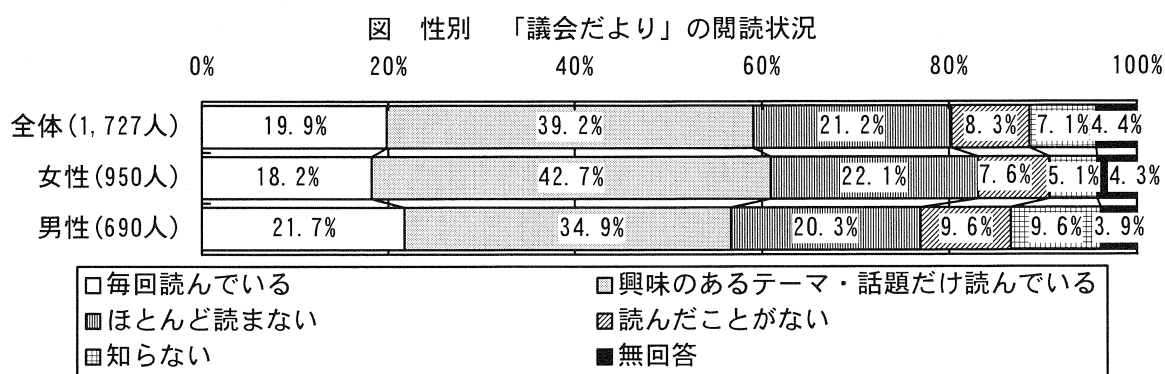
	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
西部地域	769	文化財の公開 56.2%	文化財を紹介するパンフレットの発行 32.8%	文化財を解説する看板の設置 29.5%	遺跡の整備や復元 29.1%	講演会・見学会の開催 29.0%
北部地域	125	文化財の公開 68.8%	文化財を紹介するパンフレットの発行 41.6%	伝統芸能の公演 34.4%	遺跡の整備や復元 28.8%	講演会・見学会の開催 25.6%
中部地域	114	文化財の公開 45.6%	講演会・見学会の開催 32.5%	遺跡の整備や復元 28.9%	文化財を紹介するパンフレットの発行 24.6%	文化財を展示する市立博物館の建設 21.9%
中央市街地	414	文化財の公開 55.1%	文化財を紹介するパンフレットの発行 34.5%	文化財を解説する看板の設置 33.1%	遺跡の整備や復元 29.7%	伝統芸能の公演 28.7%
南部地域	122	文化財の公開 59.8%	文化財を紹介するパンフレットの発行 38.5%	文化財を解説する看板の設置 31.1%	遺跡の整備や復元 26.2%	伝統芸能の公演 26.2%
東部地域	26	文化財の公開 46.2%	講演会・見学会の開催 42.3%	文化財を紹介するパンフレットの発行 34.6%	遺跡の整備や復元 30.8%	文化財を解説する看板の設置 23.1%
月ヶ瀬地域	9	文化財の公開 44.4%	文化財を展示する市立博物館の建設 33.3%	講演会・見学会の開催 33.3%	文化財を紹介するパンフレットの発行 33.3%	伝統芸能の公演 22.2%
都祁地域	31	文化財の公開 51.6%	伝統芸能の公演 32.3%	遺跡の整備や復元 25.8%	講演会・見学会の開催 25.8%	文化財を紹介するパンフレットの発行 25.8%

7. 市等からの広報について

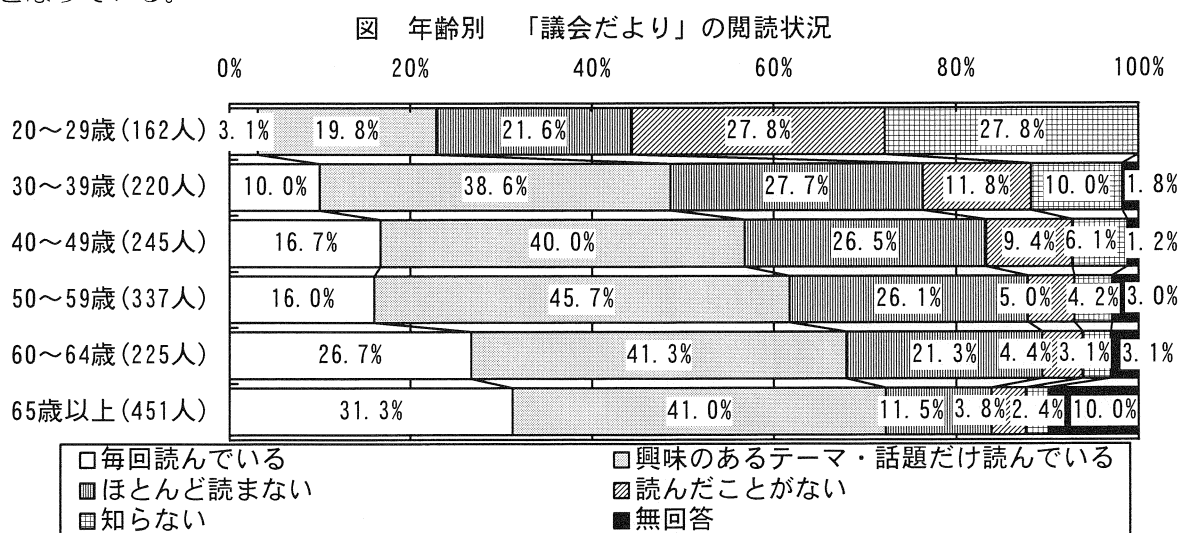
問 24 奈良市では、定例議会の質疑の内容などをお知らせするために「議会だより」を年4回、水道事業については「水道だより」を年2回発行しています。また、しみんだより
に人権啓発記事として「虹のひろば」を毎月掲載しています。あなたはこれらをどの程度読んでいますか。

7-1 「議会だより」の閲読状況

「議会だより」の閲読状況は、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計が59.1%で「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計（29.5%）を29.6ポイント上回っている。性別でみると、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計は女性が60.9%で男性（56.6%）を4.3ポイント上回っている。

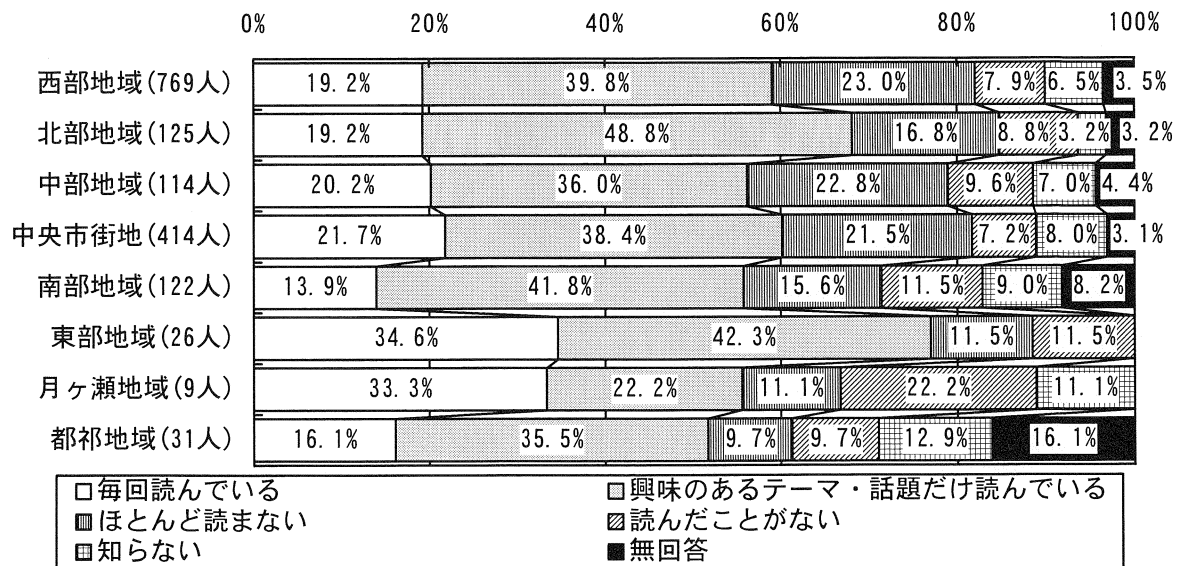


年齢別にみると、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計は「65歳以上」が72.3%で最も高く、次いで「60～64歳」（68.0%）となっている。「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計は、「20～29歳」が49.4%で最も高く、次いで「30～39歳」（39.5%）となっている。



地域別にみると、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計は「東部地域」が76.9%で最も高く、次いで「北部地域」（68.0%）となっている。「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計は「月ヶ瀬地域」が33.3%で最も高く、次いで「中部地域」（32.4%）となっている。

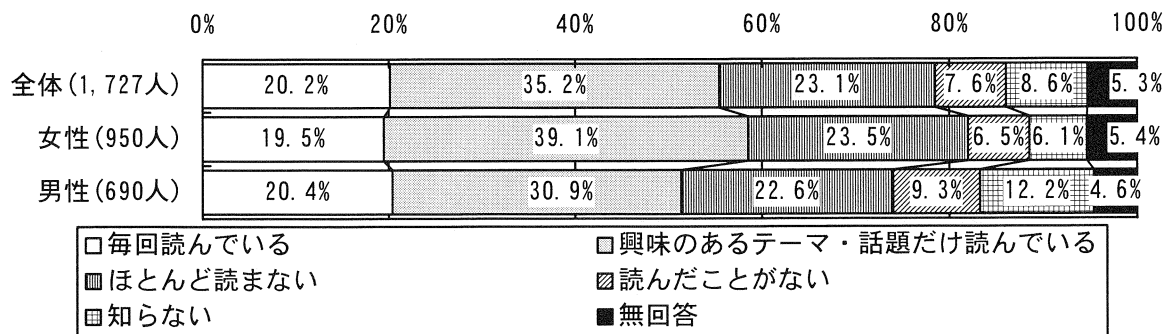
図 地域別 「議会だより」の閲読状況



7-2 「水道だより」の閲読状況

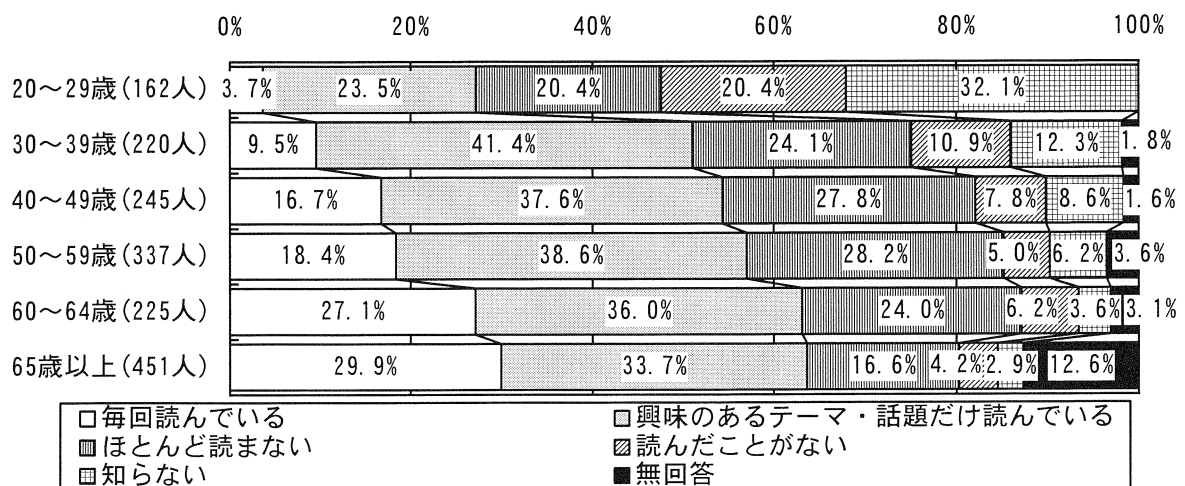
「水道だより」の閲読状況は、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計が 55.4%で「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計 (30.7%) を 24.7 ポイント上回っている。性別でみると、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計は女性が 58.6%で男性 (51.3%) を 7.3 ポイント上回っている。

図 性別 「水道だより」の閲読状況

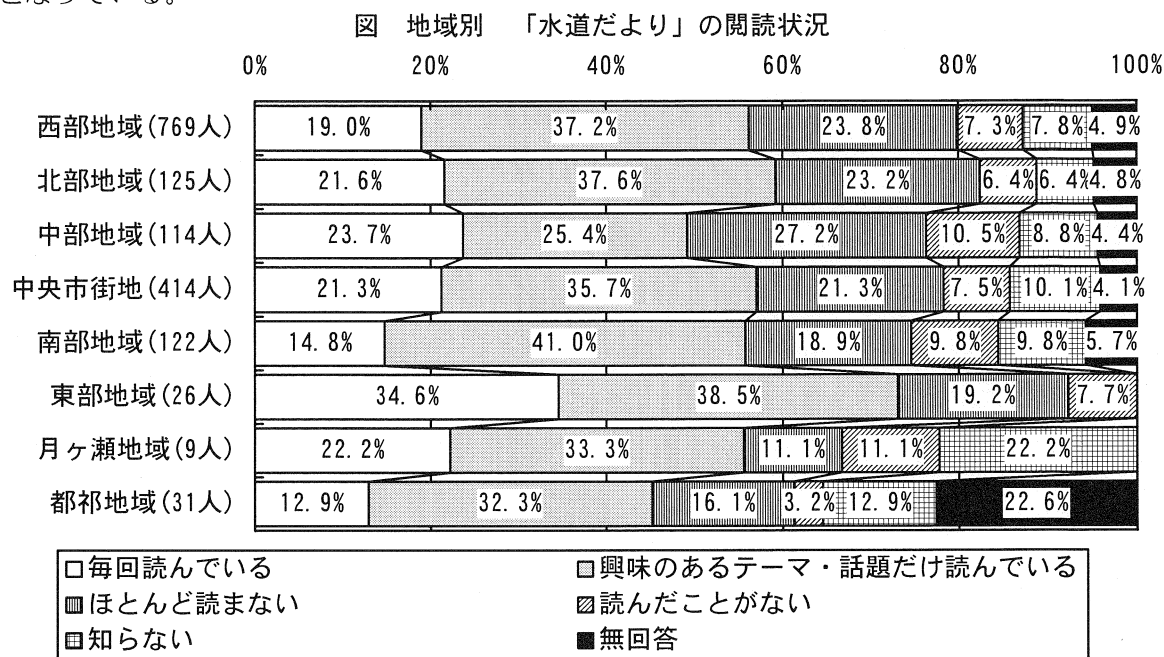


年齢別にみると、「毎回読んでいます」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいます」の合計は「65歳以上」が 63.6%で最も高く、次いで「60～64歳」(63.1%) となっている。「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計は、「20～29歳」が 40.8%で最も高く、次いで「40～49歳」(35.6%) となっている。

図 年齢別 「水道だより」の閲読状況

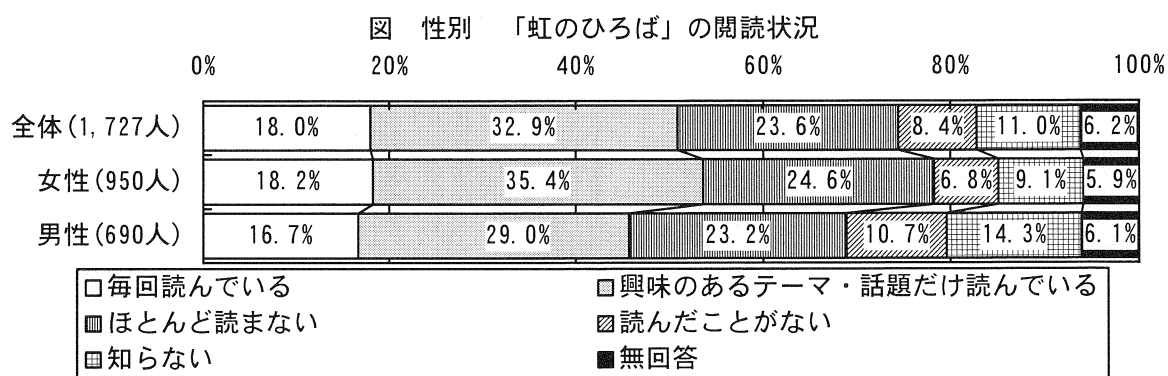


地域別にみると、「毎回読んでいる」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる」の合計は「東部地域」が73.1%で最も高く、次いで「北部地域」（59.2%）となっている。「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計は「中部地域」が37.7%で最も高く、次いで「西部地域」（31.1%）となっている。

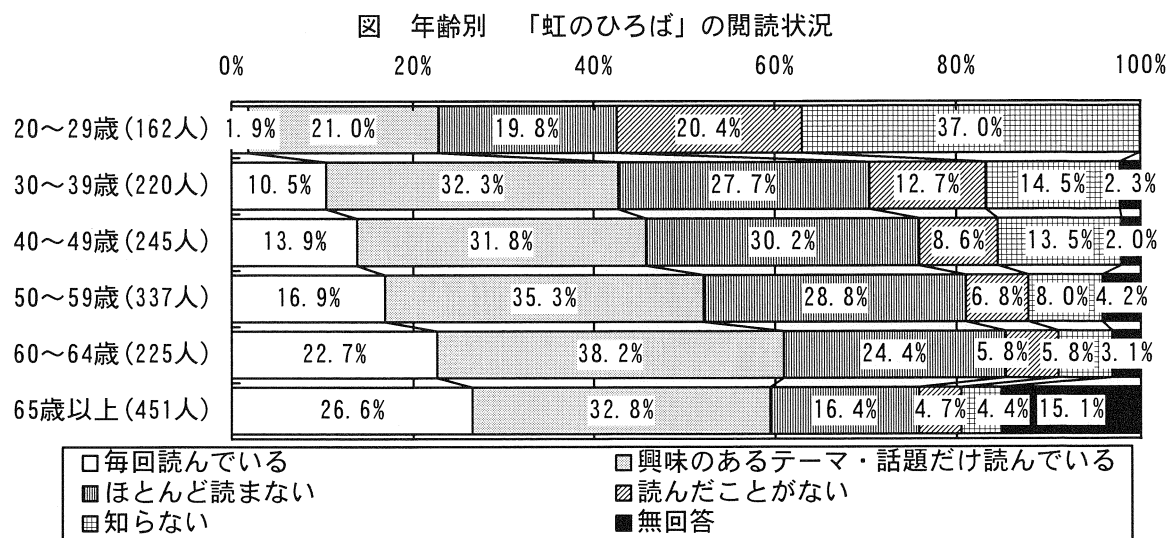


7-3 「虹のひろば」の閲読状況

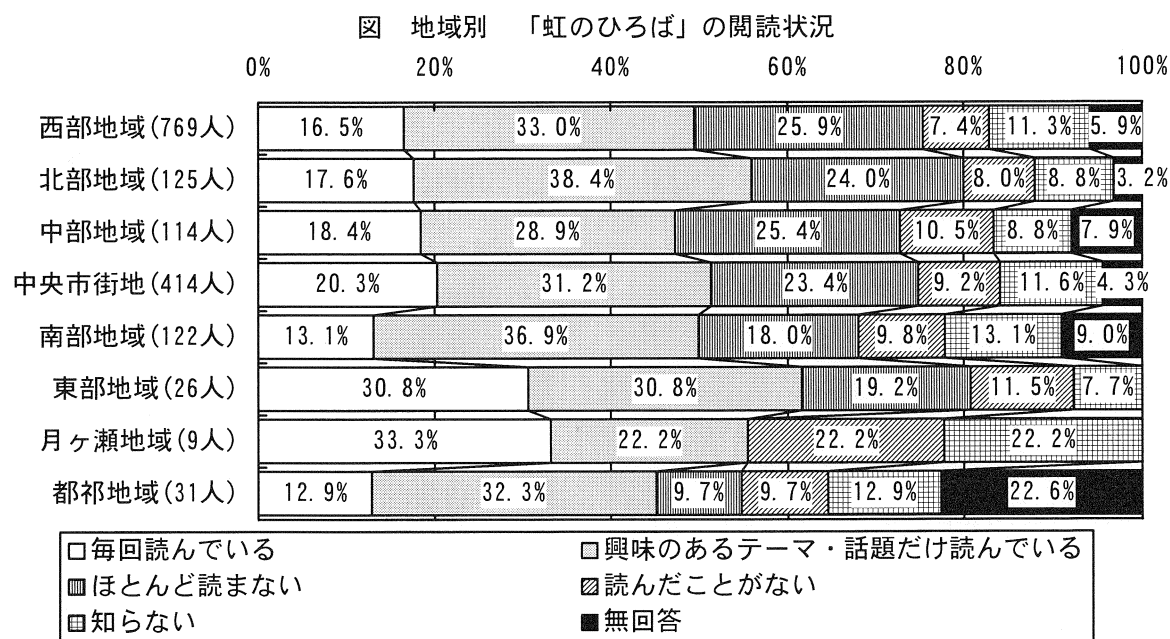
「虹のひろば」の閲読状況は、「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる」が32.9%で最も多く、次いで「ほとんど読まない」（23.6%）、「毎回読んでいる」（18.0%）となっている。読んでいるか否かでは、「毎回読んでいる」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる」の合計は50.9%で「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計（32.0%）を18.9ポイント上回っている。性別でみると、「毎回読んでいる」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる」の合計は女性が53.6%で男性（45.7%）を7.9ポイント上回っている。



年齢別にみると、「毎回読んでいる」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる」の合計は「60～64歳」が60.9%で最も高く、次いで「65歳以上」(59.4%)となっている。「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計は、「30～39歳」が40.4%で最も高く、次いで「20～29歳」(40.2%)となっている。



地域別にみると、「毎回読んでいる」と「興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる」の合計は「東部地域」が61.6%で最も高く、次いで「北部地域」(56.0%)となっている。「ほとんど読まない」と「読んだことがない」の合計は「中部地域」が35.9%で最も高く、次いで「西部地域」(33.3%)となっている。



8. 男女共同参画について

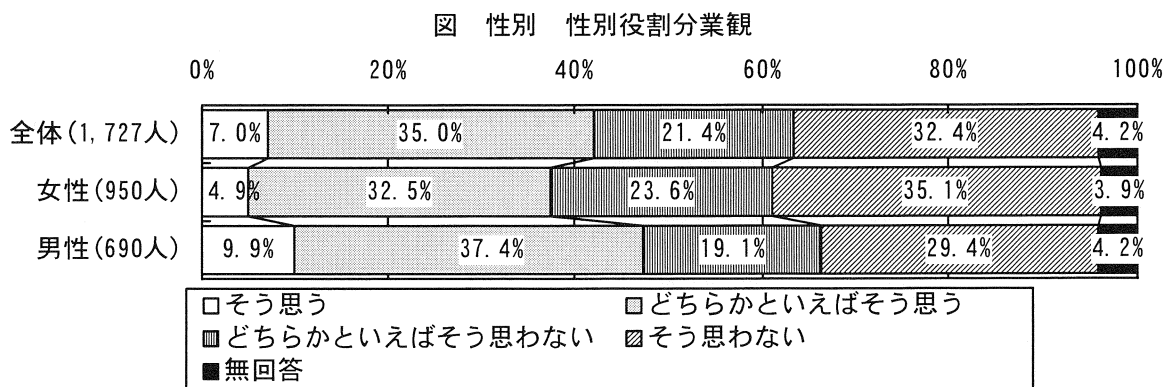
8-1 男女平等について

8-1-1 性別役割分業観

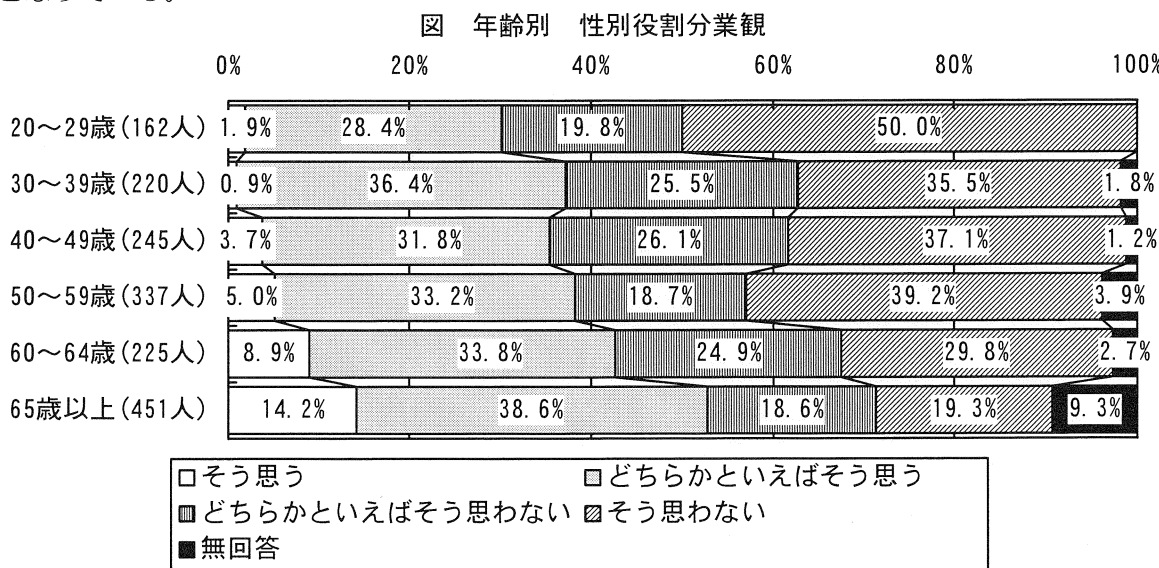
問 25 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。【あてはまるもの1つに○】

男は仕事・女は家庭、という性別役割分業観は、「どちらかといえばそう思う」が 35.0%で最も多く、次いで「そう思わない」(32.4%)、「どちらかといえばそう思わない」(21.4%)となっている。「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせる^②と 53.8%で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計^③(42.0%)を 11.8 ポイント上回っている。

性別でみると、性別役割分業否定派は男性で 48.5%、女性が 58.7%となっており、女性の方が 10.2 ポイント高くなっている。



年齢別にみると、「65 歳以上」を除いた全ての世代で性別役割分業否定派が肯定派を上回っている。性別役割分業否定派をみると「20～29 歳」の 69.8%が最も高く、次いで「40～49 歳」(63.2%)となっている。

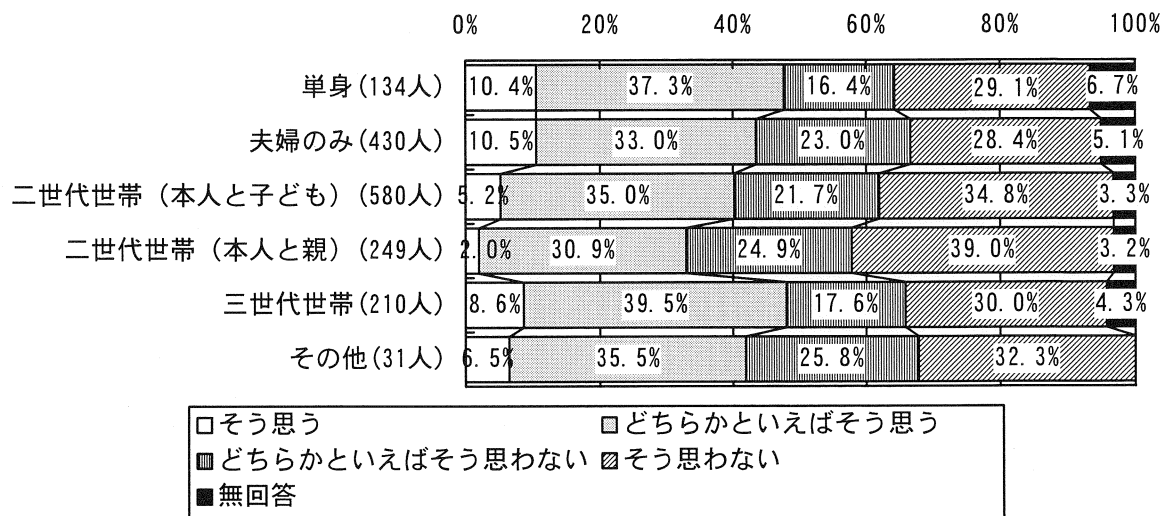


② 以下「性別役割分業否定派」と表記する。

③ 以下「性別役割分業肯定派」と表記する。

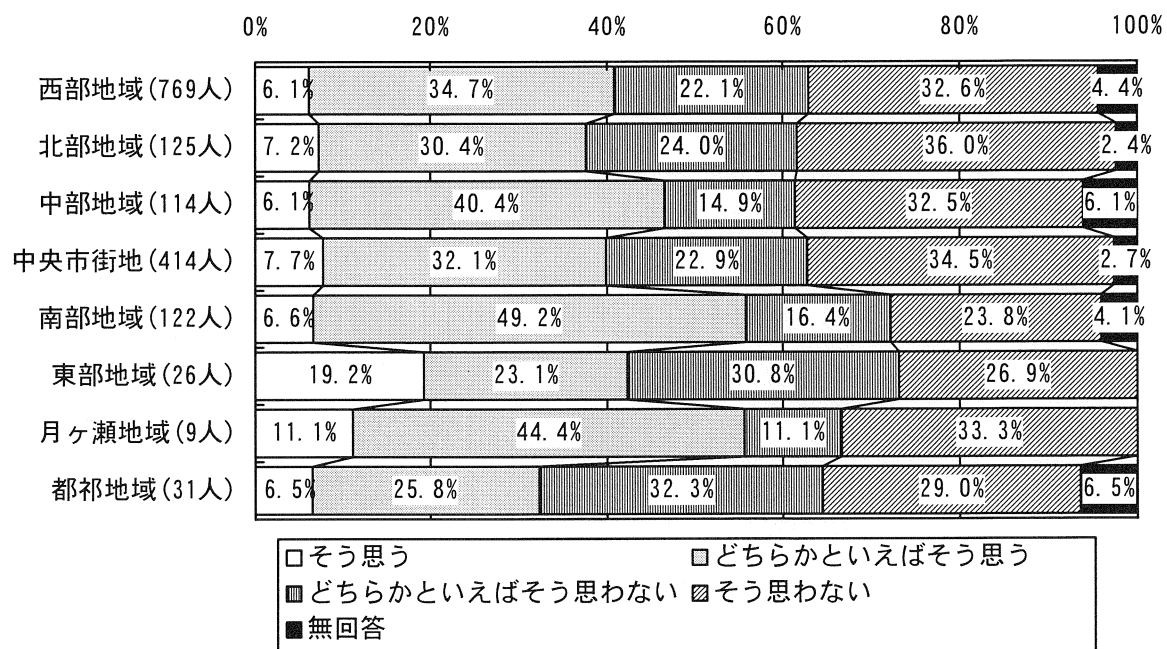
家族構成別にみると、「単身」と「三世代世帯」で性別役割分業肯定派が否定派を上回り、それ以外の家族構成では否定派が上回っている。性別役割分業肯定派は「三世代世帯」（48.1％）が最も高く、性別役割分業否定派は「二世代世帯（本人と親）」（63.9％）が最も高くなっている。

図 家族構成別 性別役割分業観



地域別にみると、性別役割分業否定派は「都祁地域」が61.3％で最も高く、次いで「北部地域」（60.0％）となっている。性別役割分業肯定派は「南部地域」が55.8％で最も高くなっている。

図 地域別 性別役割分業観



8-1-2 各分野での平等感

問 26 次の各分野において、男女はどの程度平等だと思いますか。

各分野での平等感について比較した。

家庭生活の場での男女の平等感は、「平等である」と「やや平等である」の合計が 58.3%で過半数を超え、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計（36.5%）を 21.8 ポイント上回っている。

町内会や自治会など地域活動での男女の平等感は、「平等である」と「やや平等である」の合計が 57.8%と過半数を超え、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計の 35.6%を 22.2 ポイント上回っている。

冠婚葬祭などの慣習やしきたりでの男女の平等感は、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が 51.7%と過半数を超えており、「平等である」と「やや平等である」の合計の 41.1%を 10.6 ポイント上回っている。

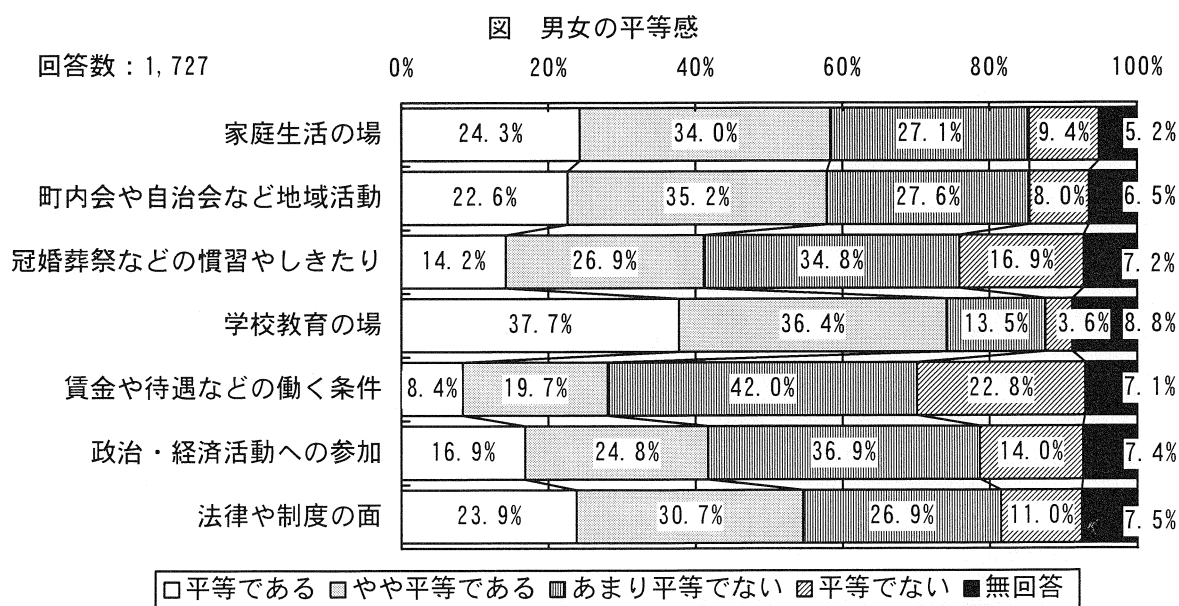
学校教育の場での男女の平等感は、「平等である」と「やや平等である」の合計が 74.1%と7割を超えており、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計の 17.1%を 57.0 ポイント上回っている。

賃金や待遇などの働く条件での男女の平等感は、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が 64.8%と6割を超えており、「平等である」と「やや平等である」の合計の 28.1%を 36.7 ポイント上回っている。

政治・経済活動への参加での男女の平等感は、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が 50.9%と過半数を占め、「平等である」と「やや平等である」の合計の 41.7%を 9.2 ポイント上回っている。

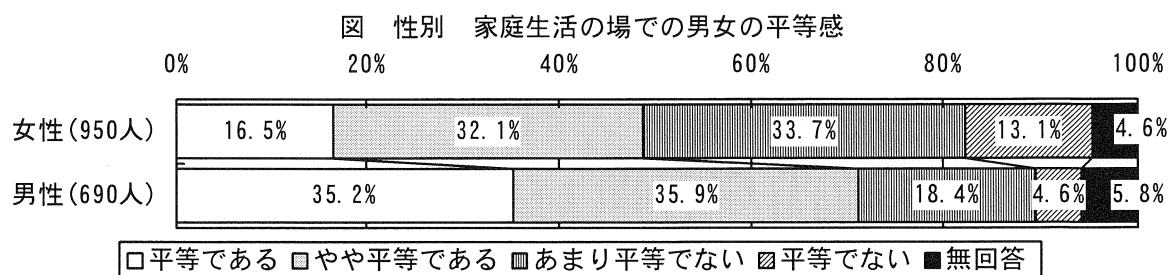
法律や制度の面での男女の平等感は、「平等である」と「やや平等である」の合計が 54.6%と過半数を占め、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計の 37.9%を 16.7 ポイント上回っている。

このように、「冠婚葬祭などの慣習やしきたり」と「賃金や待遇などの働く条件での男女の平等感」と「政治・経済活動への参加での男女の平等感」では「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が「平等である」と「やや平等である」の合計を上回り、それ以外の分野では「平等である」と「やや平等である」の合計が「あまり平等でない」と「平等でない」の合計を上回っている。

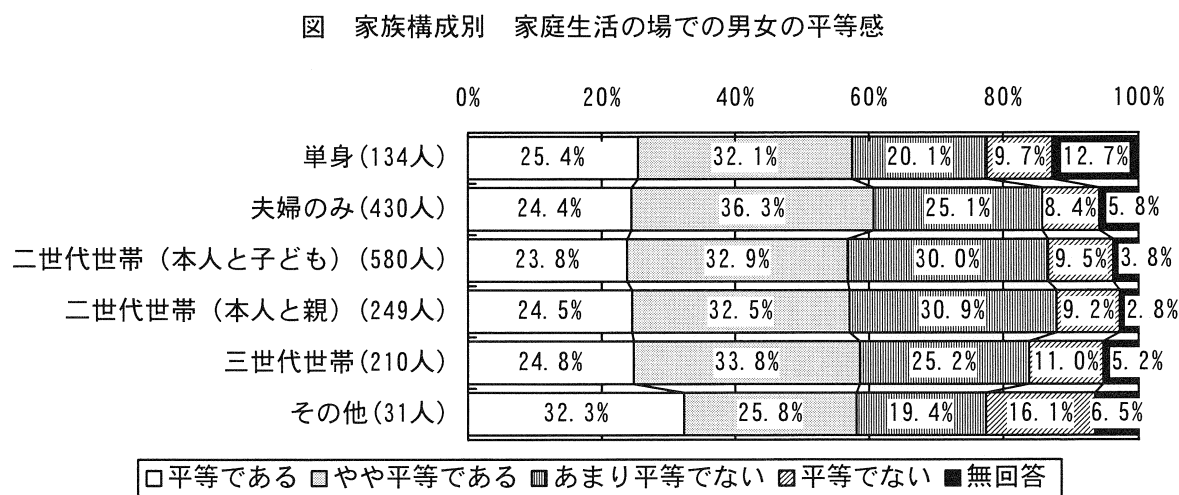


(1) 家庭生活の場での男女の平等感

性別でみると、男性は「平等である」と「やや平等である」の合計が71.1%と多数を占めるのに対し、女性は「平等である」と「やや平等である」の合計が48.6%、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が46.8%と、意見はほぼ拮抗している。内訳では、男性は「やや平等である」(35.9%)が最も多く、次いで「平等である」(35.2%)となっているのに対し、女性は「あまり平等でない」(33.7%)が最も多く、次いで「やや平等である」(32.1%)となっている。

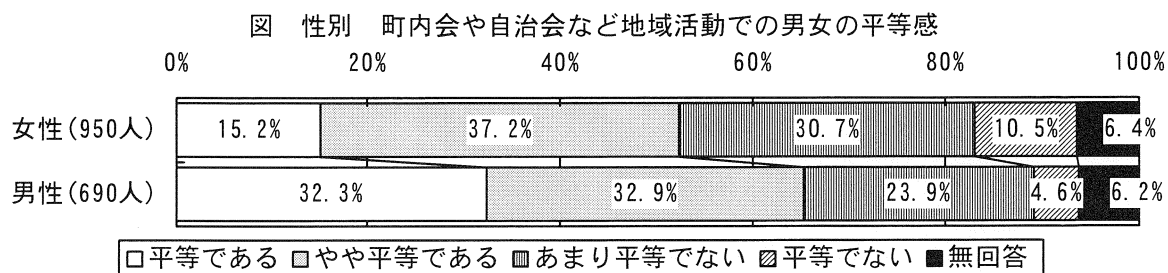


家族構成別にみると、「平等である」と「やや平等である」の合計は「夫婦のみ」が60.7%で最も高く、次いで「三世帯世帯」(58.6%)となっており、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は「二世帯世帯(本人と親)」が40.1%で最も高く、次いで「二世帯世帯(本人と子ども)」(39.5%)となっている。



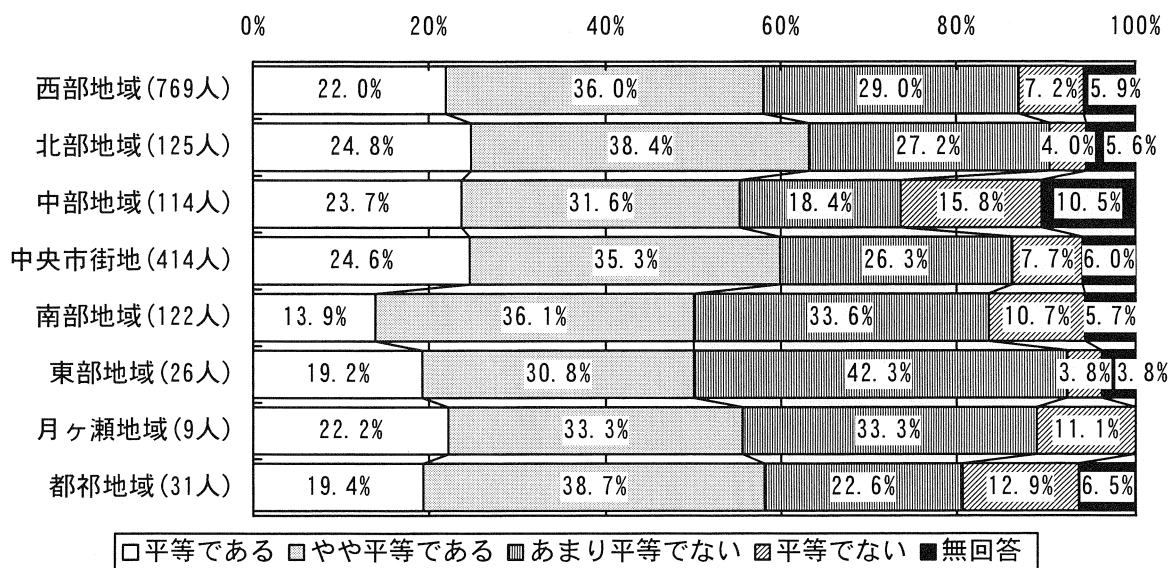
(2) 町内会や自治会など地域活動での男女の平等感

性別でみると、「平等である」と「やや平等である」の合計は男性が65.2%で女性(52.4%)を12.8ポイント上回っている。内訳は男女とも「やや平等である」(男性32.9%、女性37.2%)が最も多くなっているが、男性では「平等である」(32.3%)が続くのに対し、女性は「あまり平等でない」(30.7%)となっている。



地域別にみると、「平等である」と「やや平等である」の合計は「北部地域」が 63.2%で最も高く、次いで「中央市街地」(59.9%)となっている。「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は「東部地域」が 46.1%で最も多く、次いで「月ヶ瀬地域」(44.4%)となっている。

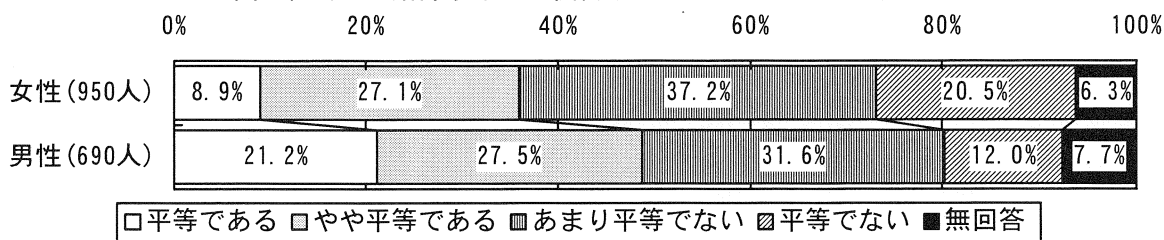
図 地域別 町内会や自治会など地域活動での男女の平等感



(3) 冠婚葬祭などの慣習やしきたりでの男女の平等感

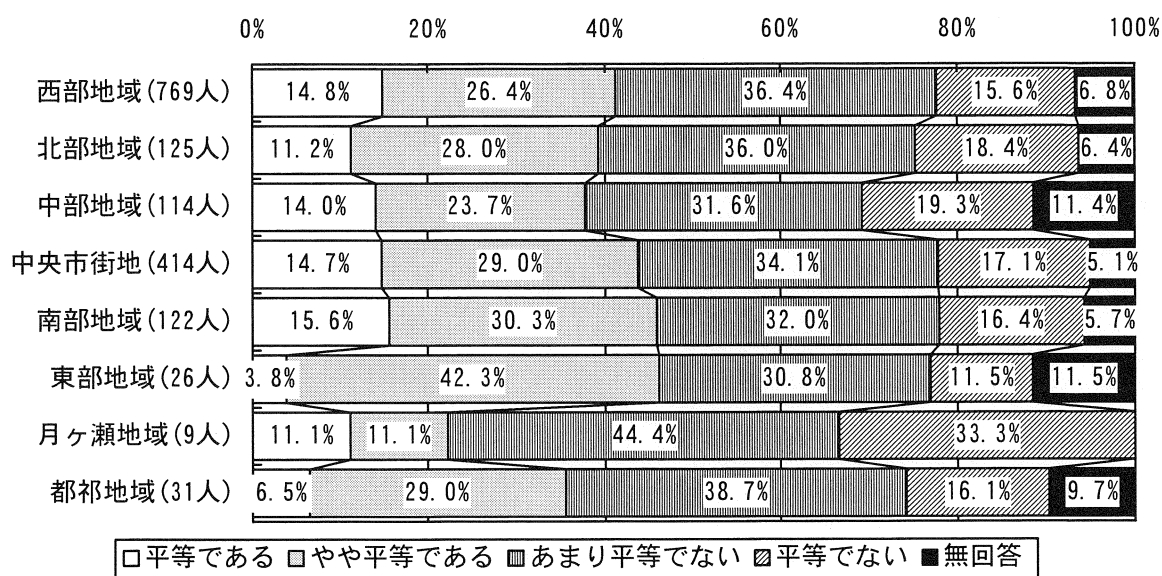
性別でみると、男性では「平等である」と「やや平等である」の合計が 48.7%で「あまり平等でない」と「平等でない」の合計 (43.6%) を 5.1 ポイント上回っているが、女性では「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が 57.7%と過半数を超え、男女間に大きな意識の差が見られる。内訳は、男女とも「あまり平等でない」(男性 31.6%、女性 37.2%) が最も多く、次いで「やや平等である」(男性 27.5%、女性 27.1%) となっているが、続いて男性が「平等である」(21.2%)、女性は「平等でない」(20.5%) と分かれている。

図 性別 冠婚葬祭などの慣習やしきたりでの男女の平等感



地域別にみると、「東部地域」以外の全ての地域で、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が「平等である」と「やや平等である」の合計を上回っている。「東部地域」では、「平等である」と「やや平等である」の合計が 46.1%で「あまり平等でない」と「平等でない」の合計 (42.3%) を 3.8 ポイント上回っている。「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は「月ヶ瀬地域」が 77.7%で最も高く、次いで「都祁地域」(54.8%) となっている。

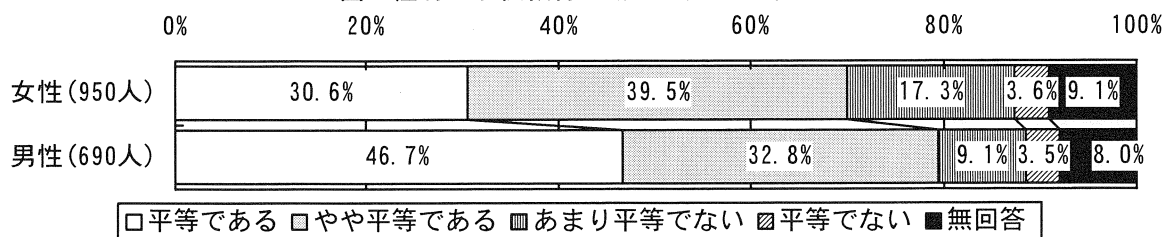
図 地域別 冠婚葬祭などの慣習やしきたりでの男女の平等感



(4) 学校教育の場での男女の平等感

性別でみると、「平等である」と「やや平等である」の合計は男性が 79.5%で女性 (70.1%) を 9.4 ポイント上回っている。内訳は、男性では「平等である」(46.7%) が最も多く、次いで「やや平等である」(32.8%) となっているが、女性では「やや平等である」(39.5%) が最も多く、次いで「平等である」(30.6%) となっている。

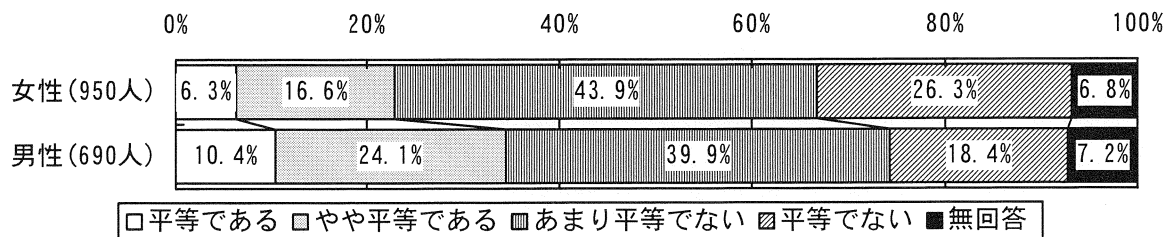
図 性別 学校教育の場での男女の平等感



(5) 賃金や待遇などの働く条件での男女の平等感

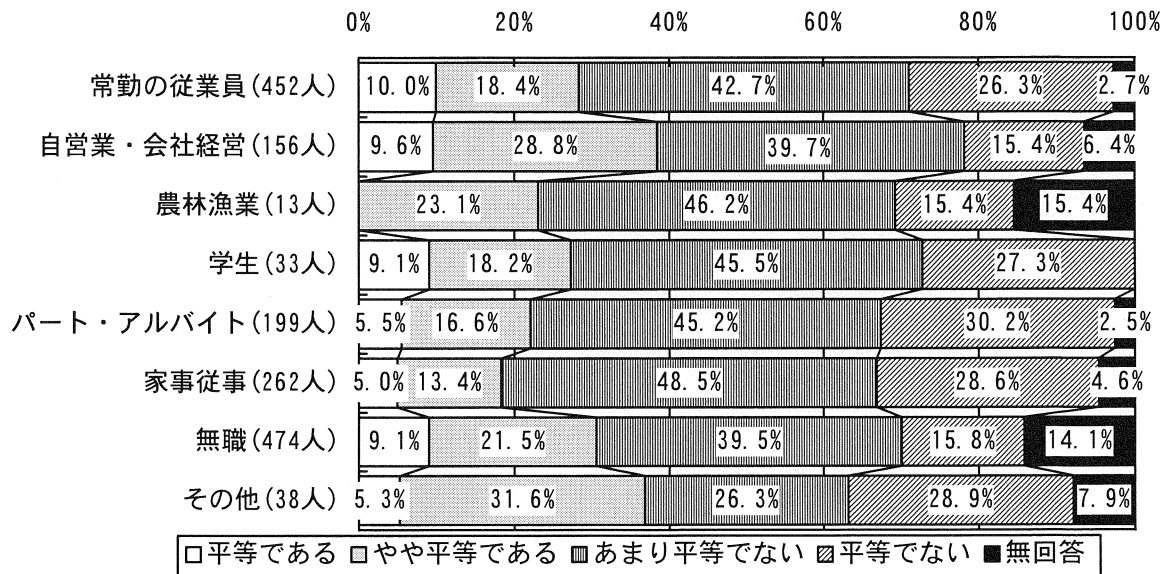
性別でみると、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は女性が 70.2%で男性 (58.3%) を 11.9 ポイント上回っている。内訳は、男女とも「あまり平等ではない」(男性 39.9%、女性 43.9%) が最も多いが、次いで男性では「やや平等である」(24.1%) に対し女性は「平等でない」(26.3%) となっている。

図 性別 賃金や待遇などの働く条件での男女の平等感



職業別にみると、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は「家事従事」が 77.1%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(75.4%)、「学生」(72.8%)となっている。

図 職業別 賃金や待遇などの働く条件での男女の平等感

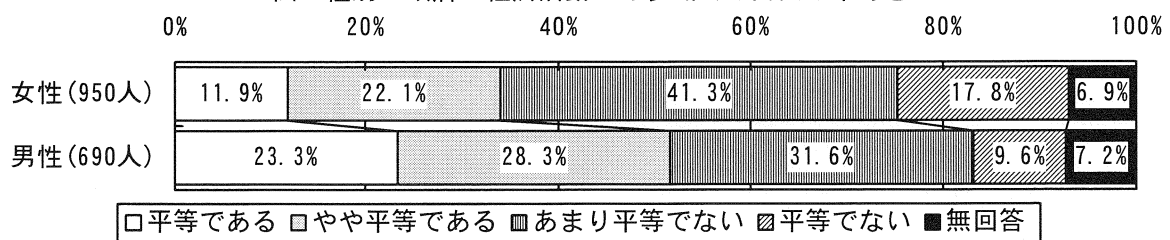


* 職業（無回答）：100人

(6) 政治・経済活動への参加での男女の平等感

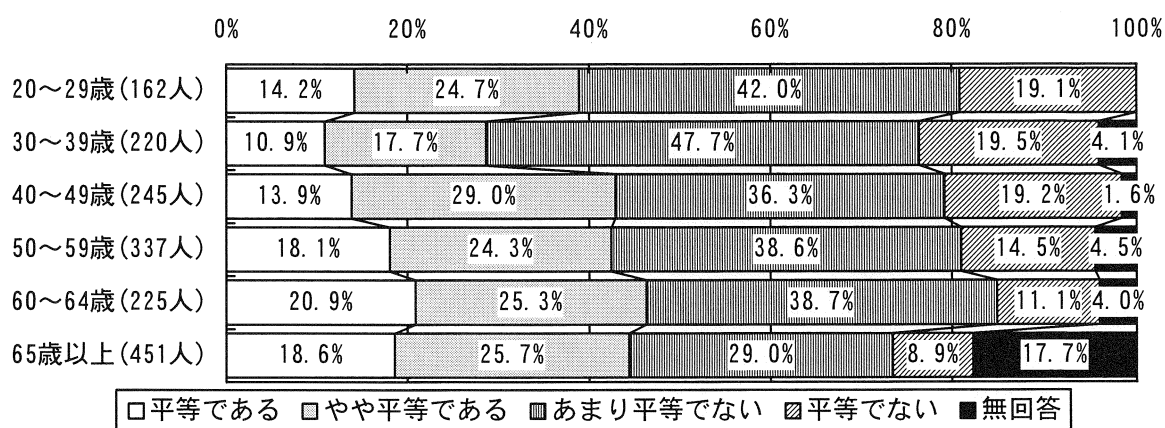
性別でみると、男性では「平等である」と「やや平等である」の合計が 51.6%で「あまり平等でない」と「平等でない」の合計（41.2%）を上回っているが、女性では「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が 59.1%で過半数を超えている。内訳は、男女とも「あまり平等ではない」が最も多く、次いで「やや平等である」となっているが、続いて男性は「平等である」（23.3%）、女性では「平等でない」（17.8%）となっている。

図 性別 政治・経済活動への参加での男女の平等感



年齢別にみると、64歳以下の全ての世代で「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が「平等である」と「やや平等である」の合計を上回っている。「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は「30～39歳」が 67.2%で最も高く、次いで「20～29歳」（61.1%）、「40～49歳」（55.5%）となり、以降年齢が上がるにしたがって比率が下がって「60～64歳」から過半数を割り込んでいく。

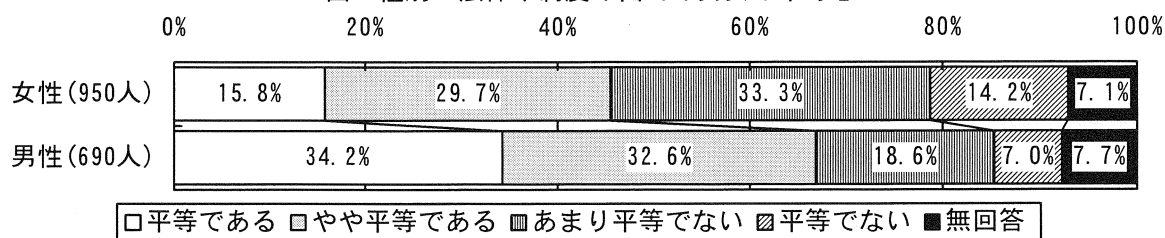
図 年齢別 政治・経済活動への参加での男女の平等観



(7) 法律や制度の面での男女の平等感

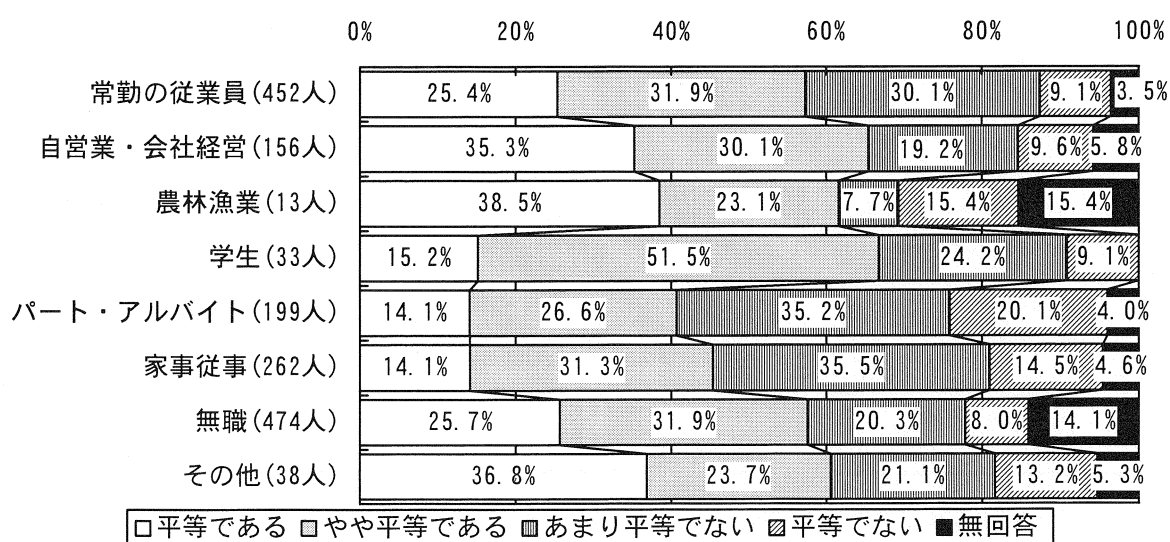
性別でみると、男性では「平等である」と「やや平等である」の合計が66.8%で「あまり平等でない」と「平等でない」の合計（25.6%）を上回っているが、女性では「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が47.5%で「平等である」と「やや平等である」の合計（45.5%）を上回っている。内訳は、男性では「平等である」が34.2%で最も多く、次いで「やや平等である」（32.6%）となっているが、女性では「あまり平等でない」が33.3%で最も多く、次いで「やや平等である」（29.7%）となっている。

図 性別 法律や制度の面での男女の平等感



職業別にみると、「あまり平等でない」と「平等でない」の合計は「パート・アルバイト」が55.3%で最も高く、次いで「家事従事」（50.0%）となっており、この2つの職業で「あまり平等でない」と「平等でない」の合計が「平等である」と「やや平等である」の合計を上回っている。他の職業では「平等である」と「やや平等である」の合計が6割前後を占め、特に「学生」（66.7%）、「自営業・会社経営」（65.4%）が高くなっている。

図 職業別 法律や制度の面での男女の平等感

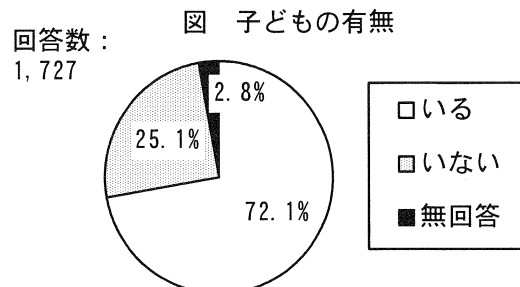


8-2 子育てについて

8-2-1 子どもの有無

問 27 あなたには子どもがいますか。【あてはまるもの1つに○】

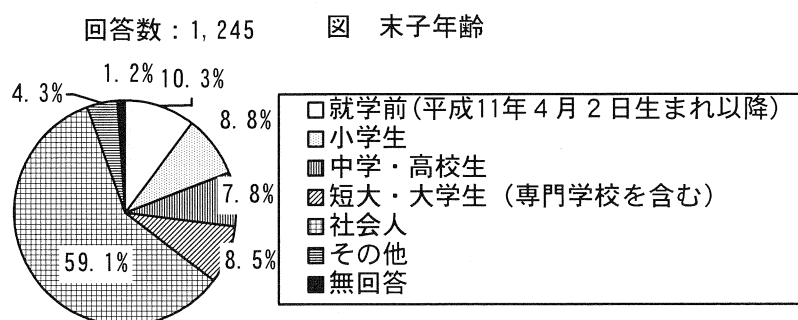
子どもの有無は、「いる」が 72.1%で「いない」が 25.1%となっている。



8-2-2 末子年齢

問 27-1 問 27 で「1. いる」と答えた方におたずねします。1 番下の子どもについてお答えください。【あてはまるもの1つに○】

末子年齢は、「社会人」が 59.1%で過半数を超えており、次いで「就学前（平成 11 年 4 月 2 日生まれ以降）」（10.3%）、「小学生」（8.8%）となっている。



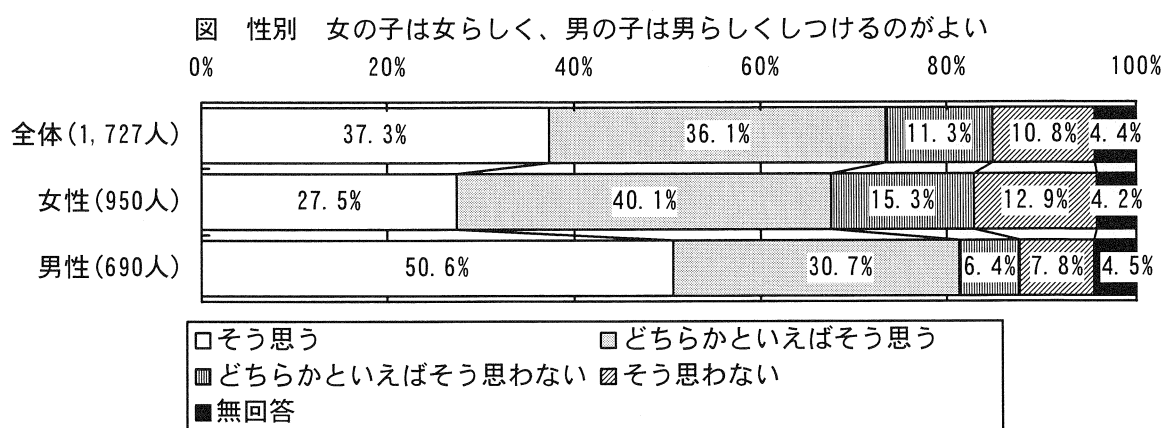
8-2-3 子育てについての考え方

問 28 子育てについての次のような考え方を、あなたはどのように思いますか。
それぞれの項目ごとに数字を1つ選んで○をつけてください

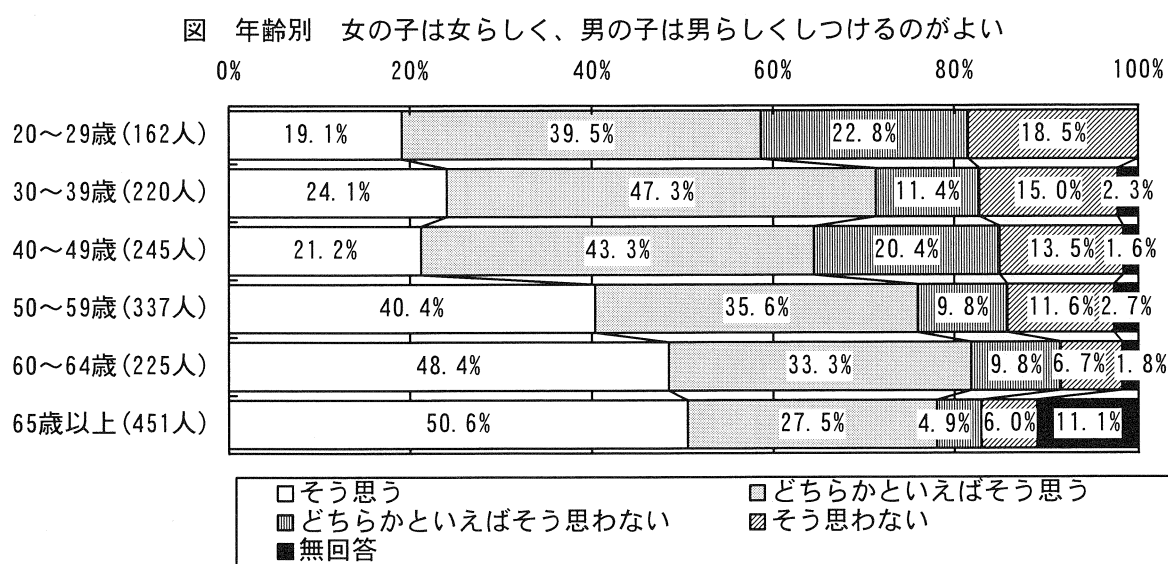
(1) 女の子は女らしく、男の子は男らしくしつけるのがよい

女の子は女らしく、男の子は男らしくしつけるのがよいという考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」が 73.4%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」（22.1%）を 51.3 ポイント上回っている。

性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は男性が 81.3%で女性（67.6%）を 13.7 ポイント上回っている。内訳は、男性では「そう思う」が 50.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」（30.7%）となっているが、女性では「どちらかといえばそう思う」（40.1%）、次いで「そう思う」（27.5%）となっている。



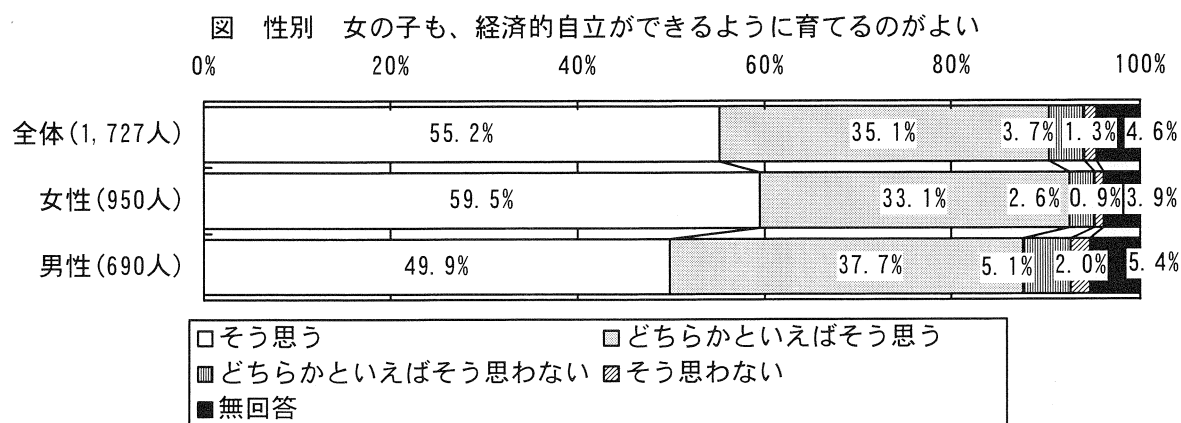
年齢別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は「60～64歳」が81.7%で最も高く、次いで「65歳以上」(78.1%)、「50～59歳」(76.0%)となっており、高齢者や熟年層にその考え方が多い。



(2) 女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい

女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよいという考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」が90.3%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」は5.0%とごく少数になっている。

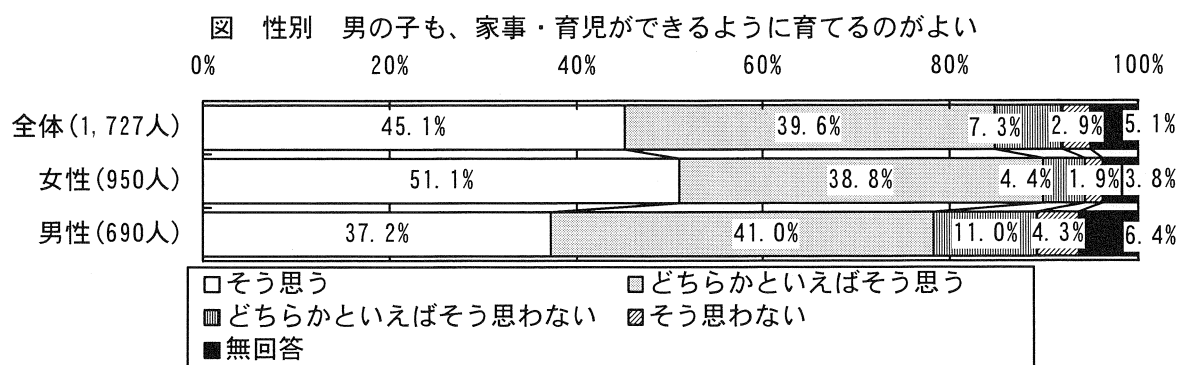
性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は男性87.6%、女性は92.6%でどちらも9割前後を占めるが、女性の方が5.0ポイント高くなっている。



(3) 男の子も、家事・育児ができるように育てるのがよい

男の子も、家事・育児ができるように育てるのがよいという考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」が 84.7%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」(10.2%)を 74.5 ポイント上回っている。

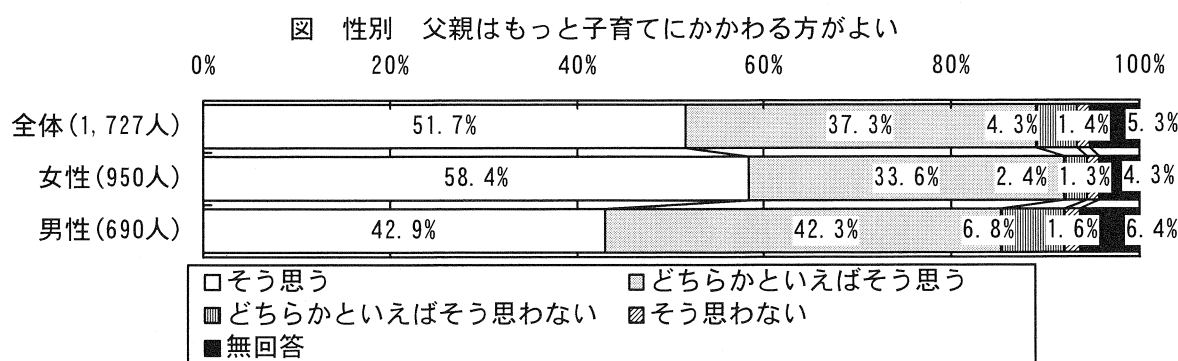
性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は女性が 89.9%で男性(78.2%)を 11.7 ポイント上回っている。内訳は、男性では「どちらかといえばそう思う」が 41.0%で最も多く、次いで「そう思う」(37.2%)となっているが、女性では「そう思う」(51.1%)が過半数を超え、次いで「どちらかといえばそう思う」(38.8%)となっている。



(4) 父親はもっと子育てにかかわる方がよい

父親はもっと子育てにかかわる方がよいという考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は 89.0%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」は 5.7%とごく少数になっている。

性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は女性が 92.0%で男性(85.2%)を 6.8 ポイント上回っている。

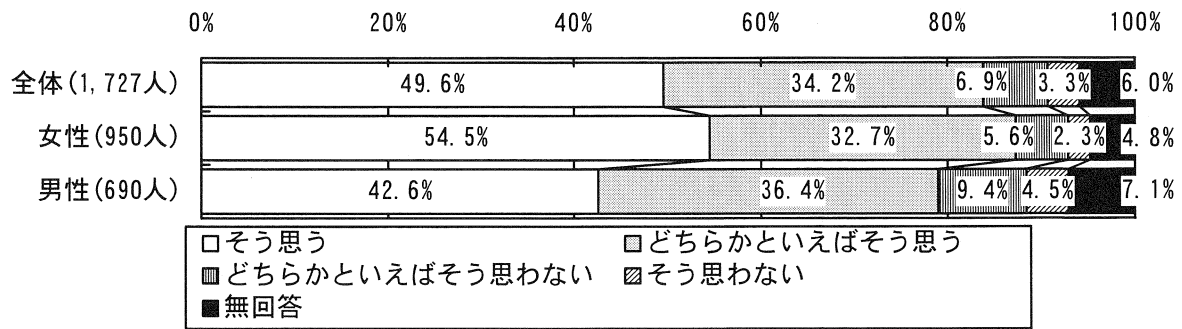


(5) 子育てには、地域社会の支援が必要である

子育てには、地域社会の支援が必要であるという考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」が 83.8%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」(10.2%)を 73.6 ポイント上回っている。

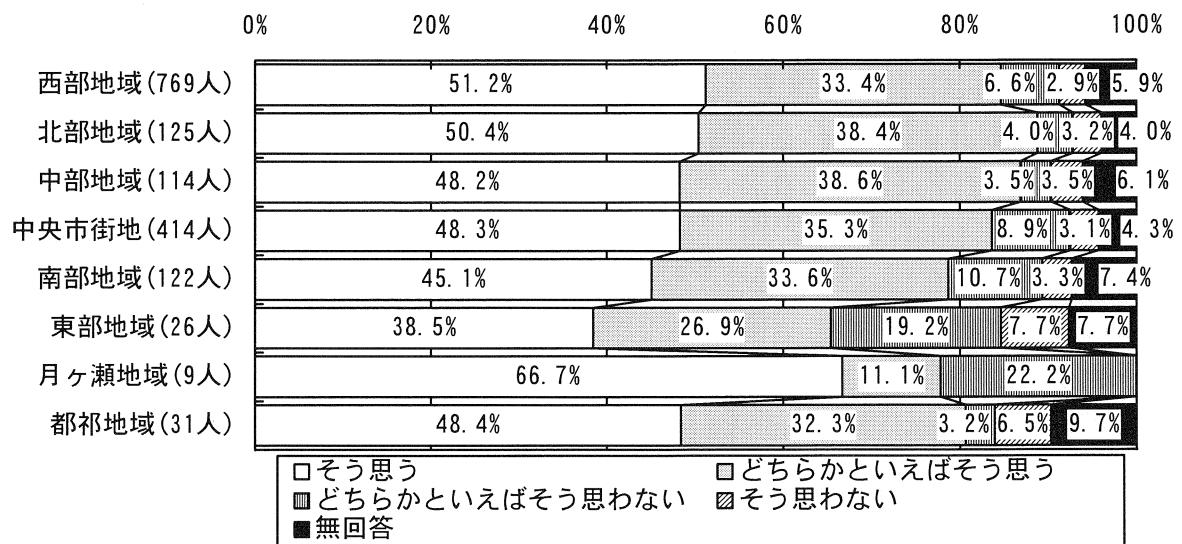
性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」は女性が 87.2%で男性(79.0%)を 8.2 ポイント上回っている。

図 性別 子育てには、地域社会の支援が必要である



地域別にみると、いずれの地域でも「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」が6割以上を占め、なかでも「北部地域」(88.8%)が最も高く、次いで「中部地域」(86.8%)となっている。「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」は「東部地域」(26.9%)が最も高く、次いで「月ヶ瀬地域」(22.2%)となっている。

図 地域別 子育てには、地域社会の支援が必要である

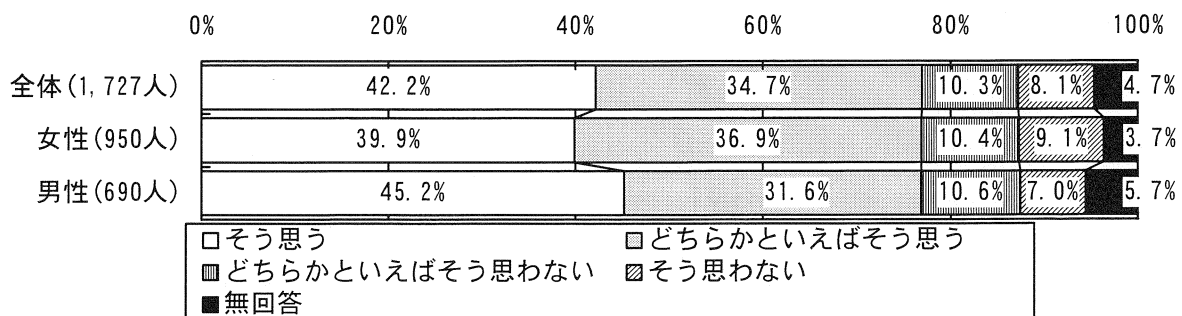


(6) 3歳までは、母親が子育てに専念すべきである

3歳までは、母親が子育てに専念すべきであるという考え方は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」が76.9%で、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた「否定派」(18.4%)を58.5ポイント上回っている。

性別でみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「肯定派」全体でみると男女同率の76.8%になっているが、「そう思う」は男性が45.2%で女性(39.9%)を5.3ポイント上回っている。

図 性別 3歳までは、母親が子育てに専念すべきである



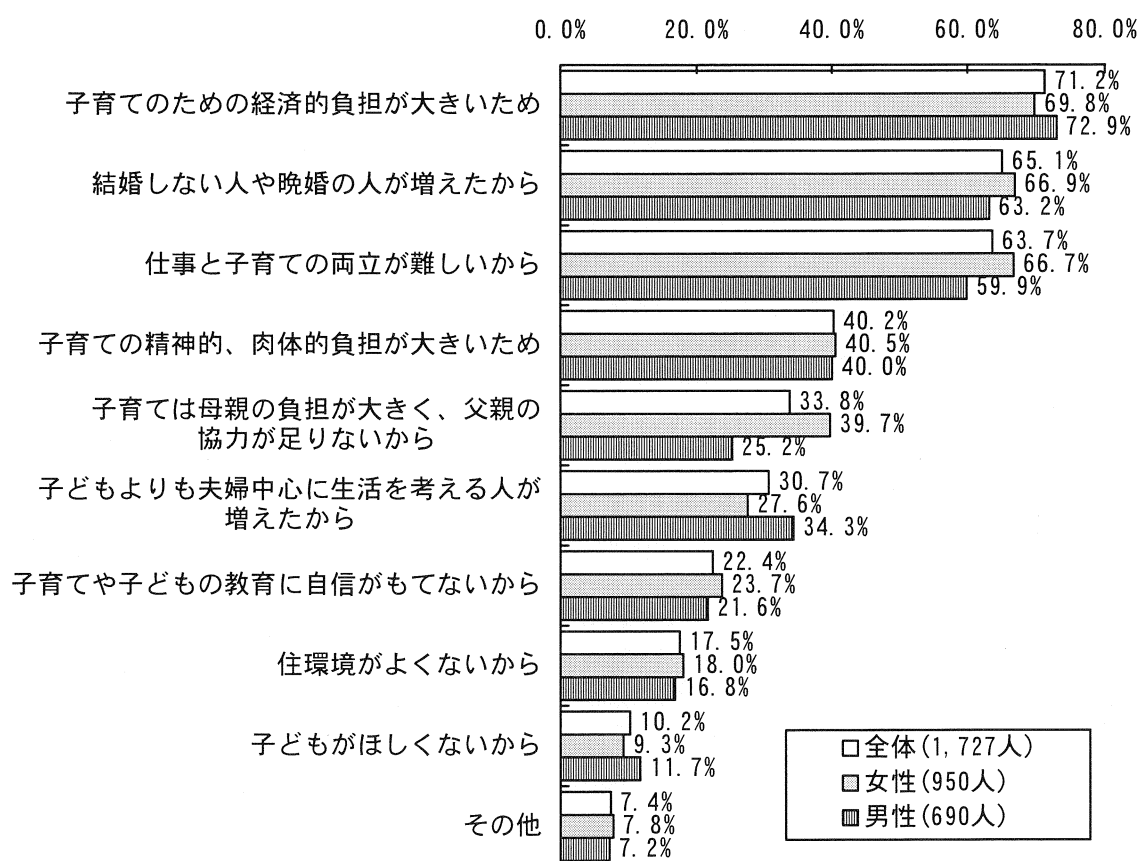
8-2-4 出生率の低下原因

問 29 最近、出生率が低下し、少子化が進んでいますが、どのようなことが原因だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

出生率の低下原因については、「子育てのための経済的負担が大きいため」が 71.2%で最も多く、次いで「結婚しない人や晩婚の人が増えたから」(65.1%)、「仕事と子育ての両立が難しいから」(63.7%)となっている。

性別で回答の多い順の第3位までみると、男女ともに順位は全体と同様の傾向にあるものの、「子育てのための経済的負担が大きいため」は男性が 72.9%で女性(69.8%)を上回っており、「結婚しない人や晩婚の人が増えたから」と「仕事と子育ての両立が難しいから」は女性が男性を上回っている。その他の項目では、「子育ては母親の負担が大きく、父親の協力が足りないから」が、女性が 39.7%で男性(25.2%)を 14.5 ポイント上回っている。また、「子どもよりも夫婦中心に生活を考える人が増えたから」では、男性が 34.3%で女性(27.6%)を 6.7 ポイント上回っている。

図 性別 出生率の低下原因（複数回答）



年齢別に回答の多い順をみると、いずれの世代も「子育てのための経済的負担が大きいため」が最も多くなっているが、上位第2、3位に世代間で違いがみられる。「20～29 歳」では「仕事と子育ての両立が難しいから」が「結婚しない人や晩婚の人が増えたから」を上回って第2位であるが、「30～39 歳」で両者が同率2位となり、40 歳以上の世代では「結婚しない人や晩婚の人が増えたから」が「仕事と子育ての両立が難しいから」を上回って第2位となっている。

表 年齢別 出生率の低下原因（複数回答）

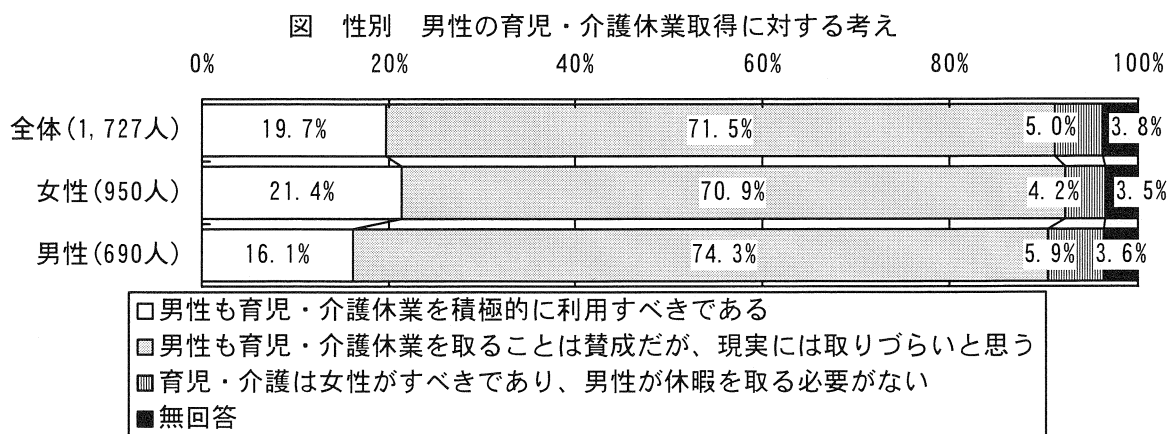
	有効回答数	回答の多い順の上位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20～29歳	162	子育てのための経済的負担が大きい ため 80.2%	仕事と子育ての両立が難しいから 75.9%	結婚しない人や晩婚の人が増えたから 66.0%	子育ては母親の負担が大きく、父親の協力が足りないから 43.2%	子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため 35.2%
30～39歳	220	子育てのための経済的負担が大きい ため 80.0%	仕事と子育ての両立が難しいから 62.7%	結婚しない人や晩婚の人が増えたから 62.7%	子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため 40.5%	子育ては母親の負担が大きく、父親の協力が足りないから 34.1%
40～49歳	245	子育てのための経済的負担が大きい ため 71.4%	結婚しない人や晩婚の人が増えたから 68.2%	仕事と子育ての両立が難しいから 65.3%	子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため 43.7%	子育ては母親の負担が大きく、父親の協力が足りないから 32.2%
50～59歳	337	子育てのための経済的負担が大きい ため 67.4%	結婚しない人や晩婚の人が増えたから 67.1%	仕事と子育ての両立が難しいから 65.0%	子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため 41.2%	子育ては母親の負担が大きく、父親の協力が足りないから 36.5%
60～64歳	225	子育てのための経済的負担が大きい ため 72.0%	結婚しない人や晩婚の人が増えたから 71.6%	仕事と子育ての両立が難しいから 61.8%	子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため 40.4%	子どもよりも夫婦中心に生活を考える人が増えたから 35.1%
65歳以上	451	子育てのための経済的負担が大きい ため 65.6%	結婚しない人や晩婚の人が増えたから 60.5%	仕事と子育ての両立が難しいから 59.4%	子育ての精神的、肉体的負担が大きい ため 39.5%	子どもよりも夫婦中心に生活を考える人が増えたから 31.0%

8-2-5 男性の育児・介護休業取得に対する考え

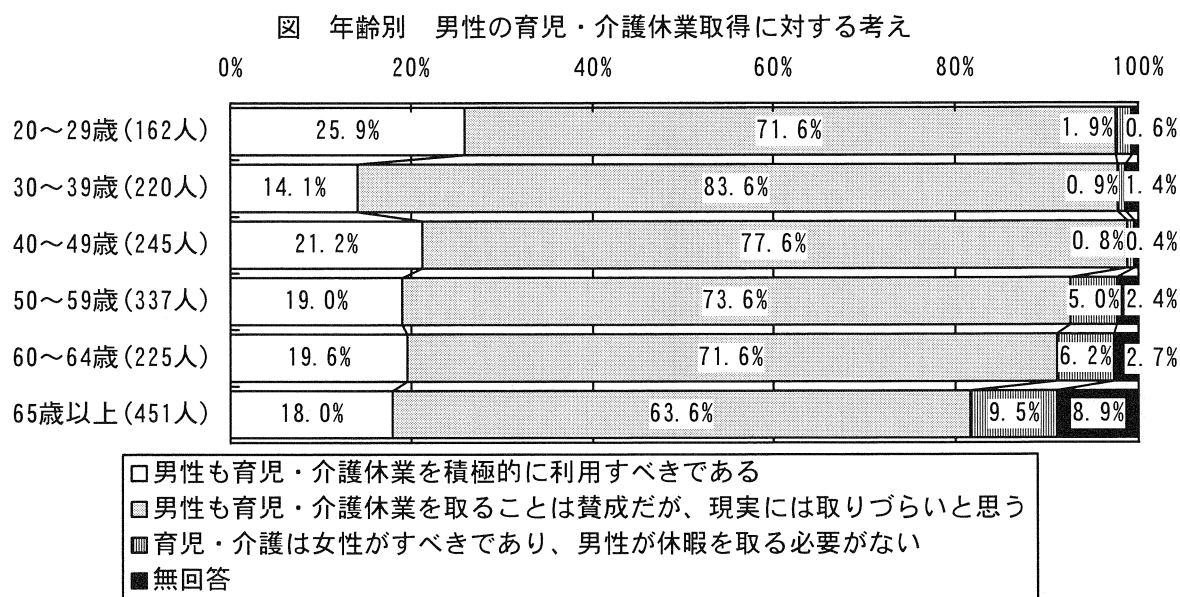
問 30 男性も育児・介護休業が取れますが、このことについてどうお考えですか。【あてはまるもの1つに○】

男性の育児・介護休業取得に対する考えは、「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」が71.5%で最も多く、次いで「男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきである」（19.7%）となっている。

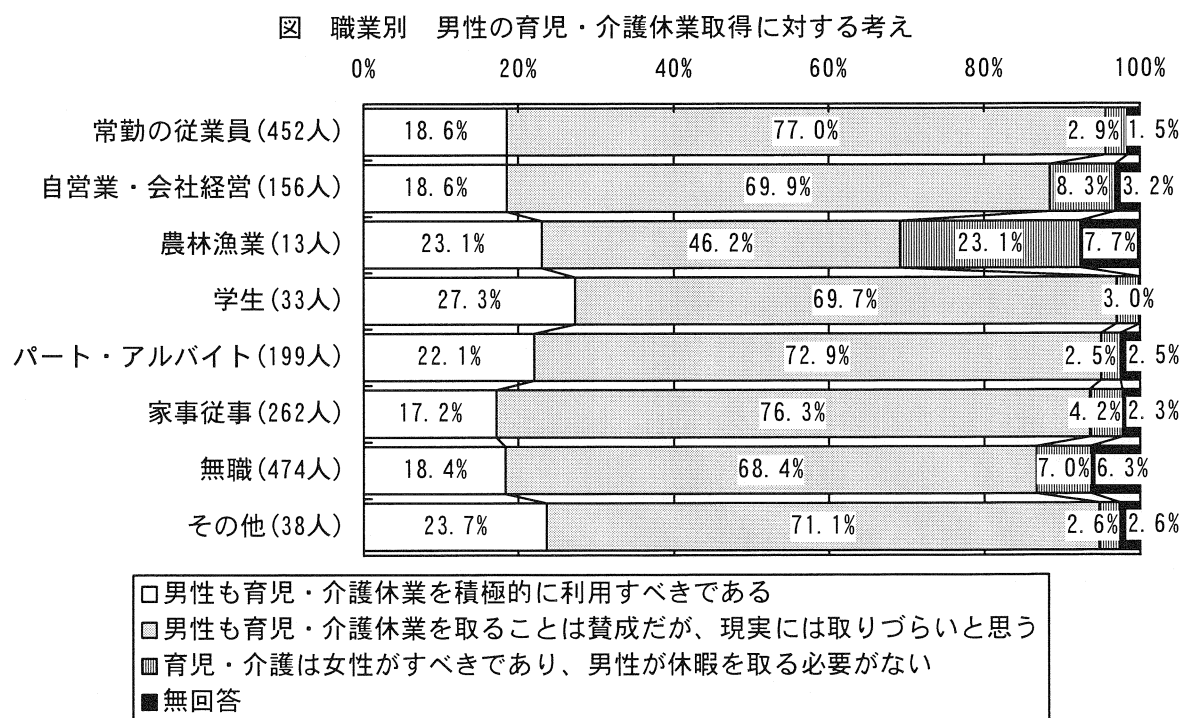
性別でみると、「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」は男性が74.3%で女性（70.9%）を3.4ポイント上回っており、「男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきである」は女性が21.4%で男性（16.1%）を5.3ポイント上回っている。



年齢別にみると、「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」は「30～39歳」が83.6%で最も高く、次いで「40～49歳」（77.6%）となっている。「男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきである」は「20～29歳」が25.9%で最も高くなっている。「育児・介護は女性がすべきであり、男性が休暇を取る必要がない」は「65歳以上」が9.5%で最も高くなっている。



職業別にみると、「男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う」は「常勤の従業員」が77.0%で最も高く、次いで「家事従事」（76.3%）となっている。「男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきである」は「学生」（27.3%）が最も多くなっている。



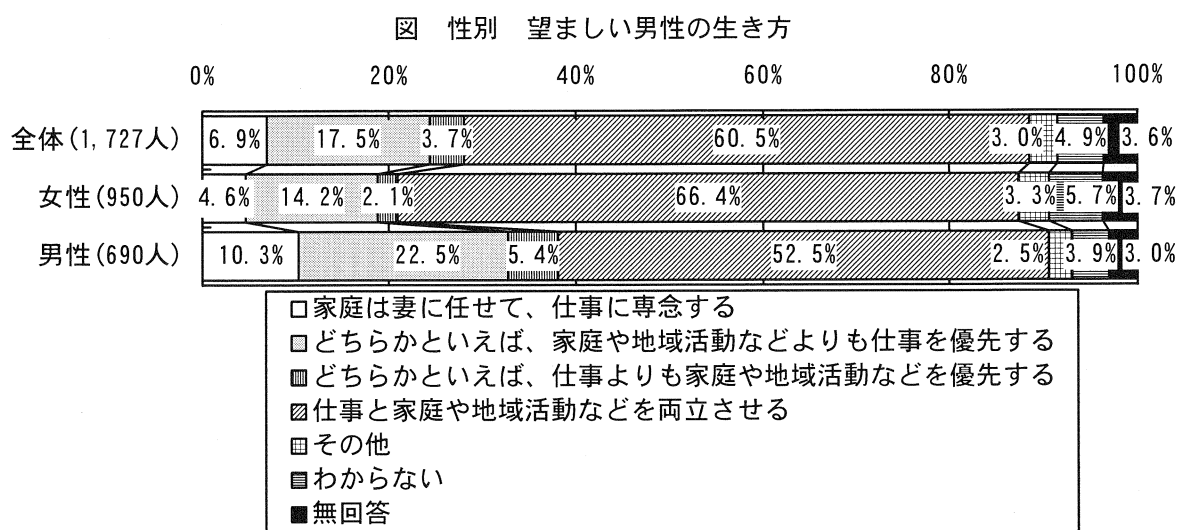
8-3 生活と仕事

8-3-1 望ましい男性の生き方

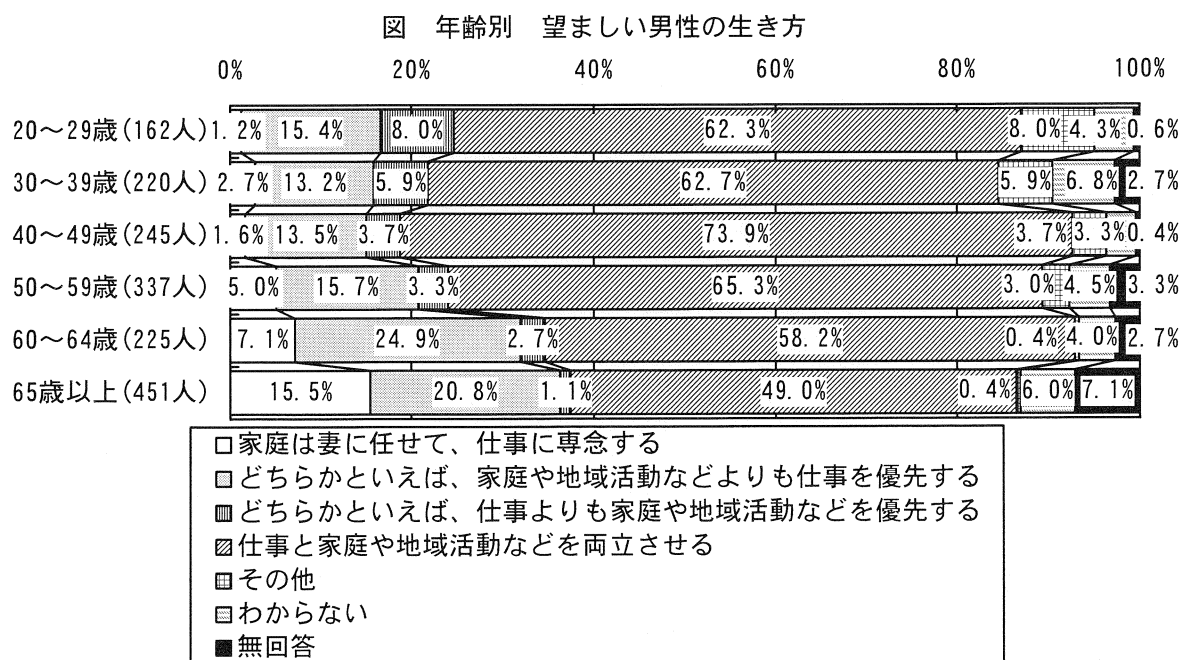
問 31 これからの男性の生き方として、次のどれが望ましいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

望ましい男性の生き方は、「仕事と家庭や地域活動などを両立させる」が60.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば、家庭や地域活動などよりも仕事を優先する」(17.5%)となっている。

性別でみると、「仕事と家庭や地域活動などを両立させる」は女性が66.4%で男性(52.5%)を13.9ポイント上回っている。また「どちらかといえば、家庭や地域活動などよりも仕事を優先する」は男性が22.5%で女性(14.2%)を8.3ポイント上回っている。



年齢別にみると、「仕事と家庭や地域活動などを両立させる」は「40～49歳」が73.9%で最も高く、次いで「50～59歳」(65.3%)、「30～39歳」(62.7%)となっている。「どちらかといえば、家庭や地域活動などよりも仕事を優先する」は「60～64歳」(24.9%)、「家庭は妻に任せて、仕事に専念する」は「65歳以上」(15.5%)がそれぞれ最も高くなっている。

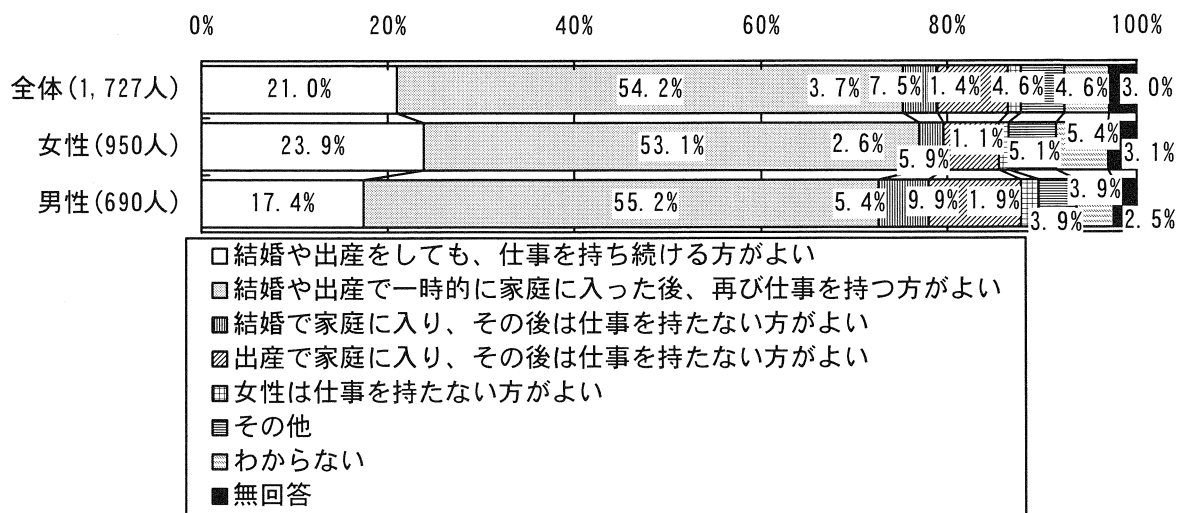


8-3-2 女性が収入を得る仕事を持つことについて

問 32 女性が収入を得る仕事を持つことについて、次のどれが望ましいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

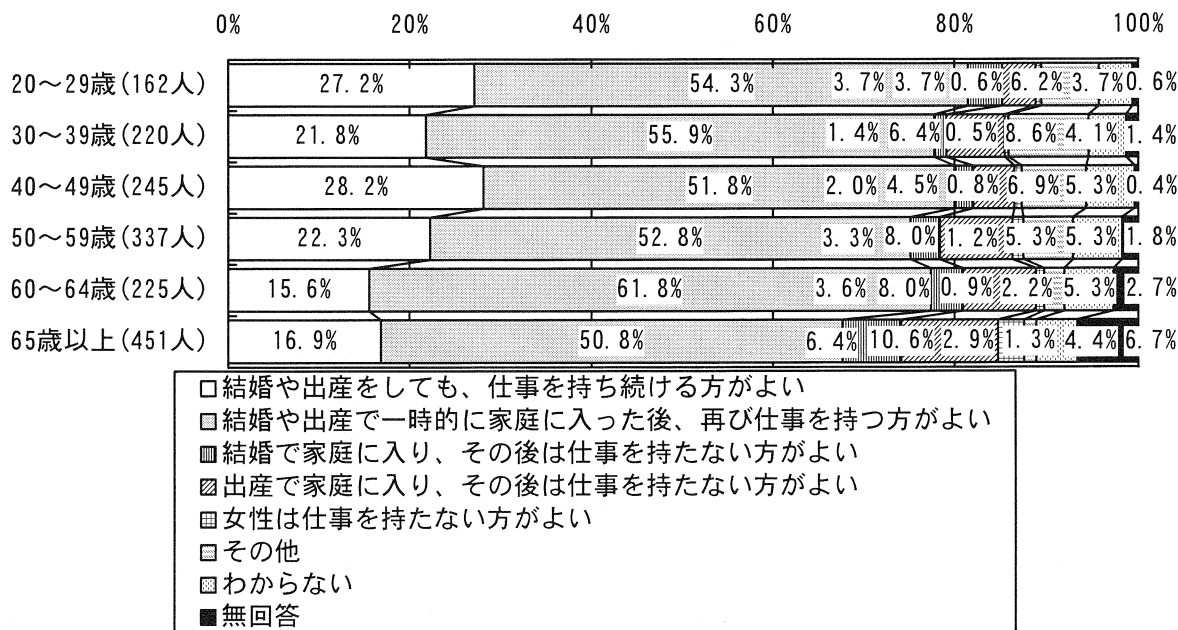
女性が収入を得る仕事を持つことについては、「結婚や出産で一時的に家庭に入った後、再び仕事を持つ方がよい」が54.2%で過半数を超えており、次いで「結婚や出産をしても、仕事を持ち続ける方がよい」(21.0%)となっている。性別でみると、「結婚や出産をしても、仕事を持ち続ける方がよい」は女性が23.9%で男性(17.4%)を6.5ポイント上回っている。

図 性別 女性が収入を得る仕事を持つことについて



年齢別にみると、「結婚や出産で一時的に家庭に入った後、再び仕事を持つ方がよい」は「60～64歳」が61.8%で最も高く、次いで「30～39歳」(55.9%)となっている。「結婚や出産をしても、仕事を持ち続ける方がよい」は「40～49歳」が28.2%で最も高く、次いで「20～29歳」(27.2%)となっている。「結婚で家庭に入り、その後は仕事を持たない方がよい」、「出産で家庭に入り、その後は仕事を持たない方がよい」、「女性は仕事を持たない方がよい」は、いずれも「65歳以上」で最も高くなっている。

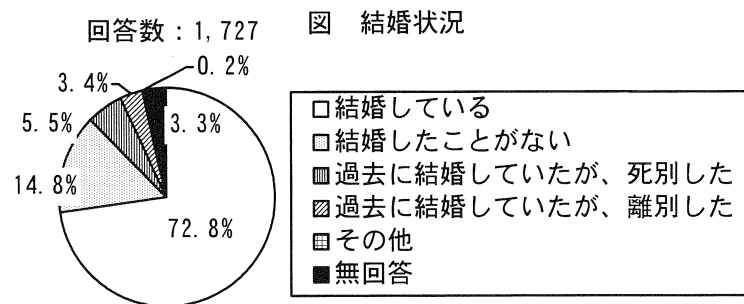
図 年齢別 女性が収入を得る仕事を持つことについて



8-3-3 結婚状況

問 33 あなたは結婚していますか。【あてはまるもの1つに○】

結婚状況は、「結婚している」が72.8%、「結婚したことがない」(14.8%)と「過去に結婚していたが、死別した」(5.5%)と「過去に結婚していたが、離別した」(3.4%)を合わせた現在結婚していない人が23.7%となっている。

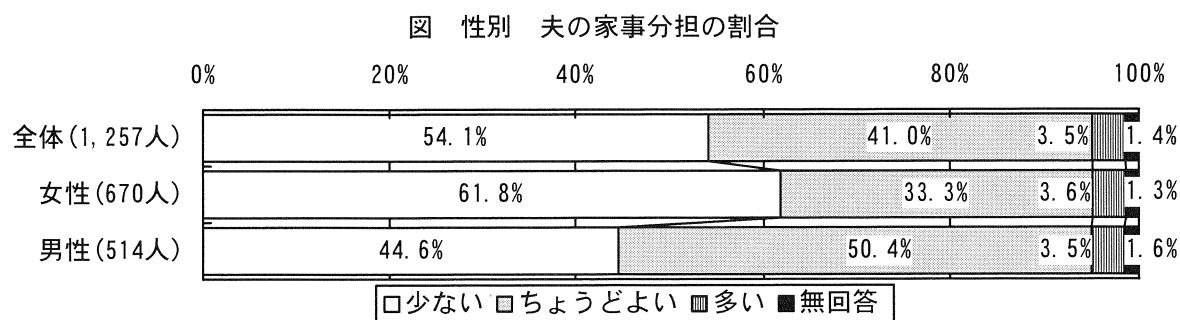


8-3-4 夫の家事分担の割合

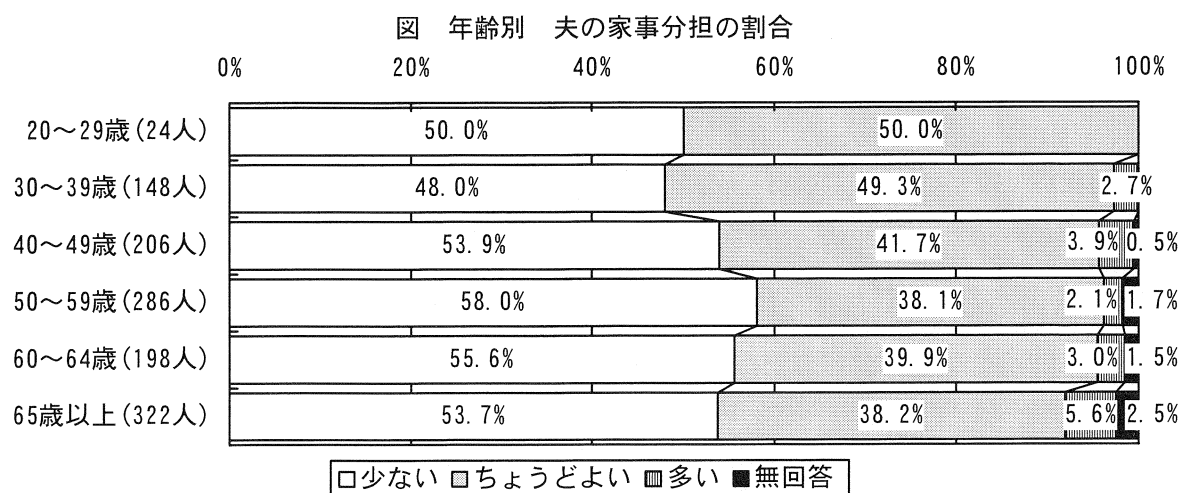
問 33-1 問 33で「1. 結婚している」と答えた方におたずねします。夫婦間における夫の家事分担の割合についてどのように思いますか。【あてはまるもの1つに○】

夫の家事分担の割合は、「少ない」が54.1%で過半数を超え、次いで「ちょうどよい」(41.0%)となっており、「多い」は3.5%にとどまっている。

性別でみると、男性は「ちょうどよい」が50.4%で最も多く、次いで「少ない」(44.6%)となっているが、女性は「少ない」が61.8%で最も多く、次いで「ちょうどよい」(33.3%)となっている。



年齢別にみると、「少ない」は「50～59歳」が58.0%で最も高く、次いで「60～64歳」(55.6%)となっている。「ちょうどよい」は「20～29歳」が50.0%で最も高く、次いで「30～39歳」(49.3%)となっている。



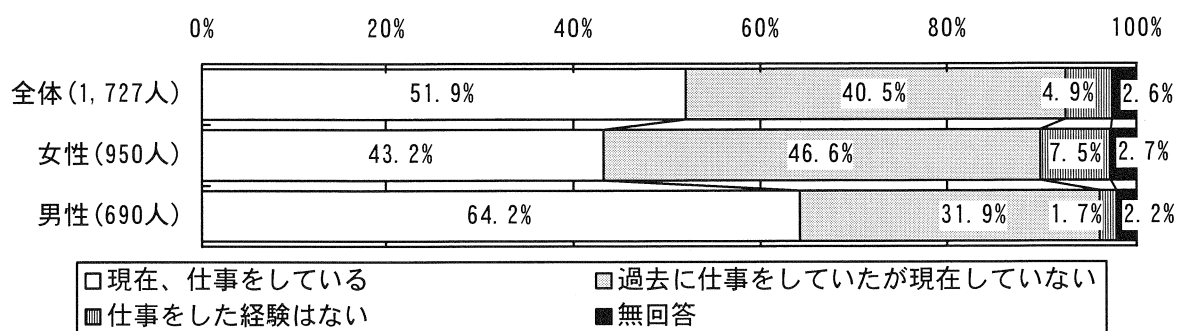
8-3-5 就業状況

問 34 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。また、経験はありますか。【あてはまるもの1つに○】

就業状況は、「現在、仕事をしている」が51.9%で過半数を超え、「過去に仕事をしていたが現在していない」(40.5%)と「仕事をした経験はない」(4.9%)を合わせた非就業者(45.4%)を6.5ポイント上回っている。

性別でみると、「現在、仕事をしている」は男性が64.2%で女性(43.2%)を21ポイント上回っている。「過去に仕事をしていたが現在していない」は女性が46.6%で男性(31.9%)を14.7ポイント上回っている。

図 性別 就業状況



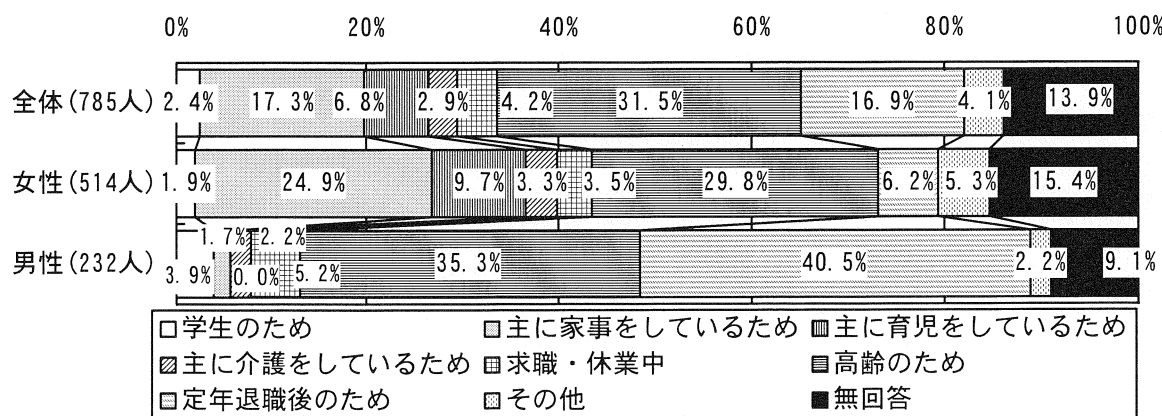
8-3-6 仕事をしていない理由

問 34-1 問 34 で「2. 過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方におたずねします。現在、仕事をしていない理由は何ですか。【あてはまるもの1つに○】

就業状況が「過去に仕事をしていたが現在していない」または「仕事をした経験はない」方の内、仕事をしていない理由は「高齢のため」が31.5%で最も多く、次いで「主に家事をしているため」(17.3%)、「定年退職後のため」(16.9%)となっている。

性別でみると、男性では「定年退職後のため」が40.5%で最も多く、次いで「高齢のため」(35.3%)となっているが、女性は「高齢のため」が29.8%で最も多く、次いで「主に家事をしているため」(24.9%)となっている。

図 性別 仕事をしていない理由



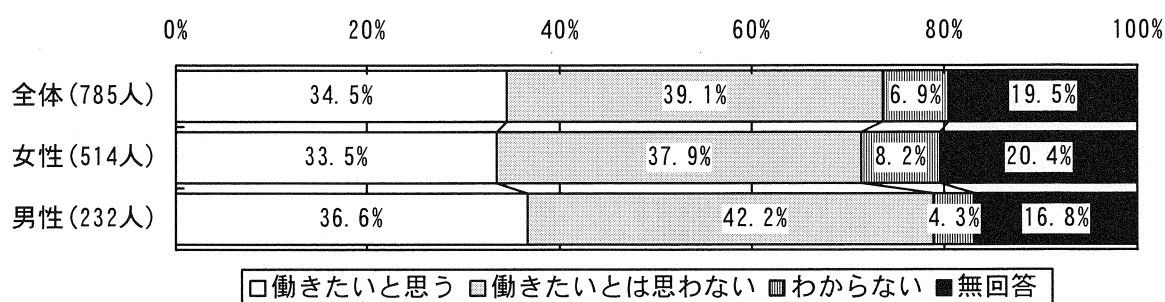
8-3-7 就業希望

問 34-2 問 34 で「2. 過去に仕事をしていて現在していない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方におたずねします。あなたは、パートタイムの仕事も含めて、適当な仕事があれば働きたいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

就業状況が「過去に仕事をしていて現在していない」または「仕事をした経験はない」方の内、就業希望は、「働きたいとは思わない」が 39.1%で最も多く、「働きたいと思う」(34.5%)を 4.6 ポイント上回っている。

性別でみると、「働きたいとは思わない」は、男性が 42.2%、女性が 37.9%となっている。

図 性別 就業希望



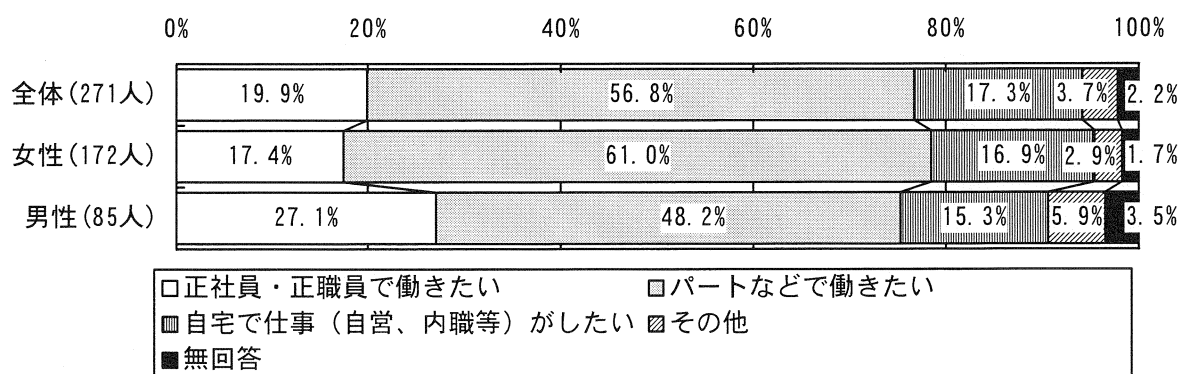
8-3-8 希望する雇用体系

問 34-2-1 問 34 で「2. 過去に仕事をしていて現在していない」または「3. 仕事をした経験はない」と答え、問 34-2 で「1. 働きたいと思う」と答えた方におたずねします。どのように働きたいですか。【あてはまるもの1つに○】

就業状況が「過去に仕事をしていて現在していない」または「仕事をした経験はない」方で「働きたいと思う」方の内、希望する雇用体系は「パートなどで働きたい」が 56.8%で過半数を超えており、次いで「正社員・正職員で働きたい」(19.9%)、「自宅で仕事(自営、内職等)がしたい」(17.3%)となっている。

性別でみると、「パートなどで働きたい」は女性が 61.0%で男性 (48.2%) を 12.8 ポイント上回っている。「正社員・正職員で働きたい」は男性が 27.1%で女性 (17.4%) を 9.7 ポイント上回っている。

図 性別 希望する雇用体系



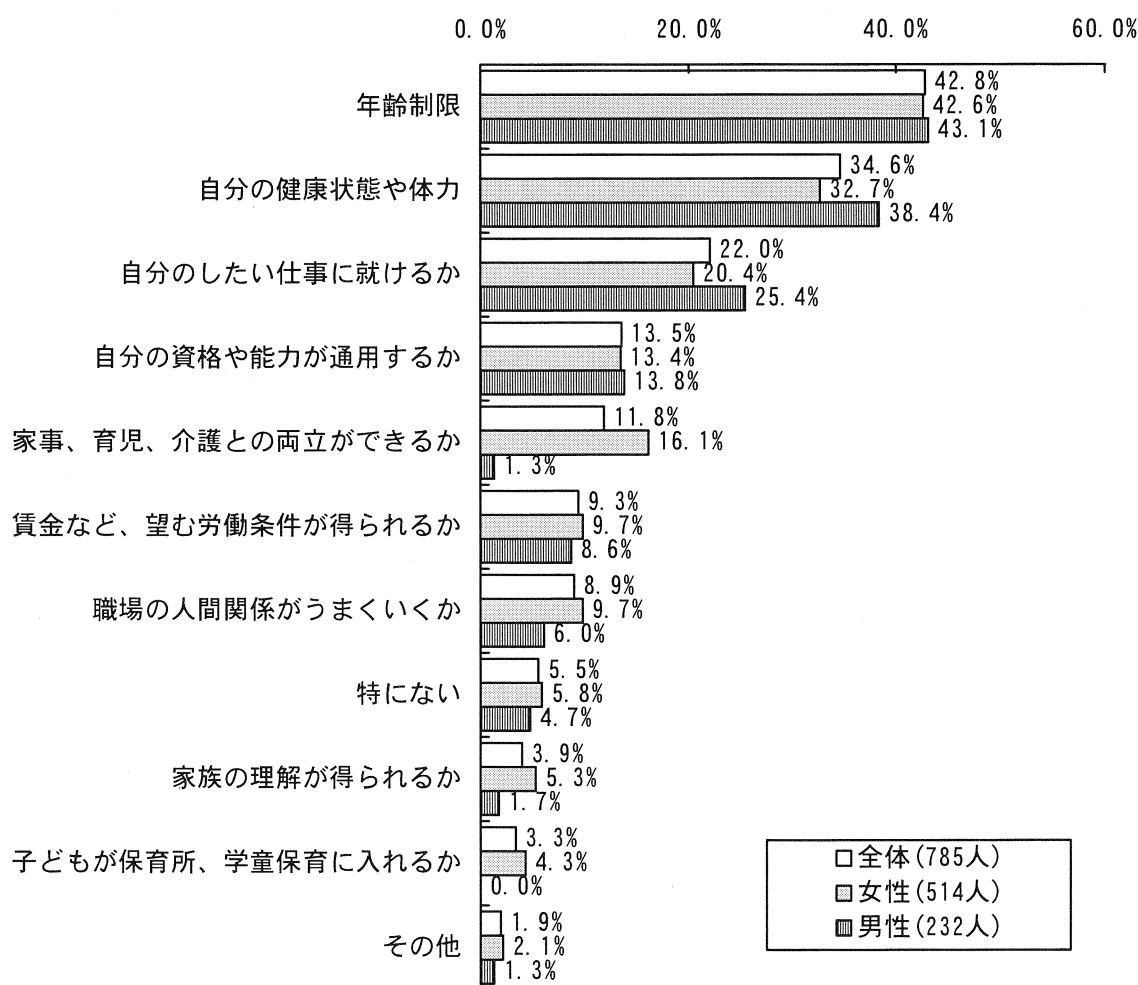
8-3-9 働く時の気がかり

問 34-3 問 34 で「2. 過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「3. 仕事をした経験はない」と答えた方におたずねします。再び、あるいは新規に働きたいと思ったとき、気がかりなことは何ですか。【あてはまるもの3つ以内で○】

就業状況が「過去に仕事をしていたが現在はしていない」または「仕事をした経験はない」方の内、働くときの気がかりは「年齢制限」が42.8%で最も多く、次いで「自分の健康状態や体力」(34.6%)、「自分のしたい仕事に就けるか」(22.0%)となっている。

性別でみると、回答の多い順の上位3位までは全体と同様であるが、第4位は男性では「自分の資格や能力が通用するか」、女性では「家事、育児、介護との両立ができるか」となっている。「家事、育児、介護との両立ができるか」は、女性は16.1%で男性(1.3%)を14.8ポイント上回っている。

図 性別 働く時の気がかり（3つ以内で複数回答）



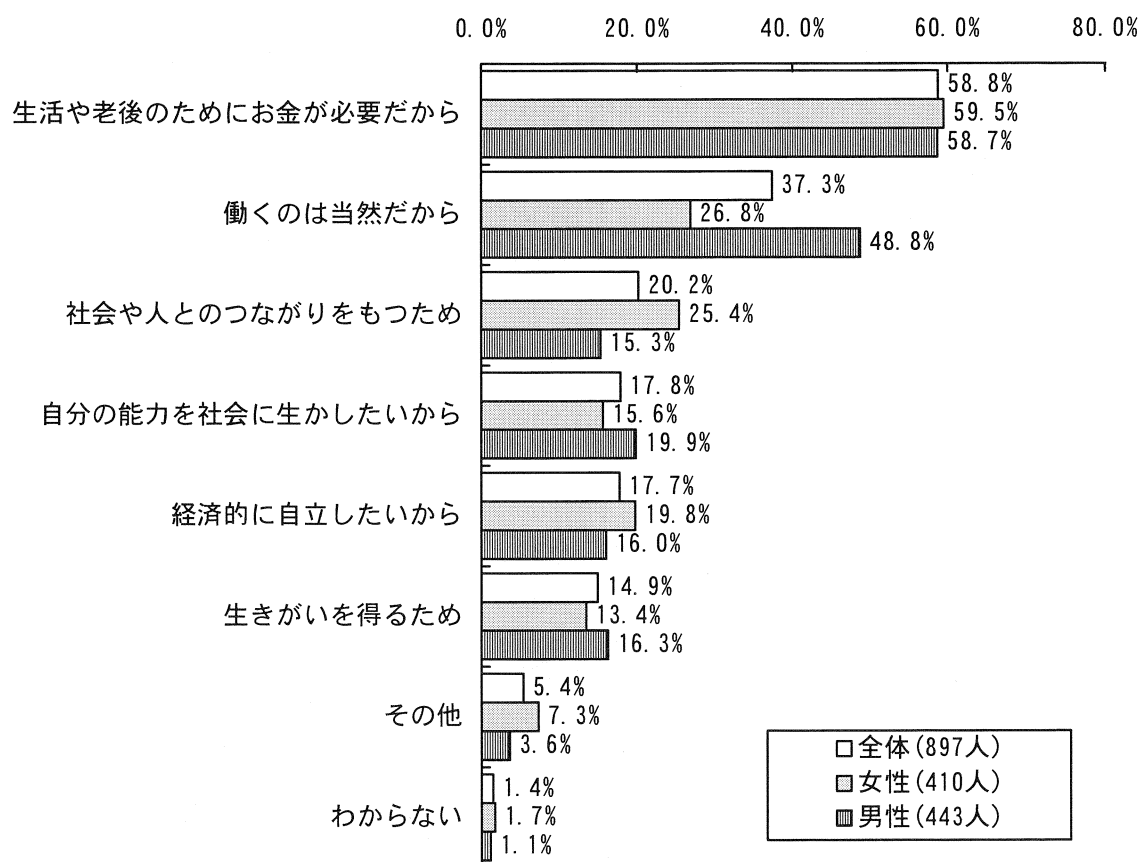
8-3-10 仕事をしている主な理由

問 35 問 34で「1. 現在、仕事をしている」と答えた方におたずねします。あなたが仕事をしている主な理由をお選びください。【あてはまるもの2つ以内で○】

就業状況が「現在、仕事をしている」方の内、仕事をしている理由は「生活や老後のためにお金が必要だから」が58.8%で最も多く、次いで「働くのは当然だから」(37.3%)、「社会や人とのつながりをもつため」(20.2%)となっている。

性別で回答の多い順をみると、男女とも「生活や老後のためにお金が必要だから」が最も多く、次いで「働くのは当然だから」となっているが、第3位が男性では「自分の能力を社会に生かしたいから」、女性では「社会や人とのつながりをもつため」となっている。また、「働くのは当然だから」は、男性が48.8%で女性(26.8%)を22.0ポイント上回っている。

図 性別 仕事をしている主な理由（2つ以内で複数回答）



8-4 人権と暴力

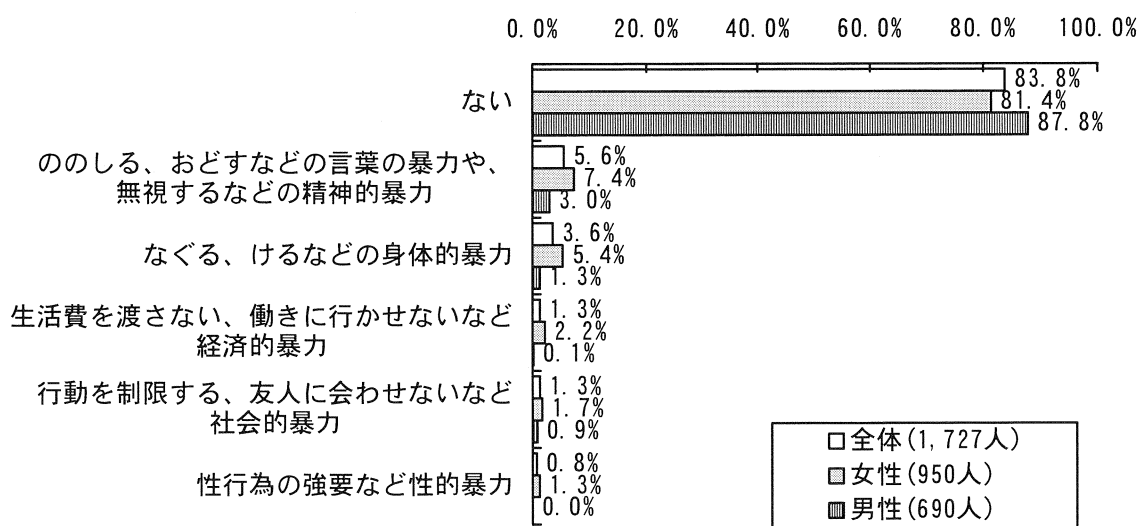
8-4-1 ドメスティック・バイオレンスを受けた経験

問 36 次にあげるドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人など身近な人からの暴力）を受けたことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

ドメスティック・バイオレンスを受けた経験は、「ない」を除けば「ののしる、おどすなどの言葉の暴力や、無視するなどの精神的暴力」が 5.6%で最も多く、次いで「なぐる、けるなどの身体的暴力」（3.6%）となっている。なお、「ない」は 83.8%となっている。

性別でみると、「ののしる、脅すなどの言葉の暴力や、無視するなどの精神的暴力」が男性 3.0%に対し女性 7.4%、「なぐる、けるなどの身体的暴力」で男性 1.3%に対し女性 5.4%というように、女性のドメスティック・バイオレンスを受けた経験が全体的に男性より高くなっている。特に、「性行為の強要など性的暴力」は、女性（1.3%）にのみ回答が見られる。「ない」は、男性が 87.8%で女性（81.4%）を 6.4 ポイント上回っている。

図 性別 ドメスティック・バイオレンスを受けた経験（複数回答）



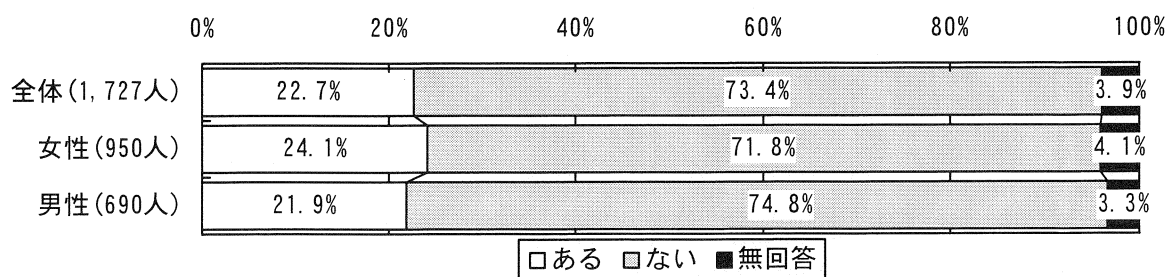
8-4-2 ドメスティック・バイオレンスの見聞き

問 37 あなたの身近なところで、問 36 のような暴力を見たり、聞いたりしたことはありますか。【あてはまるもの 1 つに○】

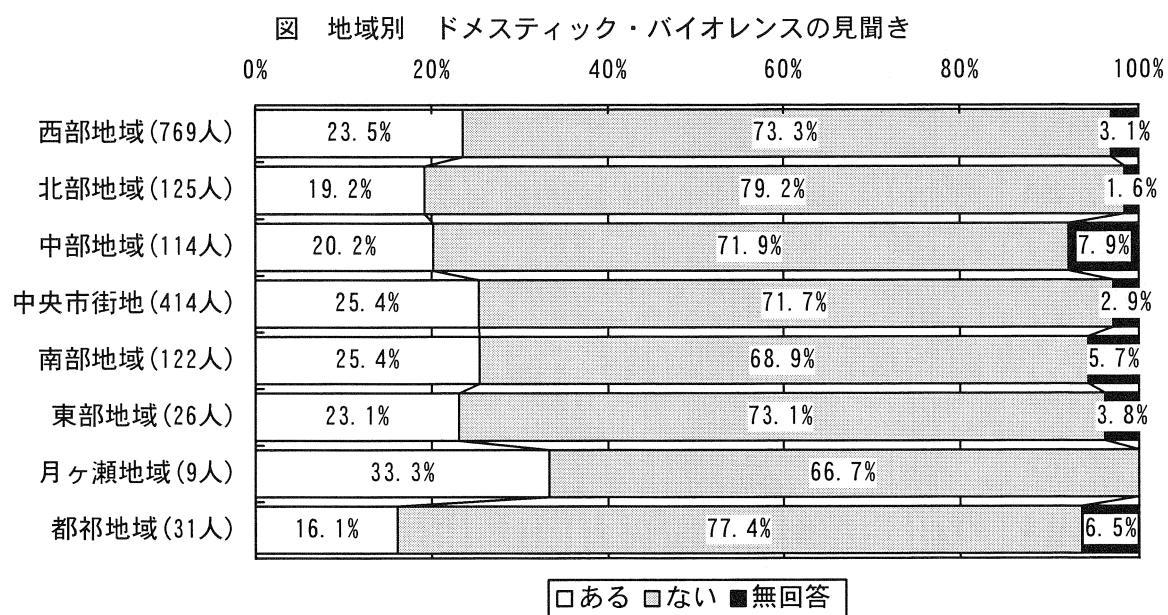
ドメスティック・バイオレンスの見聞きは、「ない」が 73.4%で「ある」（22.7%）を 50.7 ポイント上回っている。

性別でみると、「ない」は男性が 74.8%で女性（71.8%）を 3 ポイント上回っている。

図 性別 ドメスティック・バイオレンスの見聞き



地域別にみると、「ある」は「月ヶ瀬地域」が33.3%で最も高く、次いで「中央市街地」と「南部地域」の25.4%となっている。



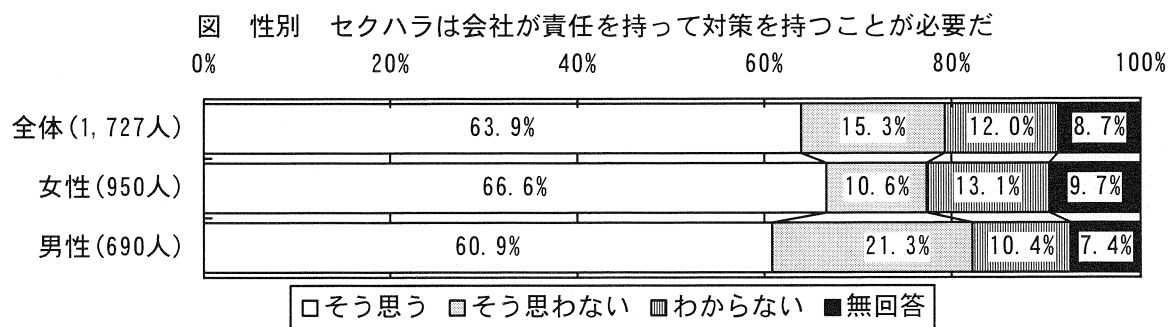
8-4-3 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）についての考え方

問 38 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）についてあなたはどのようにお考えですか。

（１）セクハラは会社が責任を持って対策を持つことが必要だ

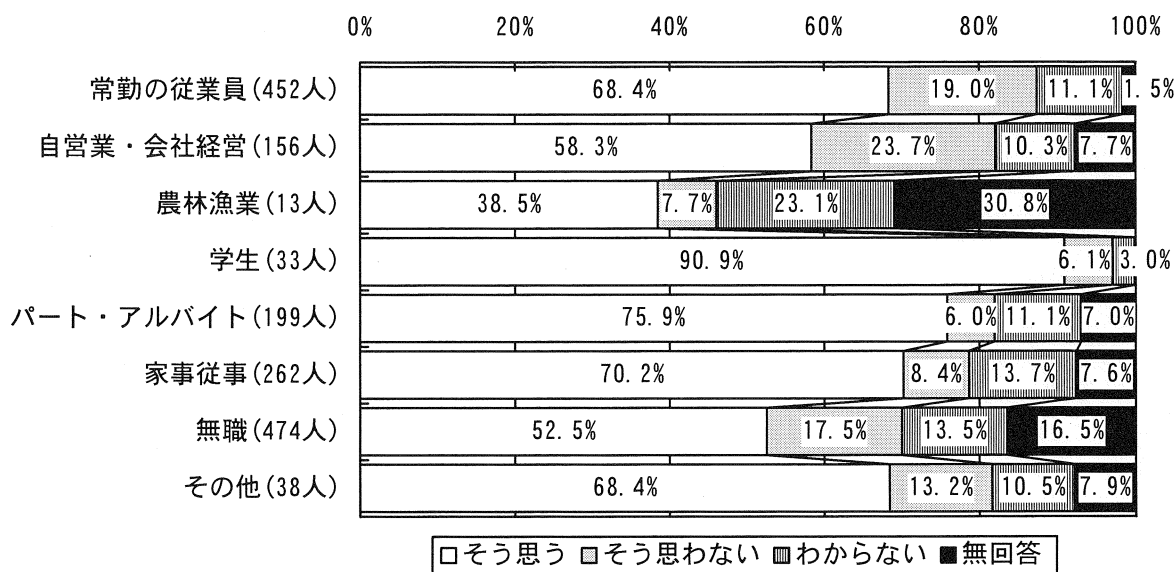
セクハラは会社が責任を持って対策を持つことが必要だという考え方は、「そう思う」が63.9%で「そう思わない」（15.3%）を48.6ポイント上回っている。

性別でみると、「そう思う」は女性が66.6%で男性（60.9%）を5.7ポイント上回っている。



職業別にみると、「そう思う」は「学生」が90.9%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(75.9%)、「家事従事」(70.2%)となっている。「そう思わない」は「自営業・会社経営」が23.7%で最も高く、次いで「常勤の従業員」(19.0%)となっている。

図 職業別 セクハラは会社が責任を持って対策を持つことが必要だ

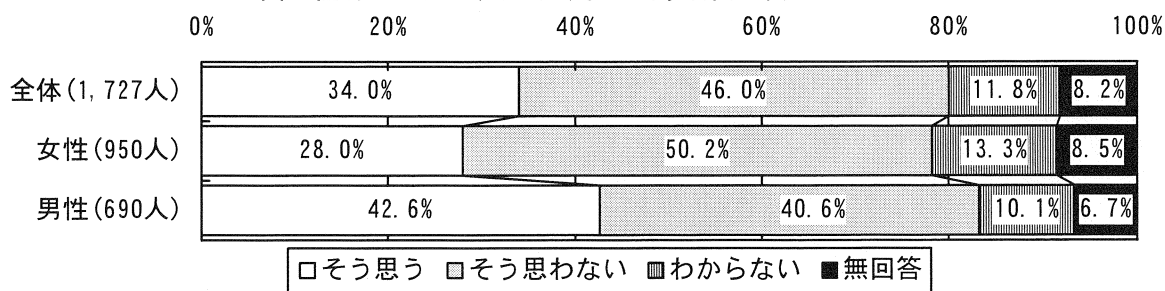


(2) セクハラはあくまでも当事者間の問題だと思う

セクハラはあくまでも当事者間の問題だと思うという考え方は、「そう思わない」が46.0%で「そう思う」(34.0%)を12.0ポイント上回っている。

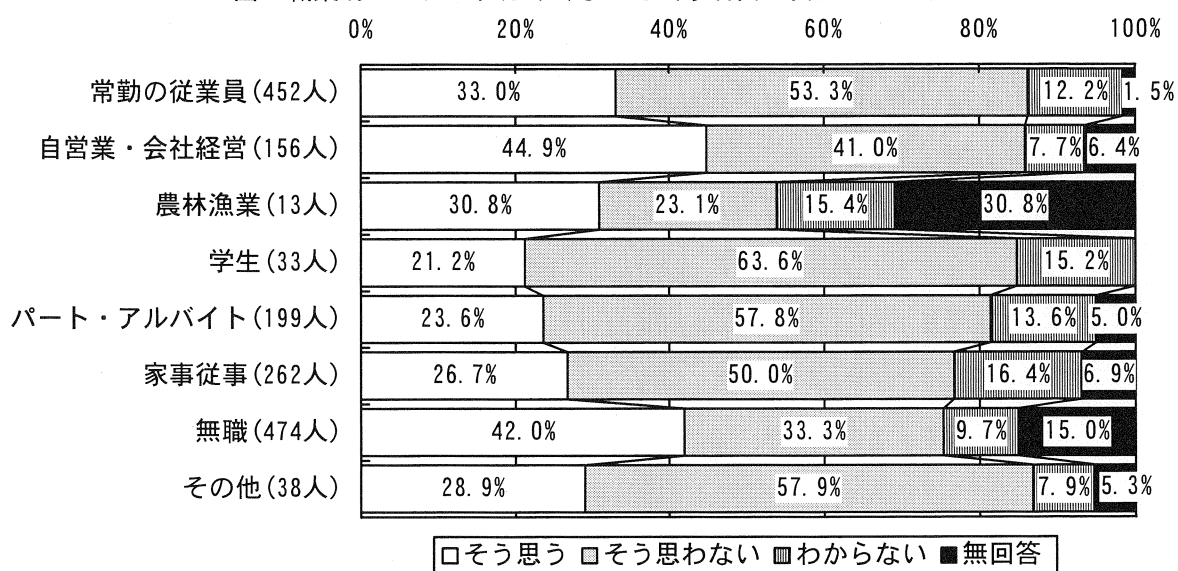
性別でみると、男性は「そう思う」が42.6%、「そう思わない」が40.6%と意見が拮抗しているのに対し、女性は「そう思わない」が50.2%で過半数を超え「そう思う」は28.0%にとどまる。

図 性別 セクハラはあくまでも当事者間の問題だと思う



職業別にみると、「そう思う」は「自営業・会社経営」が44.9%で最も高く、次いで「無職」(42.0%)となっている。「そう思わない」は学生が63.6%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」(57.8%)となっている。

図 職業別 セクハラはあくまでも当事者間の問題だと思う

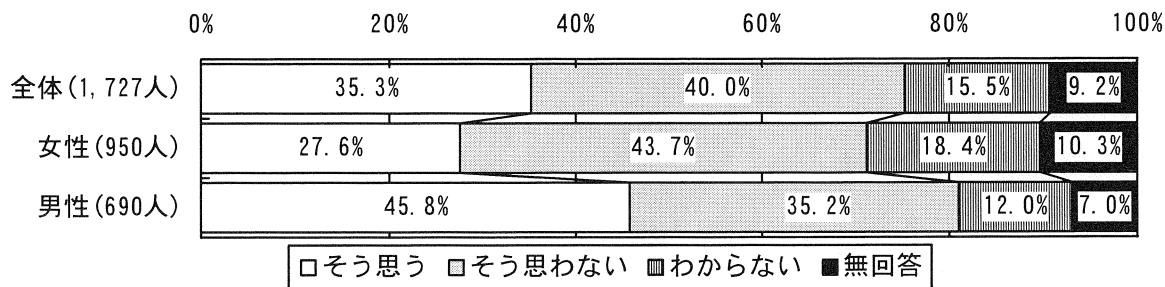


(3) セクハラはマスコミなどの騒ぎすぎだと思う

セクハラはマスコミなどの騒ぎすぎだと思うという考え方は、「そう思わない」が40.0%で「そう思う」(35.3%)を4.7ポイント上回っている。

性別でみると、男性は「そう思う」が45.8%で「そう思わない」(35.2%)を上回っているが、女性は「そう思わない」が43.7%で「そう思う」(27.6%)を上回っている。

図 性別 セクハラはマスコミなどの騒ぎすぎだと思う

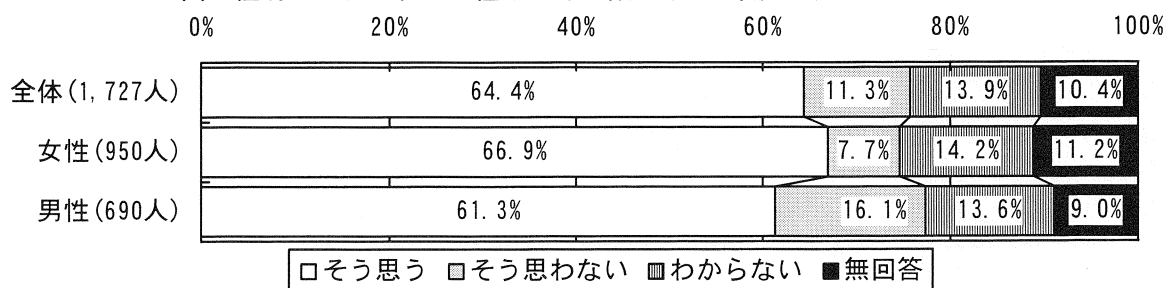


(4) セクハラは女性を対等に扱わない意識を変える必要がある

セクハラは女性を対等に扱わない意識を変える必要があるという考え方は、「そう思う」が64.4%で「そう思わない」(11.3%)を53.1ポイント上回っている。また、「わからない」が13.9%で「そう思わない」を上回っている。

性別でみると、「そう思う」は女性が66.9%で男性(61.3%)を5.6ポイント上回っている。

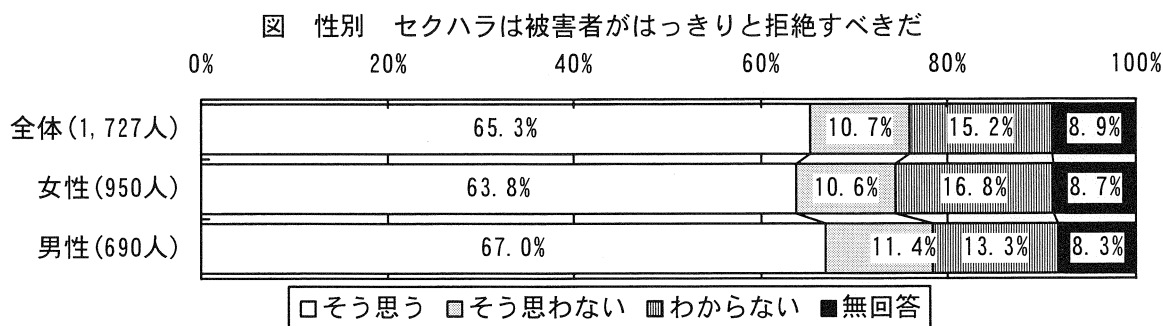
図 性別 セクハラは女性を対等に扱わない意識を変える必要がある



（５）セクハラは被害者がはっきりと拒絶すべきだ

セクハラは被害者がはっきりと拒絶すべきだという考え方は、「そう思う」が 65.3%で「そう思わない」(10.7%)を 54.6 ポイント上回っている。また、「わからない」が 15.2%で「そう思わない」を上回っている。

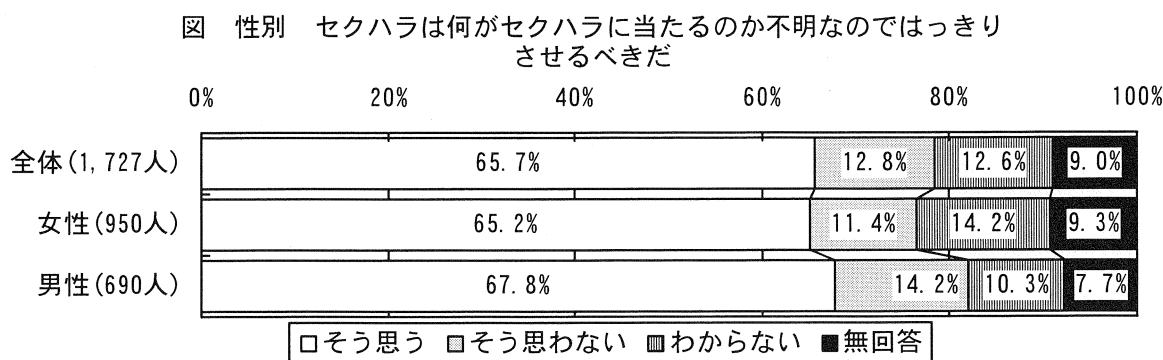
性別でみると、「そう思う」は男性が 67.0%で女性(63.8%)を 3.2 ポイント上回っている。「わからない」は女性が 16.8%で男性(13.3%)を 3.5 ポイント上回っている。



（６）セクハラは何がセクハラに当たるのか不明なのではっきりさせるべきだ

セクハラは何がセクハラに当たるのか不明なのではっきりさせるべきだという考え方は、「そう思う」が 65.7%で「そう思わない」(12.8%)を 52.9 ポイント上回っている。

性別でみると、「そう思う」は男性が 67.8%で女性(65.2%)を 2.6 ポイント上回っている。



８－５ 行政への期待

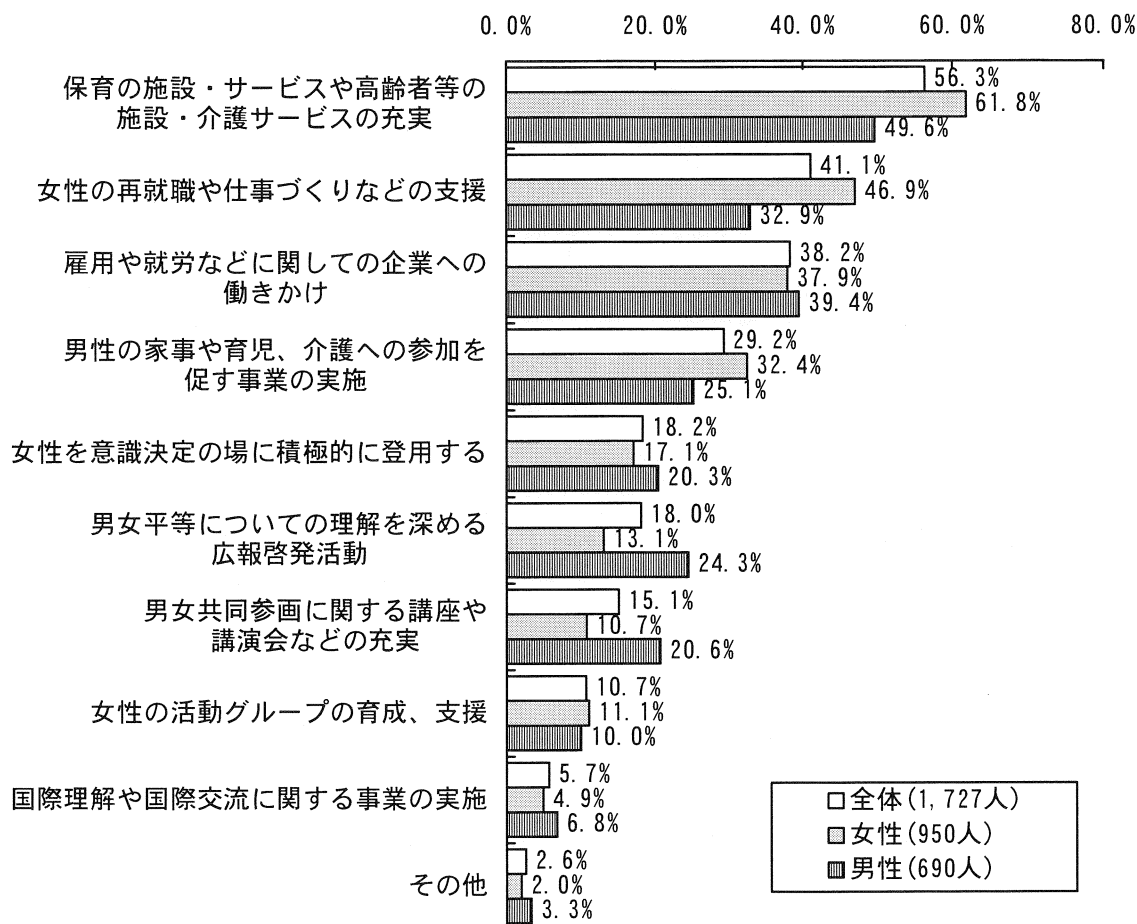
８－５－１ 男女共同参画社会の実現のため市が力をいれること

問 39 あなたは男女共同参画社会の実現のために、市がどのようなことに力を入れたらよいと思われますか。【あてはまるもの3つ以内で○】

男女共同参画社会の実現のため市が力をいれることは、「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスの充実」が 56.3%で最も多く、次いで「女性の再就職や仕事づくりなどの支援」(41.1%)、「雇用や就労などに関しての企業への働きかけ」(38.2%)となっている。

性別でみると、男女ともに「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスの充実」が最も多く、特に女性が 61.8%で男性(49.6%)を 12.2 ポイント上回っている。次いで、男性では「雇用や就労などに関しての企業への働きかけ」(39.4%)となっているが、女性では「女性の再就職や仕事づくりなどの支援」(46.9%)となっている。

図 性別 男女共同参画社会の実現のため市が力をいれること
(3つ以内で複数回答)



年齢別にみると、「保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスの充実」は「30～39歳」が61.8%で最も高く、次いで「40～49歳」(61.6%)となっている。「女性の再就職や仕事づくりなどの支援」は「40～49歳」が57.1%で最も高く、次いで「20～29歳」(52.5%)となっている。

表 年齢別 男女共同参画社会の実現のため市が力をいれること (3つ以内で複数回答)

	有効回答数	女性を深めるに広つ報い啓発の活理	男性の活動グループの	育性の活動グループの	講座や共同講演会などの充実	男性の家事や育児、事業介	男性への参加を促す事業介	雇用や企業就労などに関し	女性に意識決定の場に	女性の再就職や仕事づく	女性の高齢者の施設・サービス	国際理解や国際交流に	その他
全体	1,727	18.0%	10.7%	15.1%	29.2%	38.2%	18.2%	41.1%	56.3%	5.7%	2.6%		
20～29歳	162	9.9%	8.6%	8.6%	42.0%	44.4%	17.9%	52.5%	57.4%	7.4%	1.9%		
30～39歳	220	9.1%	5.0%	5.9%	40.0%	43.6%	15.9%	51.8%	61.8%	4.5%	3.6%		
40～49歳	245	14.7%	13.5%	9.4%	26.1%	46.9%	18.0%	57.1%	61.6%	4.1%	1.2%		
50～59歳	337	18.7%	10.7%	17.8%	27.0%	45.4%	16.3%	42.4%	54.3%	7.7%	4.2%		
60～64歳	225	20.4%	12.4%	16.9%	32.4%	39.1%	22.2%	34.7%	59.6%	2.7%	3.1%		
65歳以上	451	24.6%	11.5%	21.3%	21.5%	23.9%	19.7%	25.1%	51.2%	6.7%	1.6%		

9. 市政への意見・要望

9-1 奈良市政について（自由回答）

問 40 奈良市政について、日頃お気づきの点や感じになっている点をお聞かせください。
（自由回答）

奈良市政について 675 人（39.1%）の方からご意見やご要望の回答があり、分類すると、「市政」（355 人）、「環境・まちづくり」（315 人）、「保健・医療・福祉」（154 人）、「市役所」（119 人）、「人権・教育・文化」（91 人）、「観光・商業・労働」（82 人）、「災害・安全」（34 人）、「その他」（27 人）となっている。

表 奈良市政について（自由回答）

大分類	中分類	回答数	構成比
市政	財政	131	19.4%
	選挙	57	8.4%
	議員	43	6.4%
	広報・情報公開	37	5.5%
	自治会活動	6	0.9%
	その他	81	12.0%
	計	355	52.6%
環境・まちづくり	道路・交通	137	20.3%
	ごみ、清掃・美化	45	6.7%
	自然・緑化	33	4.9%
	景観	23	3.4%
	まちづくりのイメージ	18	2.7%
	公園	16	2.4%
	土地	9	1.3%
	下水道	5	0.7%
	その他	29	4.3%
	計	315	46.7%
保健・医療・福祉	高齢者福祉	47	7.0%
	児童福祉	45	6.7%
	福祉全般	21	3.1%
	医療費・健康保険料	17	2.5%
	医療機関	11	1.6%
	障がい者福祉	6	0.9%
	保健	4	0.6%
	生活福祉	3	0.4%
	計	154	22.8%
市役所	職員	76	11.3%
	窓口業務	37	5.5%
	その他	6	0.9%
	計	119	17.6%
人権・教育・文化	生涯教育施設	44	6.5%
	学校教育	33	4.9%
	その他	14	2.1%
	計	91	13.5%
観光・商業・労働	観光	48	7.1%
	商業	20	3.0%
	労働	14	2.1%
	計	82	12.1%
災害・安全	防災	18	2.7%
	治安の維持・向上	16	2.4%
	計	34	5.0%
その他	アンケート	16	2.4%
	その他	11	1.6%
	計	27	4.0%
全体		675	100.0%

* 回答者の中には、複数の内容を記述している人もいる。
このため、各分類の総計と全体（回答者数）は一致しない。

IV 調査票

奈良市民意識調査

～ まちづくりにあなたの声を ～

市民の皆様には、日頃から市政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このアンケートは、さらに住みよいまちづくりを進めるため、市民の皆様の率直なご意見をお伺いし、今後の奈良市政のあり方を考える資料として使わせていただくことを目的に実施いたします。

奈良市にお住まいの20歳以上の方から3,000人を無作為に選ばせていただき、「防災・消防・救急」「介護保険」「文化振興」「男女共同参画」などについて、ご意見をお聞きいたします。

ご回答いただきました内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ありませんので、個人的にご迷惑をおかけすることはございません。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成17年7月

奈良市

【記入についてのお願い】

1. このアンケートは、宛名のご本人がお答えください。なお、ご本人がお答えいただけない場合は、ご家族が代わってお答えください。20歳以上であればどなたでもかまいませんが、お答えは記入される方の立場でお考えください。
2. 記入は回答欄の番号に○印を、また、その他の（ ）内には具体的にお書きください。
3. この調査票は平成17年8月13日（土）までに、ご記入の上同封の返信用封筒に入れて、無記名で切手を貼らずにご投函ください。

奈良市企画政策課

〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号

TEL (34) 1111 (代) 内線2212

防災・消防・救急について

市民の生命、身体、財産を災害から守る「安全・安心」は、行政の最重要課題です。奈良市の防災、消防、救急体制の充実を図るためにお聞きします。

問１ 防災対策として全てが重要ですが、市が特に力を入れるべきだと思われる取り組みはどの項目ですか。【あてはまるもの２つに○】

- １．学校や公民館などの避難所施設の耐震化の推進
- ２．防災マップを作成し、避難所、避難地などの周知
- ３．災害時に避難勧告・指示を市民の皆様に伝える同報無線などの整備
- ４．家庭や地域の防災対策の情報の提供
- ５．自主防災組織に対する防災資機材の提供や運営補助
- ６．災害時に備えての食糧・飲料水などの備蓄の充実
- ７．その他（ ）

問２ 防災対策としてご家庭や地域で行っておられる取り組みは、次のうちの項目ですか。【あてはまるものすべてに○】

- １．緊急の際すぐに持ち出せるように非常持ち出し品や水、食糧（２～３日程度）を用意している
- ２．集合場所や緊急連絡先、避難場所を家族で話し合い、確認している
- ３．タンスや本棚などの大きな家具の転倒防止対策をしている
- ４．住宅の耐震診断や耐震補強をしている
- ５．家庭や地域で危険箇所や避難経路などの話し合いを行っている
- ６．地域で防災訓練や講演会などに参加している
- ７．地域内で安否確認、避難、救助、初期消火などの体制ができている
- ８．その他（具体的に ）
- ９．特に何もしていない

問３ 今年のしみんだより６月号防災特集（保存版）についてお聞きします。【あてはまるもの１つに○】

- １．わが家の防災メモを活用するなど保存している
- ２．読んだが、保存していない
- ３．知らない

＞ 問３－１ 問３で「１」または「２」と答え
た方はご意見、ご感想をお聞かせく
ださい。

全ての方におたずねします。

問4 あなたは、いままでに119番通報をされたことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

1. ある

2. ない

➤ 問4-1 問4で「1」と答えた方にお聞きします。どんなときに119番通報されましたか。
【あてはまるものすべてに○】

1. 救急 2. 火災 3. 救助 4. 水害 5. 病院の問い合わせ
6. その他（具体的に ）

全ての方におたずねします。

問5 救急車を利用されたことがありますか？【あてはまるもの1つに○】

1. ある

2. ない

➤ 問5-1 問5で「1」と答えた方にお聞きします。救急車を利用されたときの救急隊員の印象はどうでしたか。【あてはまるもの1つに○】

1. 処置・態度ともに非常によく、信頼できた
2. 処置は適切であったが、服装や言葉使いなどの態度があまり良くなかった
3. 処置・態度ともに良くも悪くもなかった
4. 親切だったが処置に不安を感じた
5. 処置・態度ともに悪く不信を感じた
6. その他（具体的に ）

全ての方におたずねします。

問6 交通事故や急病などで、救急車が来るまでに応急手当をした経験がありますか。【あてはまるもの1つに○】

1. ある

2. 方法は知っているができなかった

3. ない

➤ 問6-1 問6で「1」または「2」と答えた方にお聞きします。応急手当の方法は、どこで習いましたか。【あてはまるものすべてに○と回数を記入】

1. 消防署が行う講習会 (回)
2. 奈良市防災センターが行う定期講習会 (回)
3. 運転免許証を取得時の講習
4. 学校や職場での講習 (回)
5. その他 () (回)

全ての方におたずねします。

問7 あなたのお宅では消火器をどこに設置していますか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 1. 台所 | 2. 寝室 |
| 3. 玄関 | 4. 居間 |
| 5. 屋外 | 6. その他（ ） |
| 7. 設置していない | |

問8 消火器の使用操作方法を知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

- | |
|---------------------|
| 1. 使用したことがあるので知っている |
| 2. 使用したことはないが知っている |
| 3. 知らない |

問9 あなたのお宅には、災害時に高齢者（65歳以上）等の援護を要するご家族が同居されていますか。【あてはまるもの1つに○】

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

➤ 問9-1 問9で「1」と答えた方にお聞きします。その方の寝室は次のうちのどこにありますか。【あてはまるものすべてに○】

- | |
|---|
| 1. 玄関付近 |
| 2. どちらかというと、建物の奥の方 |
| 3. 1階以外の階〔例：地階（地下）や2階より上の階など（共同住宅やマンションなどは除く。）〕 |
| 4. その他（ ） |

全ての方におたずねします。

問10 奈良市には、消防機関として常勤の職員による消防署のほか、住民有志による消防団がありますが、知っていますか。【あてはまるもの1つに○】

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

1 つに0】

- ### 3. 入っていたことはあるが入らない

ない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

11. その他 ()

全ての方におたずねします。

がありますか。【あてはまるもの 1 つに○】

3. 行ったことがなく今後も行かない

それぞれですか。

体験施設【あてはまるものすべてに○】

ボランティア活動について

福祉や環境問題、災害救援等のボランティア活動は、誰もが安心して暮らせる住みよいまちづくりに大きな役割を果たしています。奈良市ボランティアセンターでは、多数のボランティア団体が登録し活動しています。

問 14 ボランティア活動についてお聞きします。あなたはボランティア活動に参加したことがありますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. 参加したことがなく、今後も参加する気はない
2. 参加したことがなく、今後参加するかどうかはわからない
3. 参加したことはないが、いずれは参加したい
4. 参加したことはあるが、現在は参加していない
5. 現在参加している

➔ 問 14-1 問 14 で「4」と答えた方にお聞きします。現在参加していない理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

- | | |
|-------------------------|--------------------------------|
| 1. 一時的な活動（災害救助など）であったから | 2. 活動にお金・時間がかかりすぎたから |
| 3. 人間関係に問題があったから | 4. 活動にやりがいを感じられなかったから |
| 5. 家族や職場の理解が得られなかったから | 6. その他（ ） |

介護保険について

介護保険では、介護保険事業に関する計画を 3 年ごとに定めるとされており、本市でも今年度中に平成 18 年度から始まる第 3 期目の計画を作成し、それに併せて老人保健福祉計画の見直しも行います。そこで、次期計画に反映させるポイントについてお聞きします。

全ての方におたずねします。

問 15 次期計画に盛り込むべき本市の介護保険や老人保健福祉施策について何が重要と思いますか。【あてはまるもの 2 つに○】

1. 自宅で生活が続けられるような居宅サービスの充実
2. 安心して入所できる施設サービスの充実
3. 介護サービスの質の向上
4. ボランティアや地域福祉の向上
5. 筋力トレーニングなどの介護予防事業の充実
6. 生きがい（趣味活動や学習活動など）対策の充実
7. 認知症（痴呆）高齢者のための権利擁護事業や成年後見制度の充実
8. その他（具体的に ）

問 16 次期計画期間中の 65 歳以上の方の介護保険料について、どれが妥当だと思いますか。

【あてはまるもの 1 つに○】

1. サービスが充実するなら保険料の多少の上昇はやむを得ない
2. サービスが充実しなくても良いから、高齢者の負担増を避けるべきである
3. サービスの充実を図りつつ、高所得の高齢者の負担はより多く、低所得の高齢者の負担は極力抑えるべきである
4. その他（具体的に)

文化振興について

奈良市では、文化の力で活力あるまちづくり、人づくりを進めるため、奈良市文化芸術振興条例（仮称）を制定する予定です。文化施策に対するニーズや、奈良らしさを活かした条例にするにはどうすればよいとお聞きします。

問 17 あなたは奈良市の文化振興のためには、どのような施策を充実させるべきだと思いますか。【あてはまるもの 5 つ以内で○】

1. 文化事業（演奏会、展覧会等）の提供
2. 文化事業における市民との協働
3. 文化芸術施策に対する財政措置の充実
4. 芸術家の育成
5. 伝統芸能の継承、発展
6. 青少年の文化芸術活動への支援
7. 高齢者・障がい者等の文化芸術活動への支援
8. 文化ボランティアの育成
9. 国際文化交流の推進
10. 社会的には未成熟な新しい分野の文化芸術活動への支援
11. 企業メセナ活動（企業が文化活動に参画すること）の活性化
12. 文化芸術団体への支援
13. 文化情報の提供
14. 文化施設（ホール、美術館等）の充実
15. 文化活動に功績のあった人・団体に対する顕彰
16. その他（)

問 18 あなたは現在、何らかの文化芸術活動をされていますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. している（内容)
2. 現在はしていないが、したいと思っている
3. したいと思わない

問 19 奈良市は国際文化観光都市であり、全国的にも文化的な風土で知られていますが、あなたの思われる奈良らしさとはどのようなものですか。【あてはまるもの3つ以内で○】

1. 平城京の置かれた古都
2. 文化財の宝庫
3. 世界に誇る仏教美術
4. やすらぎを与えるならまちの歴史的景観
5. 万葉集のゆかりの地
6. 世界遺産のあるまち
7. 奈良公園・平城宮跡など、文化的で緑豊かな自然環境
8. 四季を通じて繰り広げられる社寺等の伝統行事
9. 墨・筆・一刀彫りなどの伝統工芸
10. 能・舞楽などの伝統芸能
11. なら燈花会・バサラ祭りなどの新たな風物詩
12. その他 ()

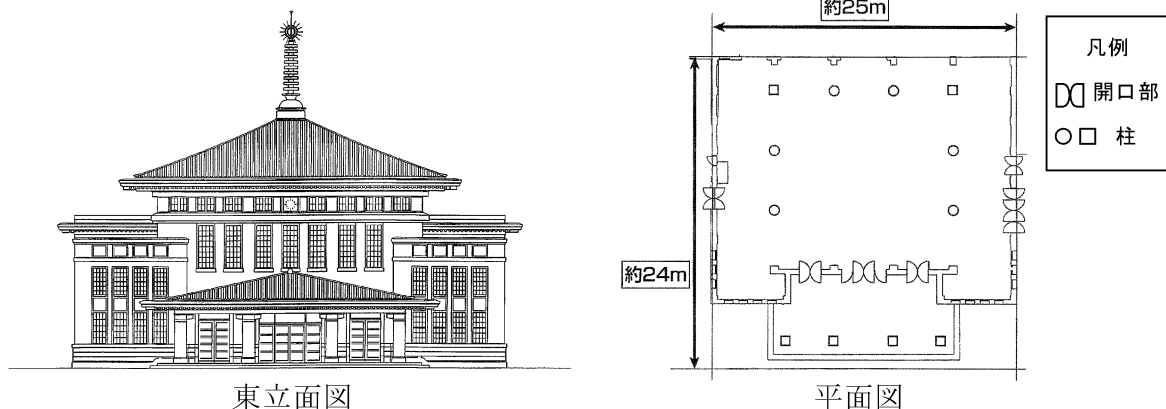
J R 旧奈良駅舎について

【J R 旧奈良駅舎の概要】

●建物概要

建築年：昭和9年竣工 構造、規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、平屋建て
 延べ床面積：約500㎡ 最高高さ：約20m（相輪先端）

●建物の特徴：寺院風和風と鉄骨鉄筋コンクリート造の和洋折衷様式



問 20 J R 奈良駅東口駅前広場で保存することになった「J R 旧奈良駅舎」について、何に活用すればよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 案内施設（観光・行事）
2. 多目的ホール（休息・イベント・ライブ）
3. 展示場（ギャラリー含む）
4. 販売所（土産や特産品の直売所・コンビニ）
5. 食堂（喫茶・レストラン）
6. その他 ()

問 21 活用する場合、どのような団体が管理・運営を行えばよいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

1. 市及び市の出資法人
2. 民間企業
3. N P O 等
4. その他 ()

文化財について

問 22 奈良市にある文化財を守るために、どのような施策を充実させるべきだとお考えになりますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 遺跡の発掘調査
2. 遺跡や古い建造物等の買い上げ（公有化）
3. 社寺や個人がもっている文化財の調査
4. 美術工芸品、古文書、民俗資料などの収集・保管
5. 文化財を収蔵する市立博物館の建設
6. 古い建造物や美術工芸品等の修理の支援
7. 火災や盗難から守るための設備の設置
8. 民俗芸能や年中行事の支援
9. めずらしい動植物の保護
10. 文化財についての知識の普及啓発
11. その他 ()
12. 施策の充実を望まない

問 23 文化財をくらしの中に生かすために、どのような施策を充実させるべきだとお考えになりますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 遺跡の整備や復元
2. 文化財の公開
3. 文化財を展示する市立博物館の建設
4. 講演会・見学会の開催
5. 文化財を解説する看板の設置
6. 文化財を紹介するパンフレットの発行
7. 伝統芸能の公演
8. その他 ()
9. 施策の充実を望まない

市等からの広報について

問 24 奈良市では、定例議会の質疑の内容などをお知らせするために「議会だより」を年 4 回、水道事業については「水道だより」を年 2 回発行しています。また、しみんだよりに人権啓発記事として「虹のひろば」を毎月掲載しています。あなたはこれらをどの程度読んでいますか。

それぞれの項目ごとに数字を 1 つ選んで○をつけてください	毎回読んでいる	興味のあるテーマ・話題だけ読んでいる	ほとんど読まない	読んだことがない	知らない
a. 議会だより	1	2	3	4	5
b. 水道だより	1	2	3	4	5
c. しみんだより人権啓発記事「虹のひろば」	1	2	3	4	5

男女共同参画について

男女共同社会を推進するため様々な取り組みを行っていますが、男女共同参画に関しての意識や実態調査についてお聞きします。

[男女平等について]

問 25 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。【あてはまるもの 1 つに○】

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

問 26 次の各分野において、男女はどの程度平等だと思いますか。

それぞれの項目ごとに数字を 1 つ選んで○をつけてください	平等である	やや平等である	あまり平等でない	平等でない
a. 家庭生活の場では	1	2	3	4
b. 町内会や自治会など地域活動では	1	2	3	4
c. 冠婚葬祭などの慣習やしきたりでは	1	2	3	4
d. 学校教育の場では	1	2	3	4
e. 賃金や待遇などの働く条件では	1	2	3	4
f. 政治・経済活動への参加では	1	2	3	4
g. 法律や制度の面では	1	2	3	4

[子育てについて]

問 27 あなたには子どもがいますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. いる

2. いない

➤ 問 27-1 問 27 で「1」と答えた方におたずねします。1 番下の子どもについてお答えください。【あてはまるもの 1 つに○】

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 就学前(平成 11 年 4 月 2 日生まれ以降) | 2. 小学生 |
| 3. 中学・高校生 | 4. 短大・大学生(専門学校を含む) |
| 5. 社会人 | 6. その他() |

全ての方におたずねします。

問 28 子育てについての次のような考え方を、あなたはどのように思いますか。

それぞれの項目ごとに数字を 1 つ選んで○をつけてください	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない
a. 女の子は女らしく、男の子は男らしくしつけるのがよい	1	2	3	4
b. 女の子も、経済的自立ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
c. 男の子も、家事・育児ができるように育てるのがよい	1	2	3	4
d. 父親はもっと子育てにかかわる方がよい	1	2	3	4
e. 子育てには、地域社会の支援が必要である	1	2	3	4
f. 3 歳までは、母親が子育てに専念すべきである	1	2	3	4

問 29 最近、出生率が低下し、少子化が進んでいますが、どのようなことが原因だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

1. 子育てのための経済的負担が大きいため
2. 子育ての精神的、肉体的負担が大きいため
3. 住環境がよくないから
4. 仕事と子育ての両立が難しいから
5. 子育ては母親の負担が大きく、父親の協力が足りないから
6. 子育てや子どもの教育に自信がもてないから
7. 子どもがほしくないから
8. 結婚しない人や晩婚の人が増えたから
9. 子どもよりも夫婦中心に生活を考える人が増えたから
10. その他()

問 30 男性も育児・介護休業が取れますが、このことについてどうお考えですか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. 男性も育児・介護休業を積極的に利用すべきである
2. 男性も育児・介護休業を取ることは賛成だが、現実には取りづらいと思う
3. 育児・介護は女性がすべきであり、男性が休暇を取る必要がない

〔生活と仕事〕

問 31 これからの男性の生き方として、次のどれが望ましいと思いますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. 家庭は妻に任せて、仕事に専念する
2. どちらかといえば、家庭や地域活動などよりも仕事を優先する
3. どちらかといえば、仕事よりも家庭や地域活動などを優先する
4. 仕事と家庭や地域活動などを両立させる
5. その他 ()
6. わからない

問 32 女性が収入を得る仕事を持つことについて、次のどれが望ましいと思いますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. 結婚や出産をしても、仕事を持ち続ける方がよい
2. 結婚や出産で一時的に家庭に入った後、再び仕事を持つ方がよい
3. 結婚で家庭に入り、その後は仕事を持たない方がよい
4. 出産で家庭に入り、その後は仕事を持たない方がよい
5. 女性は仕事を持たない方がよい
6. その他 ()
7. わからない

問 33 あなたは結婚していますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. 結婚している
2. 結婚したことがない
3. 過去に結婚していたが、死別した
4. 過去に結婚していたが、離別した
5. その他 ()

➤ 問 33-1 問 33 で「1」と答えた方におたずねします。夫婦間における夫の家事分担の割合についてどのように思いますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. 少ない
2. ちょうどよい
3. 多い

全ての方におたずねします。

問 34 あなたは現在、収入を得る仕事をしていますか。また、経験はありますか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. 現在、仕事をしている
- 2. 過去に仕事をしていたが現在していない
- 3. 仕事をした経験はない

➤ 問 34-1 問 34 で「2」または「3」と答えた方におたずねします。現在、仕事をしていない理由は何ですか。【あてはまるもの1つに○】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 学生のため | 2. 主に家事をしているため |
| 3. 主に育児をしているため | 4. 主に介護をしているため |
| 5. 求職・休業中 | 6. 高齢のため |
| 7. 定年退職後のため | 8. その他（具体的に ） |

➤ 問 34-2 問 34 で「2」または「3」と答えた方におたずねします。あなたは、パートタイムの仕事も含めて、適当な仕事があれば働きたいと思いますか。【あてはまるもの1つに○】

- 1. 働きたいと思う
- 2. 働きたいとは思わない
- 3. わからない

➤ 問 34-2-1 どのように働きたいですか。
【あてはまるもの1つに○】

- a. 正社員・正職員で働きたい
- b. パートなどで働きたい
- c. 自宅で仕事（自営、内職等）がしたい
- d. その他（ ）

➤ 問 34-3 問 34 で「2」または「3」と答えた方におたずねします。再び、あるいは新規に働きたいと思ったとき、気がかりなことは何ですか。【あてはまるもの3つ以内で○】

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 自分のしたい仕事に就けるか | 2. 自分の資格や能力が通用するか |
| 3. 職場の人間関係がうまくいくか | 4. 賃金など、望む労働条件が得られるか |
| 5. 自分の健康状態や体力 | 6. 家族の理解が得られるか |
| 7. 年齢制限 | 8. 家事、育児、介護との両立ができるか |
| 9. 子どもが保育所、学童保育に入れるか | 10. その他（ ） |
| 11. 特にない | |

➤ 問 35 問 34 で「1」と答えた方におたずねします。あなたが仕事をしている主な理由をお選びください。【あてはまるもの2つ以内で○】

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 働くのは当然だから | 2. 生活や老後のためにお金が必要だから |
| 3. 社会や人とのつながりをもつため | 4. 自分の能力を社会に生かしたいから |
| 5. 経済的に自立したいから | 6. 生きがいを得るため |
| 7. その他（ ） | 8. わからない |

全ての方におたずねします。

〔人権と暴力〕

問 36 次にあげるドメスティック・バイオレンス（配偶者や恋人など身近な人からの暴力）を受けたことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

1. なぐる、けるなどの身体的暴力
2. ののしる、おどすなどの言葉の暴力や、無視するなどの精神的暴力
3. 性行為の強要など性的暴力
4. 生活費を渡さない、働きに行かせないなど経済的暴力
5. 行動を制限する、友人に会わせないなど社会的暴力
6. ない

問 37 あなたの身近なところで、問 36 のような暴力を見たり、聞いたりしたことはありますか。【あてはまるもの 1 つに○】

1. ある
2. ない

問 38 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）についてあなたはどのようにお考えですか。

それぞれの項目ごとに数字を 1 つ選んで○をつけてください	そう思う	そう思わない	わからない
a. 会社が責任を持って対策を持つことが必要だ	1	2	3
b. あくまでも当事者間の問題だと思う	1	2	3
c. マスコミなどの騒ぎすぎだと思う	1	2	3
d. 女性を対等に扱わない意識を変える必要がある	1	2	3
e. 被害者がはっきりと拒絶するべきだ	1	2	3
f. 何がセクハラに当たるのか不明なのではっきりさせるべきだ	1	2	3

〔行政への期待〕

問 39 あなたは男女共同参画社会の実現のために、市がどのようなことに力を入れたらよいと思われますか。【あてはまるもの3つ以内で○】

1. 男女平等についての理解を深める広報啓発活動
2. 女性の活動グループの育成、支援
3. 男女共同参画に関する講座や講演会などの充実
4. 男性の家事や育児、介護への参加を促す事業の実施
5. 雇用や就労などに関しての企業への働きかけ
6. 女性を意識決定の場に積極的に登用する
7. 女性の再就職や仕事づくりなどの支援
8. 保育の施設・サービスや高齢者等の施設・介護サービスの充実
9. 国際理解や国際交流に関する事業の実施
10. その他 ()

市政への意見・要望

問 40 奈良市政について、日頃お気づきの点やお感じになっている点をお聞かせください。
(自由回答)

[最後に調査結果の分析に必要ですので、あなたご自身のことについてお聞きします。ご協力をお願いいたします。]

問 41 あなたの性別

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 42 あなたの年齢

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 20～29 歳 | 2. 30～39 歳 | 3. 40～49 歳 |
| 4. 50～59 歳 | 5. 60～64 歳 | 6. 65 歳以上 |

問 43 家族構成【あてはまるもの 1 つに○】

- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 単身（ひとりぐらし） | 2. 夫婦のみ |
| 3. 二世帯世帯（本人と子ども） | 4. 二世帯世帯（本人と親） |
| 5. 三世帯世帯（親・子・孫） | 6. その他（ ） |

問 44 あなたの職業【あてはまるもの 1 つに○】

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 常勤の従業員（会社員・公務員など） | 2. 自営業・会社経営 |
| 3. 農林漁業 | 4. 学生 |
| 5. パート・アルバイト | 6. 家事従事 |
| 7. 無職 | 8. その他（ ） |

問 45 あなたのお住まいの小校区【あてはまるもの 1 つに○】

わからない方は住んでおられる町名を下の（ ）内にご記入ください。

ご住所（奈良市 町）

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|--------|---------|
| 1. 鼓阪 | 2. 鼓阪北 | 3. 飛鳥 | 4. 済美 | 5. 済美南 |
| 6. 椿井 | 7. 佐保 | 8. 大宮 | 9. 佐保川 | 10. 大安寺 |
| 11. 大安寺西 | 12. 都跡 | 13. 平城 | 14. 伏見 | 15. 伏見南 |
| 16. 西大寺北 | 17. 六条 | 18. あやめ池 | 19. 鶴舞 | 20. 青和 |
| 21. 平城西 | 22. 登美ヶ丘 | 23. 東登美ヶ丘 | 24. 鳥見 | 25. 三碓 |
| 26. 富雄南 | 27. 富雄北 | 28. 富雄第三 | 29. 二名 | 30. 佐保台 |
| 31. 神功 | 32. 右京 | 33. 朱雀 | 34. 左京 | 35. 辰市 |
| 36. 明治 | 37. 東市 | 38. 帯解 | 39. 精華 | 40. 田原 |
| 41. 柳生 | 42. 大柳生 | 43. 東里 | 44. 狭川 | 45. 月ヶ瀬 |
| 46. 並松 | 47. 都祁 | 48. 吐山 | 49. 六郷 | |

☆ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかどうか、もう一度お確かめの上、同封の返信用封筒に入れ無記名で、切手を貼らず 8月13日（土） までにご返送ください。